

令和5年度  
人権に関する意識調査報告書

令和6年3月  
浜松市

## 目次

I. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査事項	1
(3) 調査実施概要	1
(4) 回収状況	1
(5) 報告書内のデータ記述について	1
(6) 回答者の属性	2
II. 調査結果	3
(1) 人権意識について	3
(2) 女性の人権について	18
(3) 子どもの人権について	20
(4) 高齢者の人権について	22
(5) 障がいのある人の人権について	24
(6) 外国人の人権について	26
(7) 同和問題について	28
(8) 性的少数者の人権について	32
(9) その他の人権について	35
(10) 浜松市の進める人権施策について	47
(11) 人権に関する取り組みについて	49
(12) 効果的な啓発活動について	51
(13) 市民一人ひとりが心がけることについて	53
(14) 人権について	55
III. 付録 調査票	59

# I. 調査概要

## (1) 調査目的

本市では、人権尊重の意識を高めるために、人権に関するさまざまな施策に取り組んでいます。市民の人権についての意識を把握し、より適切かつ効果的な啓発活動や施策の推進を図るための基礎資料を得ることを目的として本調査を実施しました。

## (2) 調査事項

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| ①人権意識について       | ⑧性的少数者の人権について       |
| ②女性の人権について      | ⑨その他の人権について         |
| ③子どもの人権について     | ⑩浜松市の進める人権施策について    |
| ④高齢者の人権について     | ⑪人権に関する取り組みについて     |
| ⑤障がいのある人の人権について | ⑫効果的な啓発活動について       |
| ⑥外国人の人権について     | ⑬市民一人ひとりが心がけることについて |
| ⑦同和問題について       | ⑭人権について             |

## (3) 調査実施概要

- |       |                               |
|-------|-------------------------------|
| ①調査地域 | 浜松市全域                         |
| ②調査対象 | 浜松市内在住の満18歳以上の者               |
| ③抽出方法 | 住民基本台帳から該当者を無作為抽出             |
| ④調査方法 | 郵送配布、郵送回収（督促状の発送なし）、インターネット回答 |
| ⑤調査期間 | 令和5年11月15日～12月10日             |
| ⑥実施機関 | 浜松市 人権啓発センター                  |

## (4) 回収状況

発送数	回収数	有効回答数	有効回答率
3,000 件	1,005 件 (260 件)	1,002 件 (260 件)	33.4%

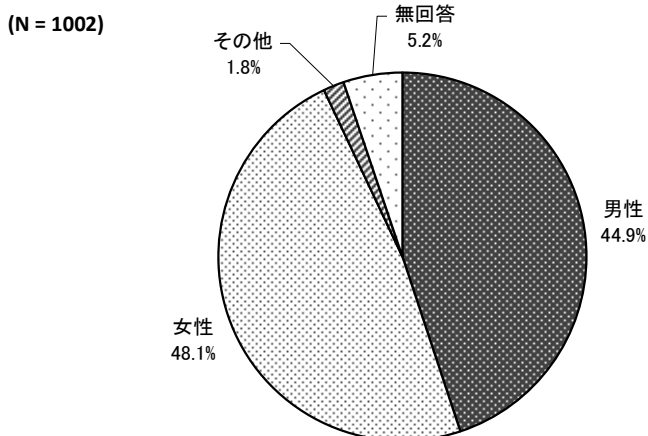
( )内はインターネット回答の件数

## (5) 報告書内のデータ記述について

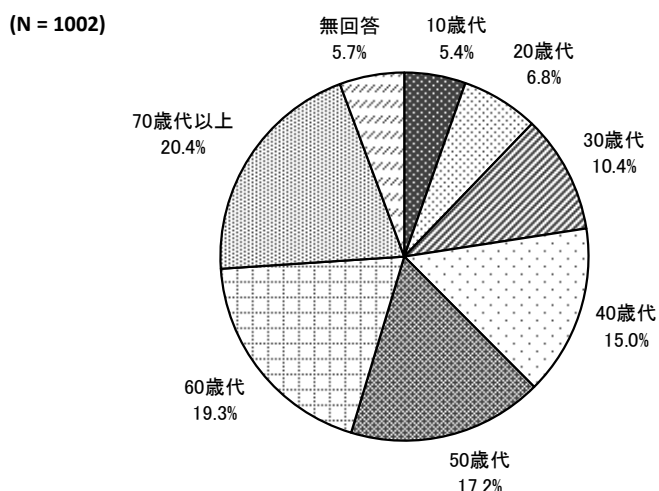
- ①比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、比率の合計が100%にならないことがあります。
- ②各質問の回答は有効回答数を基数とした百分率（%）で示してあります。
- ③質問が複数回答を認めている場合、比率の合計は通常100%を超えます。
- ④図表中の回答選択肢が長文の場合、コンピューターの処理の都合上、省略している箇所があります。
- ⑤クロス集計の図表については、表側となる設問に「無回答」がある場合、これを表示しません。ただし、全体の件数には含めているので、各分析項目の件数の合計が、全体の件数と一致しないことがあります。
- ⑥実施期間の関係上、行政区再編前の7区で集計・表記しております。

# (6) 回答者の属性

## ①性別



## ②年齢

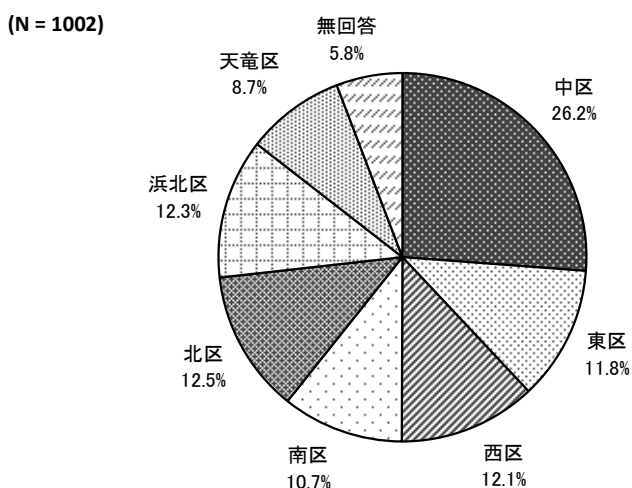


## ③性別・年齢別構成

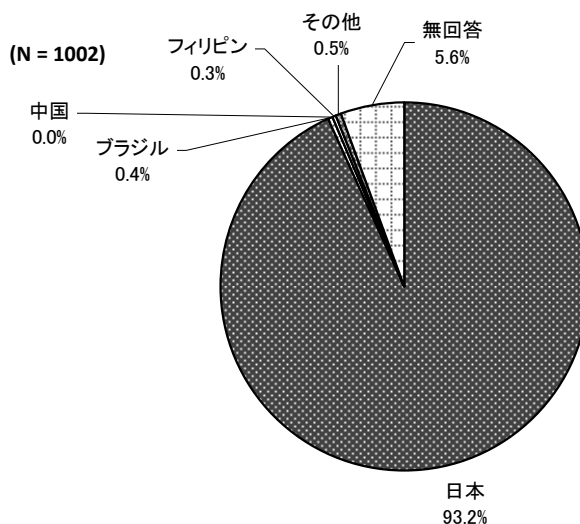
(単位: %)

		回答数 (人)	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答
全体		1002	5.4	6.8	10.4	15.0	17.2	19.3	20.4	5.7
性別	男性	450	7.1	7.8	10.9	15.1	18.2	19.6	21.3	0.0
	女性	482	3.7	6.4	11.2	16.8	18.0	21.6	22.0	0.2
	その他	18	22.2	11.1	5.6	5.6	16.7	5.6	11.1	22.2

## ④居住区



## ⑤国籍

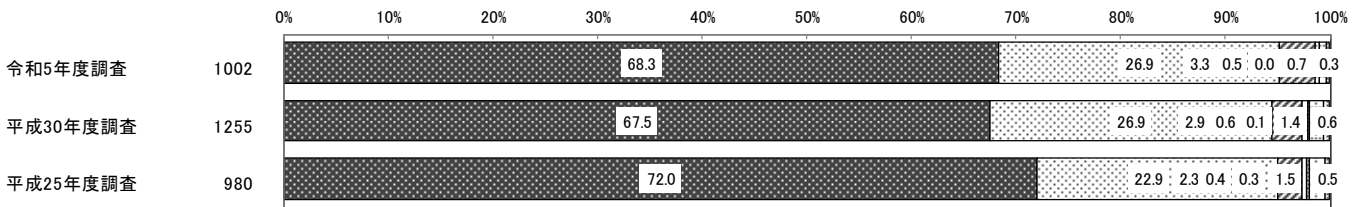


## Ⅱ. 調査結果

### (1) 人権意識について

問1 あなたは人権を尊重することは重要だと思われますか。  
 (当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)

■非常に重要 □どちらかといえば重要 □どちらともいえない □あまり重要ではない □重要ではない □わからない □無回答



人権の重要度について、「非常に重要」が68.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば重要」が26.9%、「どちらともいえない」が3.3%となっています。

「非常に重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は95.2%と高く、「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた『重要ではない』は0.5%と低くなっています。

過去の調査と比較すると、『重要』(95.2%)は、平成30年度調査(94.4%)、平成25年度調査(94.9%)とほぼ横ばいとなっています。

※調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。

## 【性別・年代別】

(単位:%)

		回答数(人)	非常に重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	わからない	無回答
全体		1002	68.3	26.9	3.3	0.5	0.0	0.7	0.3
性別	男性	450	65.1	30.0	3.6	0.4	0.0	0.4	0.4
	女性	482	71.4	23.9	2.9	0.6	0.0	1.0	0.2
	その他	18	55.6	38.9	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
年代	10歳代	54	75.9	22.2	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	68	70.6	26.5	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0
	30歳代	104	68.3	26.0	4.8	1.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代	150	67.3	28.0	4.0	0.0	0.0	0.7	0.0
	50歳代	172	71.5	24.4	2.3	0.0	0.0	1.7	0.0
	60歳代	193	66.8	28.0	4.1	1.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代以上	204	63.7	30.4	2.5	0.5	0.0	1.5	1.5

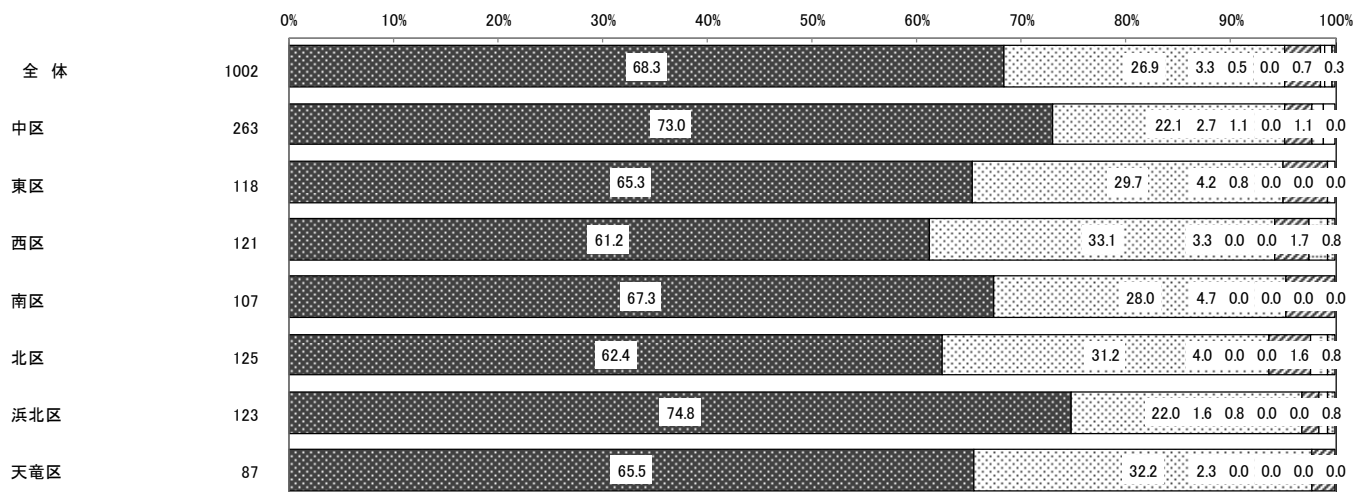
性別でみると、『重要』は男性(95.1%)、女性(95.3%)で大きな差はみられませんでした。

年代別でみると、『重要』は10歳代が98.1%と最も高くなっています。

性別・年代を問わず『重要』の回答割合は90%を超えており、人権は重要だという認識を持っています。

## 【居住区別】

■非常に重要 □どちらかといえば重要 □どちらともいえない □あまり重要ではない □重要ではない □わからない □無回答

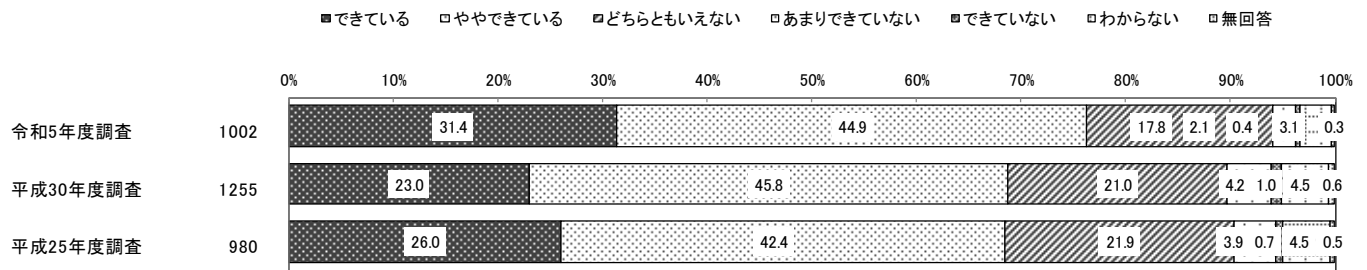


居住区別でみると、「非常に重要」の回答割合は浜北区(74.8%)が最も高くなりました。

なお、『重要』はすべての区で90%を超えていることから、人権が重要という認識に地域差はほとんどないといえます。

問2 あなたは、自分以外の人の人権を尊重することができていると思えますか。

(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)



自分以外の人の人権を尊重しているかについて「ややできている」が44.9%と最も高く、次いで「できている」が31.4%、「どちらともいえない」が17.8%となっています。

「できている」と「ややできている」を合わせた『できている』は76.3%となり、「あまりできていない」と「できていない」を合わせた『できていない』の2.5%を73.8ポイント上回りました。

過去の調査と比較すると、『できている』（76.3%）は、平成30年度調査（68.8%）、平成25年度調査（68.4%）より7ポイント以上高くなっています。

## 【性別・年代別】

(単位: %)

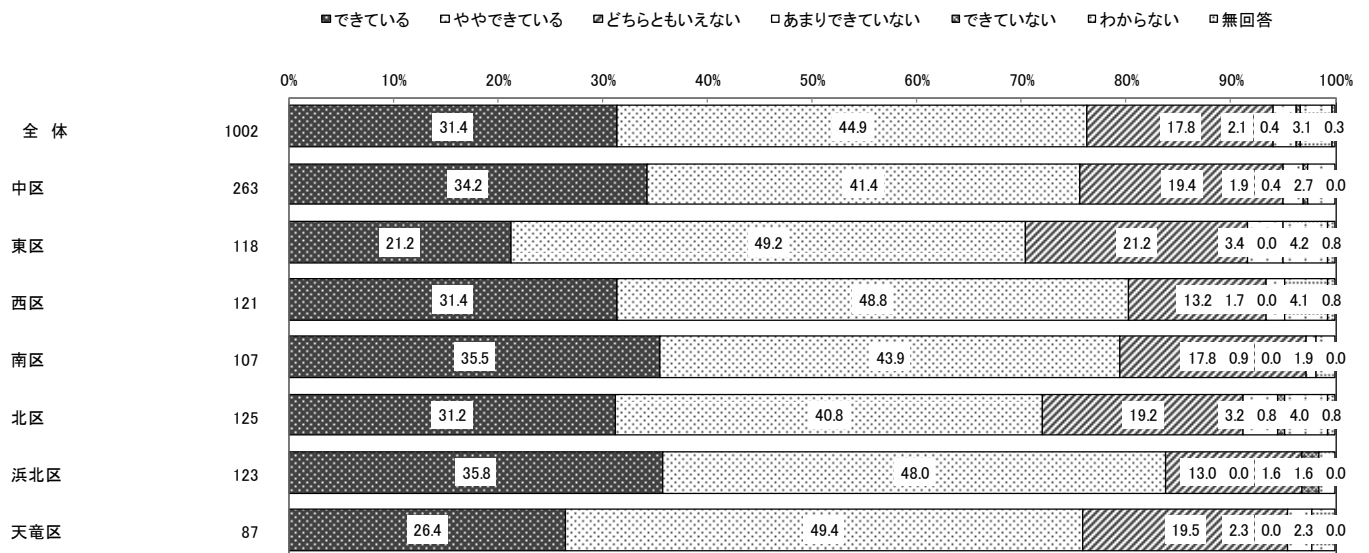
		回答数 (人)	できている	ややできている	どちらともいえない	あまりできていない	できていない	わからない	無回答
全 体		1002	31.4	44.9	17.8	2.1	0.4	3.1	0.3
性別	男性	450	32.2	42.4	18.7	2.2	0.7	3.1	0.7
	女性	482	31.1	47.3	17.2	1.5	0.2	2.7	0.0
	その他	18	22.2	50.0	5.6	16.7	0.0	5.6	0.0
年代	10歳代	54	50.0	42.6	5.6	0.0	0.0	1.9	0.0
	20歳代	68	36.8	47.1	11.8	1.5	0.0	2.9	0.0
	30歳代	104	33.7	42.3	19.2	2.9	0.0	1.9	0.0
	40歳代	150	29.3	44.7	22.7	0.7	2.0	0.7	0.0
	50歳代	172	30.8	44.2	19.2	1.2	0.0	4.7	0.0
	60歳代	193	28.5	45.6	17.6	4.1	0.0	4.1	0.0
	70歳代以上	204	28.9	47.1	17.6	1.5	0.5	2.9	1.5

性別でみると、『できている』は、女性（78.4%）の方が男性（74.6%）より3.8ポイント高くなっています。

年代別でみると、『できている』は10歳代が92.6%で最も高くなっています。

性別・年代を問わず『できている』が『できていない』を大幅に上回っています。

## 【居住区別】



居住区別でみると、『できている』は浜北区（83.8%）が最も高くなりました。

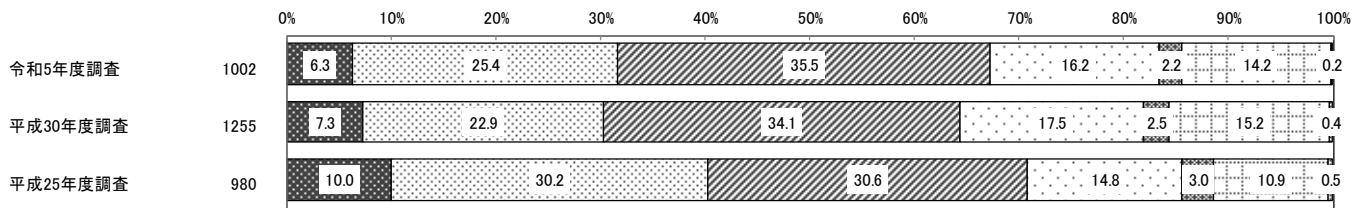
なお、すべての区で『できている』が『できていない』を大幅に上回りました。



問3 浜松市では、「人権尊重の意識」が生活の中に定着していると思われますか。

(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)

■思う □どちらかといえば思う □どちらともいえない □あまり思わない □まったく思わない □わからない □無回答



人権尊重の意識が生活の中に定着しているかについて、「どちらともいえない」が35.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば思う」が25.4%、「あまり思わない」が16.2%となっています。

「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『思う』は31.7%となり、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた『思わない』の18.4%を13.3ポイント上回りました。

過去の調査と比較すると、『思う』（31.7%）は、平成25年度調査（40.2%）より8.5ポイント低くなっているものの、平成30年度調査（30.2%）からは1.5ポイント高くなりました。

## 【性別・年代別】

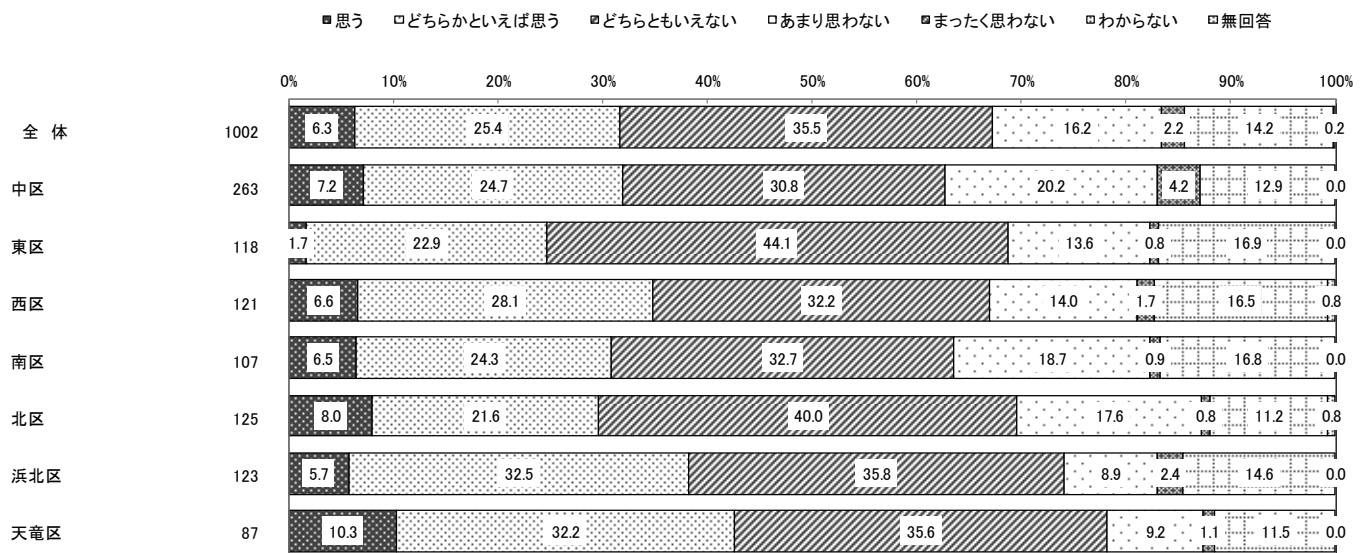
(単位: %)

		回答数(人)	思う	どちらかといえば思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	わからない	無回答
全体		1002	6.3	25.4	35.5	16.2	2.2	14.2	0.2
性別	男性	450	8.2	26.0	35.8	14.4	2.7	12.4	0.4
	女性	482	5.2	26.3	34.9	16.4	1.5	15.8	0.0
	その他	18	0.0	16.7	27.8	38.9	5.6	11.1	0.0
年代	10歳代	54	11.1	35.2	24.1	13.0	1.9	14.8	0.0
	20歳代	68	7.4	38.2	25.0	14.7	2.9	11.8	0.0
	30歳代	104	7.7	22.1	36.5	12.5	4.8	16.3	0.0
	40歳代	150	4.7	21.3	37.3	22.0	5.3	9.3	0.0
	50歳代	172	5.2	24.4	34.3	14.5	2.3	19.2	0.0
	60歳代	193	5.7	25.9	38.3	16.1	0.0	14.0	0.0
	70歳代以上	204	7.8	26.5	37.3	14.2	0.0	13.2	1.0

性別でみると、『思う』は、男性（34.2%）の方が女性（31.5%）より2.7ポイント高くなっています。

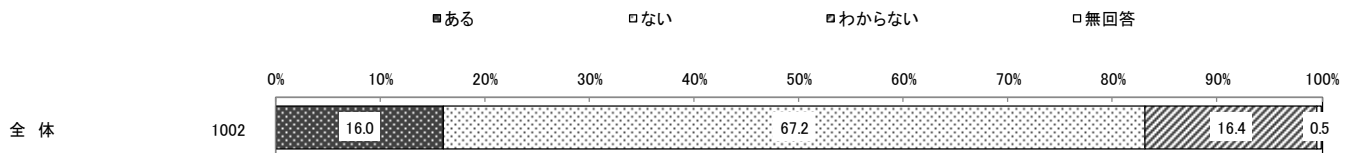
年代別でみると、『思う』の割合が10歳代（46.3%）、20歳代（45.6%）では40%以上と高くなっています。

## 【居住区別】



居住区別でみると、『思う』は、天竜区（42.5%）が最も高くなりました。すべての区で『思う』が『思わない』を上回りました。

問4 あなたは、この5年ほどの間に、自分の人権が侵害されたと思われたことはありますか。  
 (当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)



自分の人権が侵害されたと思った事例の有無について、「ない」が67.2%と最も高く、次いで「わからない」が16.4%、「ある」が16.0%となっています。

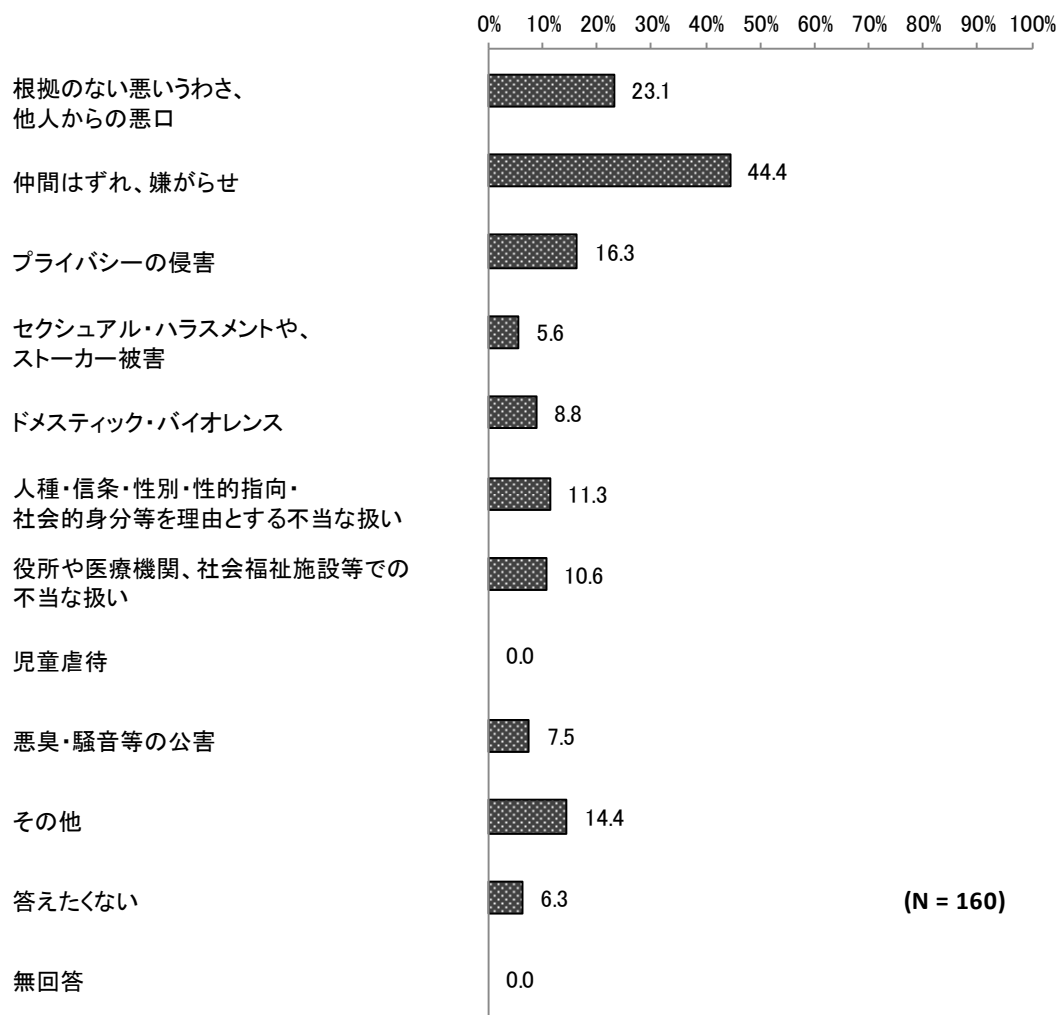
【性別・年代別】

(単位: %)

		回答数 (人)	ある	ない	わからない	無回答
全体		1002	16.0	67.2	16.4	0.5
性別	男性	450	13.3	69.1	16.9	0.7
	女性	482	17.0	67.4	15.1	0.4
	その他	18	50.0	27.8	22.2	0.0
年代	10歳代	54	11.1	75.9	13.0	0.0
	20歳代	68	14.7	66.2	19.1	0.0
	30歳代	104	18.3	60.6	21.2	0.0
	40歳代	150	24.0	60.0	16.0	0.0
	50歳代	172	19.2	62.8	18.0	0.0
	60歳代	193	11.4	74.6	13.0	1.0
	70歳代以上	204	10.8	73.0	14.7	1.5

性別で見ると、「ある」は女性（17.0%）の方が男性（13.3%）より3.7ポイント高くなっています。  
 年代別で見ると、「ある」は40歳代（24.0%）が最も高く、70歳代以上（10.8%）が最も低くなっています。

問5 問4で「1 ある」と回答した方にお聞きします。それは、どのような内容ですか。  
 (当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)



自分の人権が侵害されたと考えた事例の内容について、「仲間はずれ、嫌がらせ」が44.4%と最も高く、次いで「根拠のない悪いうわさ、他人からの悪口」が23.1%、「プライバシーの侵害」が16.3%となっています。

【性別・年代別】

(単位:%)

		回答数(人)	根拠のない悪口、他人からの悪口	仲間はずれ、嫌がらせ	プライバシーの侵害	セクシュアル・ハラスメントや、ストーカー被害	ドメスティック・バイオレンス	社会的身分等を理由とする不当な扱い	人種・信条・性別・性的指向・社会的身分等を理由とする不当な扱い	役所や医療機関、社会福祉施設等での不当な扱い	児童虐待	悪臭・騒音等の公害	その他	答えたくない	無回答
全体		160	23.1	44.4	16.3	5.6	8.8	11.3	10.6	0.0	7.5	14.4	6.3	0.0	
性別	男性	60	26.7	46.7	21.7	1.7	3.3	15.0	11.7	0.0	3.3	13.3	5.0	0.0	
	女性	82	20.7	41.5	12.2	9.8	13.4	7.3	8.5	0.0	11.0	18.3	4.9	0.0	
	その他	9	33.3	44.4	22.2	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	
年代	10歳代	6	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0
	20歳代	10	20.0	40.0	40.0	20.0	10.0	30.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	19	10.5	47.4	5.3	10.5	10.5	15.8	5.3	0.0	0.0	0.0	21.1	15.8	0.0
	40歳代	36	19.4	50.0	13.9	5.6	16.7	16.7	11.1	0.0	13.9	13.9	2.8	0.0	0.0
	50歳代	33	27.3	63.6	18.2	6.1	3.0	12.1	9.1	0.0	9.1	15.2	3.0	0.0	0.0
	60歳代	22	31.8	27.3	13.6	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	4.5	18.2	4.5	0.0	0.0
	70歳代以上	22	31.8	22.7	22.7	4.5	9.1	0.0	13.6	0.0	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0

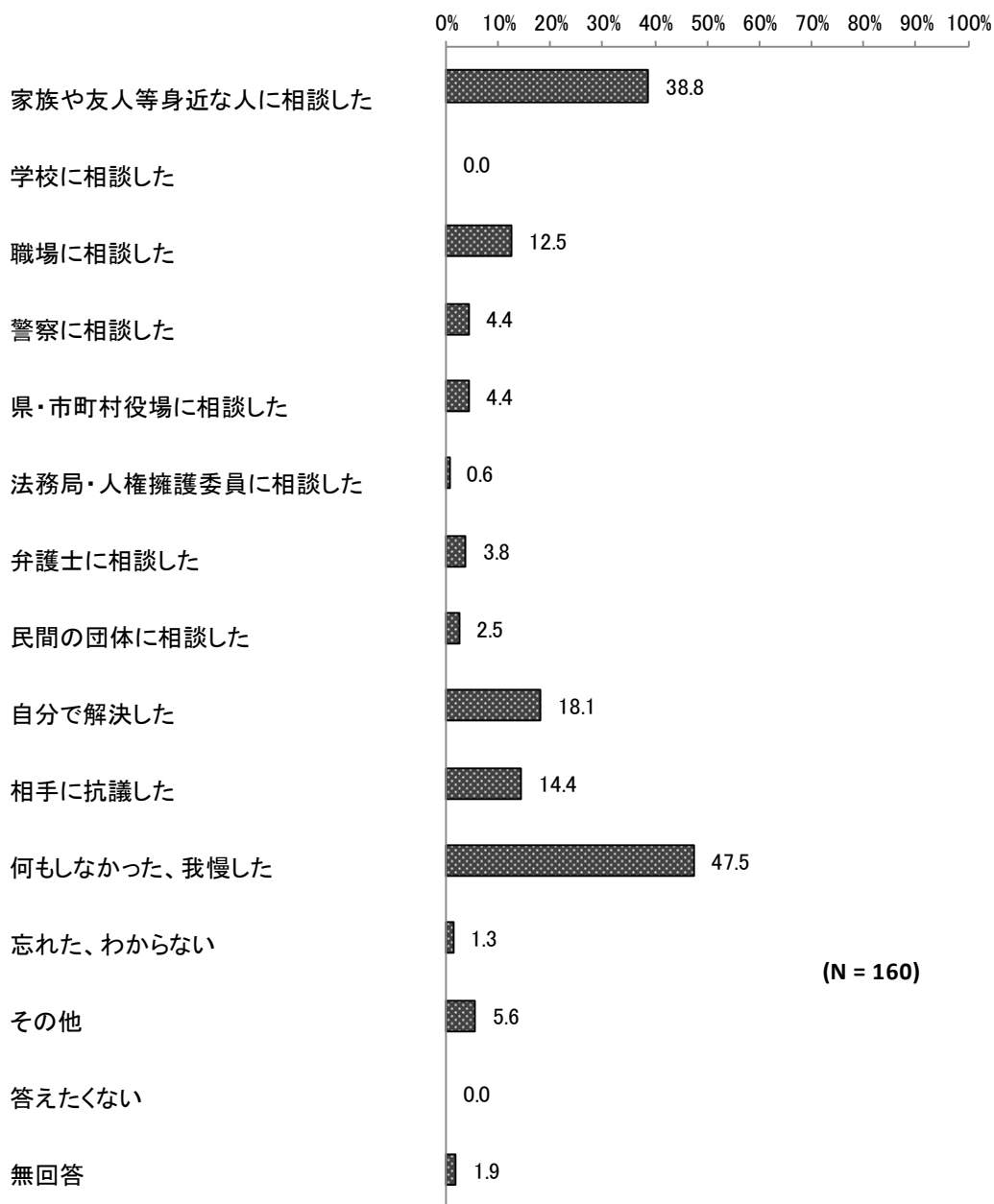
性別で見ると、「プライバシーの侵害」は男性（21.7%）の方が女性（12.2%）より9.5ポイント高く、「ドメスティック・バイオレンス」は女性（13.4%）の方が男性（3.3%）より10.1ポイント高くなっています。

年代別で見ると、「仲間はずれ、嫌がらせ」は20歳代から50歳代にかけて4割以上と高くなっています。

問6 問4で「1 ある」と回答した方にお聞きします。

あなたは自分の人権が侵害されたと思われたときどうしましたか。

(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)



自分の人権が侵害されたと思った時にどうしたかについて、「何もしなかった、我慢した」が47.5%と最も高く、次いで「家族や友人等身近な人に相談した」が38.8%、「自分で解決した」が18.1%となっています。

【性別・年代別】

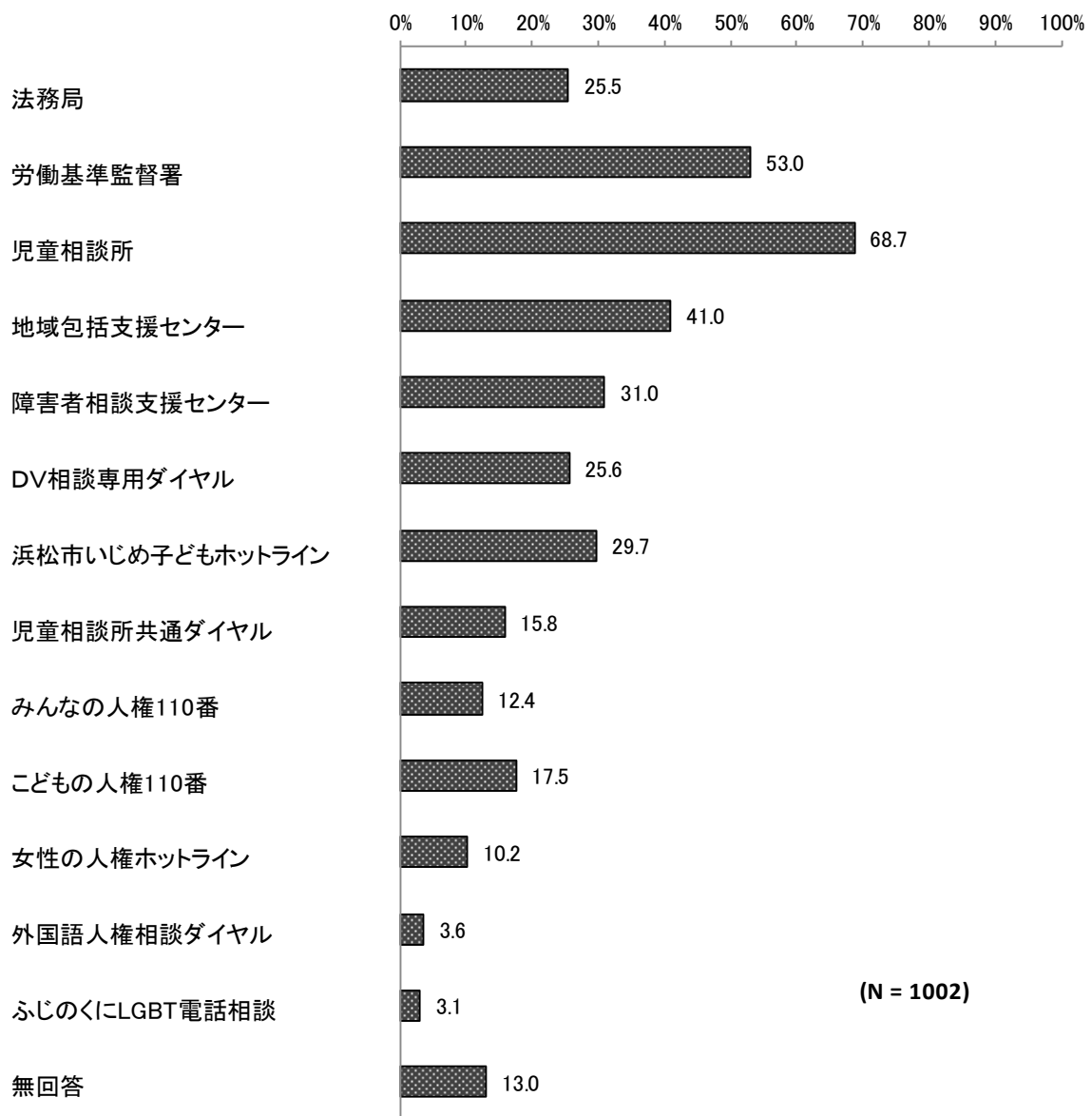
(単位:%)

		回答数(人)	家族や友人等身近な人に相談した	学校に相談した	職場に相談した	警察に相談した	県・市町村役場に相談した	法務局・人権擁護委員に相談した	弁護士に相談した	民間の団体に相談した	自分で解決した	相手に抗議した	何もしなかった、我慢した	忘れた、わからない	その他	答えたくない	無回答
全体		160	38.8	0.0	12.5	4.4	4.4	0.6	3.8	2.5	18.1	14.4	47.5	1.3	5.6	0.0	1.9
性別	男性	60	30.0	0.0	10.0	3.3	3.3	1.7	1.7	1.7	16.7	15.0	58.3	0.0	8.3	0.0	0.0
	女性	82	53.7	0.0	15.9	4.9	6.1	0.0	4.9	3.7	19.5	14.6	36.6	0.0	4.9	0.0	3.7
	その他	9	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	66.7	11.1	0.0	0.0	0.0
年代	10歳代	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	20歳代	10	40.0	0.0	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	19	52.6	0.0	26.3	5.3	21.1	0.0	5.3	0.0	5.3	5.3	47.4	0.0	5.3	0.0	0.0
	40歳代	36	47.2	0.0	13.9	8.3	0.0	2.8	8.3	2.8	8.3	27.8	41.7	0.0	8.3	0.0	0.0
	50歳代	33	54.5	0.0	21.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	18.2	9.1	42.4	0.0	6.1	0.0	3.0
	60歳代	22	22.7	0.0	4.5	0.0	4.5	0.0	0.0	4.5	27.3	13.6	54.5	0.0	4.5	0.0	4.5
	70歳代以上	22	31.8	0.0	0.0	9.1	4.5	0.0	4.5	4.5	36.4	13.6	40.9	0.0	9.1	0.0	4.5

性別で見ると、「何もしなかった、我慢した」は男性（58.3%）の方が女性（36.6%）より21.7ポイント高くなっています。「家族や友人等身近な人に相談した」は女性（53.7%）の方が男性（30.0%）より23.7ポイント高くなっています。

年代別で見ると、「家族や友人等身近な人に相談した」は20歳代から50歳代にかけて4割以上と高くなっています。

問7 人権に関する相談窓口として、次のものがあります。  
 あなたが知っている相談窓口の番号すべてに、○をつけてください。



相談窓口の認知度について、「児童相談所」が68.7%と最も高く、次いで「労働基準監督署」が53.0%、「地域包括支援センター」が41.0%となっています。



【性別・年代別】

(単位:%)

		回答数(人)	法務局	労働基準監督署	児童相談所	地域包括支援センター	障害者相談支援センター	DV相談専用ダイヤル	浜松市いじめ子どもホットライン	児童相談所共通ダイヤル	みんなの人権110番	こどもの人権110番	女性の人権ホットライン	外国語人権相談ダイヤル	ふじのくにLGBT電話相談	無回答
全体		1002	25.5	53.0	68.7	41.0	31.0	25.6	29.7	15.8	12.4	17.5	10.2	3.6	3.1	13.0
性別	男性	450	30.4	57.8	65.3	32.7	25.6	22.9	25.3	14.9	13.1	13.8	6.4	3.8	2.9	12.7
	女性	482	21.4	50.4	74.1	50.4	37.6	29.0	34.4	16.8	12.0	19.5	13.5	3.7	3.3	10.6
	その他	18	16.7	44.4	66.7	22.2	16.7	11.1	27.8	11.1	16.7	38.9	22.2	5.6	0.0	22.2
年代	10歳代	54	13.0	22.2	66.7	16.7	27.8	29.6	68.5	25.9	29.6	44.4	9.3	3.7	9.3	7.4
	20歳代	68	22.1	38.2	70.6	23.5	22.1	23.5	36.8	17.6	13.2	19.1	11.8	2.9	2.9	16.2
	30歳代	104	21.2	53.8	73.1	29.8	26.0	26.9	32.7	15.4	10.6	12.5	8.7	1.9	1.9	15.4
	40歳代	150	17.3	57.3	77.3	34.0	28.0	26.7	38.7	12.7	10.0	16.7	14.0	4.7	4.0	10.7
	50歳代	172	26.2	61.6	69.2	37.8	30.2	25.6	26.2	15.7	11.0	16.3	11.6	4.7	2.3	12.2
	60歳代	193	24.4	61.7	73.6	50.8	37.3	31.1	24.9	17.6	11.9	15.5	7.8	4.7	2.6	8.8
	70歳代以上	204	38.2	51.0	60.3	59.8	36.8	19.6	18.6	13.7	13.2	14.2	9.8	2.9	2.5	12.3

性別でみると、「法務局」は男性(30.4%)の方が女性(21.4%)より9.0ポイント高くなっています。「地域包括支援センター」は女性(50.4%)の方が男性(32.7%)より17.7ポイント、「障害者相談支援センター」は女性(37.6%)の方が男性(25.6%)より12.0ポイント高くなっています。

年代別でみると、「地域包括支援センター」は年代が上がるにつれて高くなっています。

【問6で「自分で解決した」「何もしなかった、我慢した」と回答した人との関連】

(単位:%)

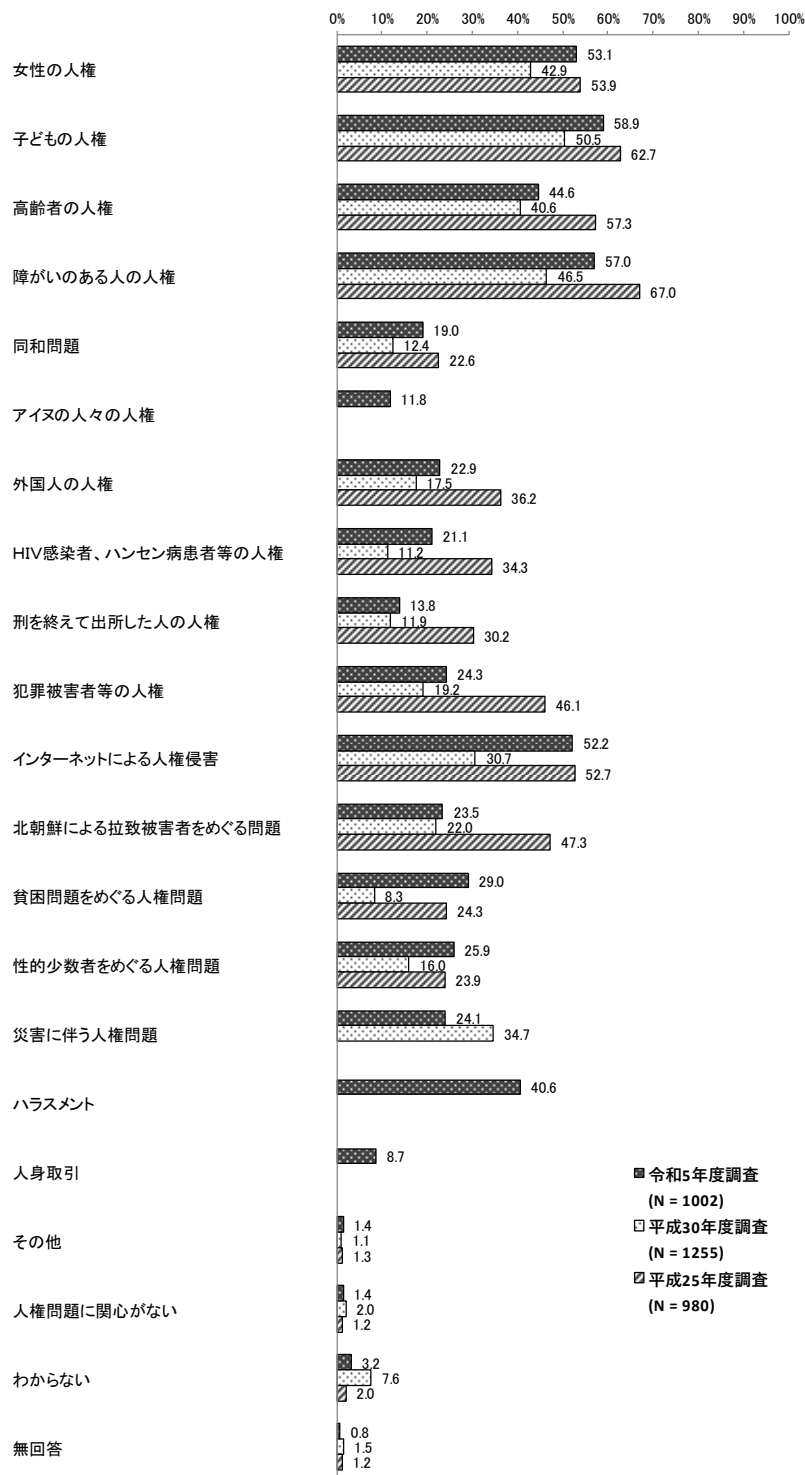
		回答数(人)	法務局	労働基準監督署	児童相談所	地域包括支援センター	障害者相談支援センター	DV相談専用ダイヤル	浜松市いじめ子どもホットライン	児童相談所共通ダイヤル	みんなの人権110番	こどもの人権110番	女性の人権ホットライン	外国語人権相談ダイヤル	ふじのくにLGBT電話相談	無回答
全体		160	24.4	56.9	56.3	34.4	23.1	18.1	20.6	15.0	8.8	13.1	10.0	3.1	2.5	15.6
問6	自分で解決した	29	44.8	58.6	69.0	51.7	34.5	20.7	20.7	13.8	13.8	20.7	13.8	0.0	0.0	6.9
	何もしなかった、我慢した	76	21.1	56.6	50.0	32.9	21.1	17.1	18.4	17.1	7.9	10.5	5.3	5.3	3.9	18.4

問6で〈自分で解決した〉と〈何もしなかった、我慢した〉と回答した人が問7でどのような回答をしているかをみたところ、「児童相談所共通ダイヤル」「外国語人権相談ダイヤル」「ふじのくにLGBT電話相談」を除いたすべての相談窓口で〈自分で解決した〉が高くなっています。

〈自分で解決した〉人は〈何もしなかった、我慢した〉人よりも、人権に関する相談窓口の認知度が高く、積極的な行動をとれたことがうかがえます。

問8 次の人権問題のうち、あなたが関心のある人権問題はどれですか。

(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)



関心のある人権について、「子どもの人権」が58.9%と最も高く、次いで「障がいのある人の人権」が57.0%、「女性の人権」が53.1%となっています。

過去の調査と比較すると、「インターネットによる人権侵害」は平成30年度調査（30.7%）より21.5ポイント高くなっています。

※調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。また、「災害に伴う人権問題」は平成30年度調査から、「アイヌの人々の人権」「ハラスメント」「人身取引」は令和5年度調査のみの選択肢です。

【性別・年代別】

(単位:%)

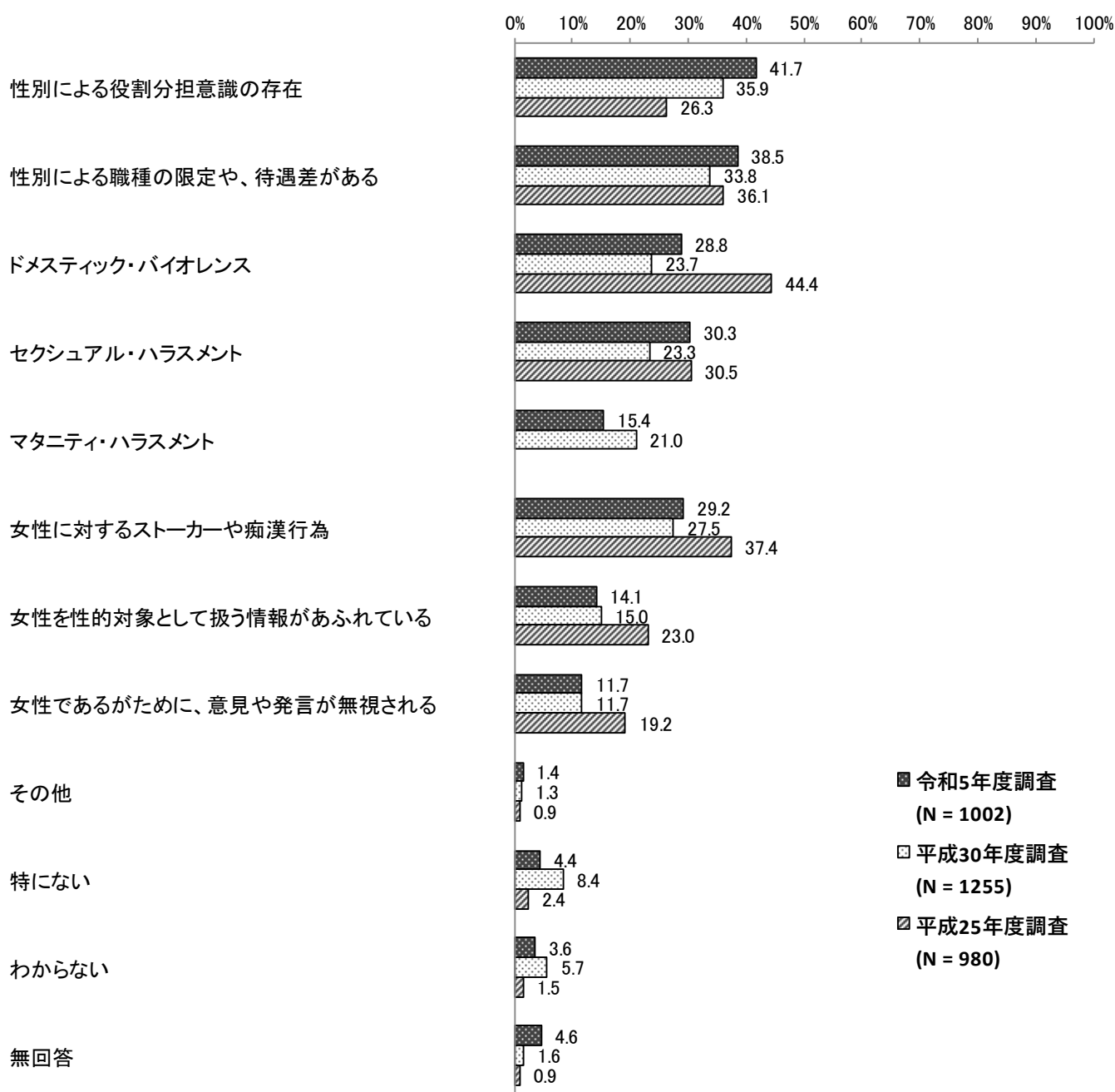
	回答数(人)	女性の人権	子どもの人権	高齢者の人権	障がいのある人の人権	同和問題	アイヌの人々の人権	外国人の人権	HIV感染者、ハンセン病患者等の人権	刑を終えて出所した人の人権	犯罪被害者等の人権	インターネットによる人権侵害	北朝鮮による拉致被害者をめぐる問題	貧困問題をめぐる人権問題	性的少数者をめぐる人権問題	災害に伴う人権問題	ハラスメント	人身取引	その他	人権問題に関心がない	わからない	無回答	
全体	1002	53.1	58.9	44.6	57.0	19.0	11.8	22.9	21.1	13.8	24.3	52.2	23.5	29.0	25.9	24.1	40.6	8.7	1.4	1.4	3.2	0.8	
性別	男性	450	39.8	51.8	34.2	53.3	22.9	14.9	26.2	19.8	14.4	24.4	53.1	24.7	28.7	22.4	22.7	40.9	9.6	1.8	1.8	3.8	0.4
	女性	482	65.8	66.2	53.7	60.2	15.8	8.1	20.3	22.0	13.1	23.9	52.9	23.7	29.5	28.8	26.3	41.5	8.1	1.0	1.0	2.5	1.2
	その他	18	44.4	61.1	38.9	44.4	11.1	22.2	11.1	22.2	11.1	16.7	44.4	16.7	27.8	33.3	22.2	38.9	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0
年代	10歳代	54	33.3	50.0	13.0	44.4	18.5	13.0	33.3	16.7	20.4	18.5	46.3	7.4	24.1	25.9	16.7	38.9	11.1	3.7	0.0	3.7	0.0
	20歳代	68	60.3	54.4	26.5	50.0	14.7	8.8	25.0	17.6	8.8	11.8	42.6	16.2	22.1	25.0	19.1	47.1	10.3	1.5	2.9	2.9	0.0
	30歳代	104	48.1	65.4	19.2	51.9	16.3	5.8	25.0	15.4	10.6	23.1	51.0	14.4	30.8	33.7	16.3	45.2	7.7	1.0	2.9	1.9	0.0
	40歳代	150	56.7	58.0	34.0	46.0	16.0	8.0	28.0	22.7	12.7	25.3	62.0	17.3	27.3	30.7	24.0	44.0	8.7	1.3	0.7	4.0	0.0
	50歳代	172	51.7	61.0	41.9	60.5	16.3	10.5	20.9	20.3	10.5	28.5	58.7	22.1	26.2	24.4	26.2	44.8	6.4	1.7	1.7	2.3	0.0
	60歳代	193	58.5	65.3	58.5	61.7	23.3	13.0	20.7	21.2	14.0	25.9	60.1	26.9	32.6	24.9	26.9	43.5	8.8	1.0	1.0	1.6	2.6
	70歳代以上	204	52.5	53.9	67.6	64.2	23.0	17.6	19.1	25.0	18.6	23.5	40.2	39.7	31.9	21.6	29.4	29.9	9.8	1.5	1.0	5.4	1.5

性別で見ると、「女性の人権」「子どもの人権」「高齢者の人権」は女性の方が特に高く、「女性の人権」は女性（65.8%）が男性（39.8%）より26.0ポイント高くなっています。

年代別で見ると、「高齢者の人権」は60歳代（58.5%）や70歳代以上（67.6%）で5割以上と高くなっています。「北朝鮮による拉致被害者をめぐる問題」は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられました。

## (2) 女性の人権について

問9 次の事例のうち、あなたが特に問題だと思われる事例は何ですか。  
(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



女性の人権について特に問題だと思うことは、「性別による役割分担意識の存在」が41.7%と最も高く、次いで「性別による職種の限定や、待遇差がある」が38.5%、「セクシュアル・ハラスメント」が30.3%となっています。

過去の調査と比較すると、「性別による役割分担意識の存在」(41.7%)は平成30年度調査よりも5.8ポイント高く、年々高くなっています。

※調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。また、「マタニティ・ハラスメント」は平成30年度調査からの選択肢です。

【性別・年代別】

(単位:%)

		回答数(人)	性別による役割分担意識の存在	性別による職種の限定や、待遇差がある	ドメスティック・バイオレンス	セクシュアル・ハラスメント	マタニティ・ハラスメント	女性に対するストーカーや痴漢行為	女性を性的対象として扱う情報があふれている	女性であるがために、意見や発言が無視される	その他	特にない	わからない	無回答
全体		1002	41.7	38.5	28.8	30.3	15.4	29.2	14.1	11.7	1.4	4.4	3.6	4.6
性別	男性	450	35.8	37.3	30.9	32.4	14.9	29.8	10.4	8.9	2.2	4.2	4.9	4.7
	女性	482	46.9	39.4	28.6	29.5	16.4	29.0	16.4	14.3	0.8	4.4	2.1	4.1
	その他	18	44.4	38.9	22.2	22.2	16.7	16.7	22.2	16.7	0.0	5.6	0.0	0.0
年代	10歳代	54	42.6	42.6	37.0	38.9	22.2	20.4	5.6	22.2	1.9	3.7	1.9	0.0
	20歳代	68	50.0	39.7	29.4	38.2	16.2	23.5	2.9	7.4	2.9	4.4	1.5	2.9
	30歳代	104	50.0	44.2	26.9	27.9	35.6	16.3	7.7	20.2	3.8	2.9	1.9	2.9
	40歳代	150	46.0	35.3	28.0	27.3	17.3	22.0	14.0	12.0	2.7	7.3	4.7	1.3
	50歳代	172	34.3	43.0	32.6	29.7	12.8	33.1	11.6	11.6	1.2	3.5	4.1	4.7
	60歳代	193	36.8	37.8	37.3	38.9	13.0	40.4	19.2	6.2	0.5	2.1	1.6	3.1
	70歳代以上	204	41.7	32.4	20.1	22.5	7.4	31.4	19.1	11.8	0.0	5.9	5.4	9.8

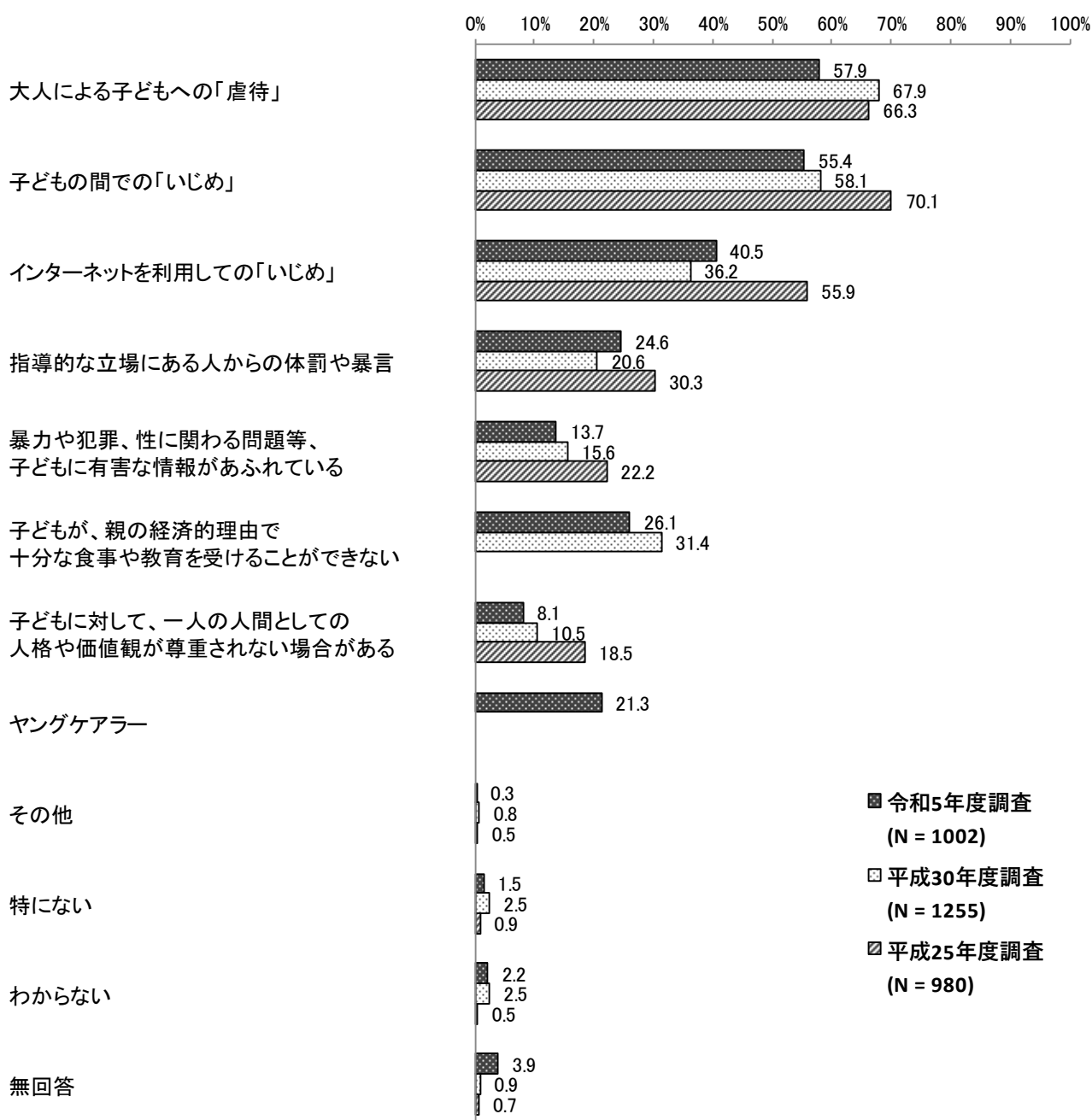
性別で見ると、「性別による役割分担意識の存在」は女性(46.9%)が男性(35.8%)よりも11.1ポイント高くなりました。

年代別で見ると、「マタニティ・ハラスメント」は概ね年代が低くなると、回答割合が高くなる傾向がみられました。

### (3) 子どもの人権について

問 10 次の事例のうち、あなたが特に問題だと思われる事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



子どもの人権について特に問題だと思うことは、「大人による子どもへの『虐待』」が57.9%と最も高く、次いで「子ども間での『いじめ』」が55.4%、「インターネットを利用した『いじめ』」が40.5%となっています。

過去の調査と比較すると、「大人による子どもへの『虐待』」(57.9%)は平成30年度調査(67.9%)よりも10.0ポイント低くなっています。

※調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。また、「子どもが、親の経済的理由で十分な食事や教育を受けることができない」は平成30年度調査から、「ヤングケアラー」は令和5年度調査のみの選択肢です。

【性別・年代別】

(単位:%)

		回答数(人)	大人による子どもへの「虐待」	子どもの間での「いじめ」	インターネットを利用した「いじめ」	指導的な立場にある人からの体罰や暴言	暴力や犯罪、性に関する情報がある問題等、子どもに有害な情報がある	子どもが、親の経済的理由で十分な食事や教育を受けることができない	子どもが、親の経済的理由で十分な食事や教育を受けることができない	子どもが、親の経済的理由で十分な食事や教育を受けることができない	子どもが、親の経済的理由で十分な食事や教育を受けることができない	子どもが、親の経済的理由で十分な食事や教育を受けることができない	子どもが、親の経済的理由で十分な食事や教育を受けることができない	子どもが、親の経済的理由で十分な食事や教育を受けることができない
全体		1002	57.9	55.4	40.5	24.6	13.7	26.1	8.1	21.3	0.3	1.5	2.2	3.9
性別	男性	450	58.7	56.4	40.0	27.8	11.8	24.4	7.3	15.8	0.0	1.6	3.1	3.8
	女性	482	58.3	54.6	40.9	22.8	14.9	28.6	8.5	26.1	0.6	1.0	1.2	3.5
	その他	18	38.9	50.0	27.8	11.1	16.7	22.2	11.1	33.3	0.0	0.0	5.6	16.7
年代	10歳代	54	51.9	59.3	42.6	18.5	14.8	31.5	14.8	22.2	0.0	0.0	3.7	0.0
	20歳代	68	61.8	58.8	42.6	22.1	7.4	29.4	7.4	16.2	0.0	1.5	0.0	4.4
	30歳代	104	61.5	57.7	51.9	24.0	13.5	26.9	13.5	11.5	0.0	1.0	1.0	1.9
	40歳代	150	48.7	56.7	53.3	26.0	16.7	24.0	13.3	20.7	0.0	0.7	3.3	1.3
	50歳代	172	55.2	52.9	40.7	25.0	9.9	30.2	5.2	25.6	0.6	1.7	1.7	3.5
	60歳代	193	67.4	64.8	37.3	24.9	13.5	24.4	5.7	25.4	0.5	0.0	0.5	4.1
	70歳代以上	204	57.4	44.1	25.5	27.0	16.2	25.5	3.9	21.1	0.5	2.9	4.4	7.4

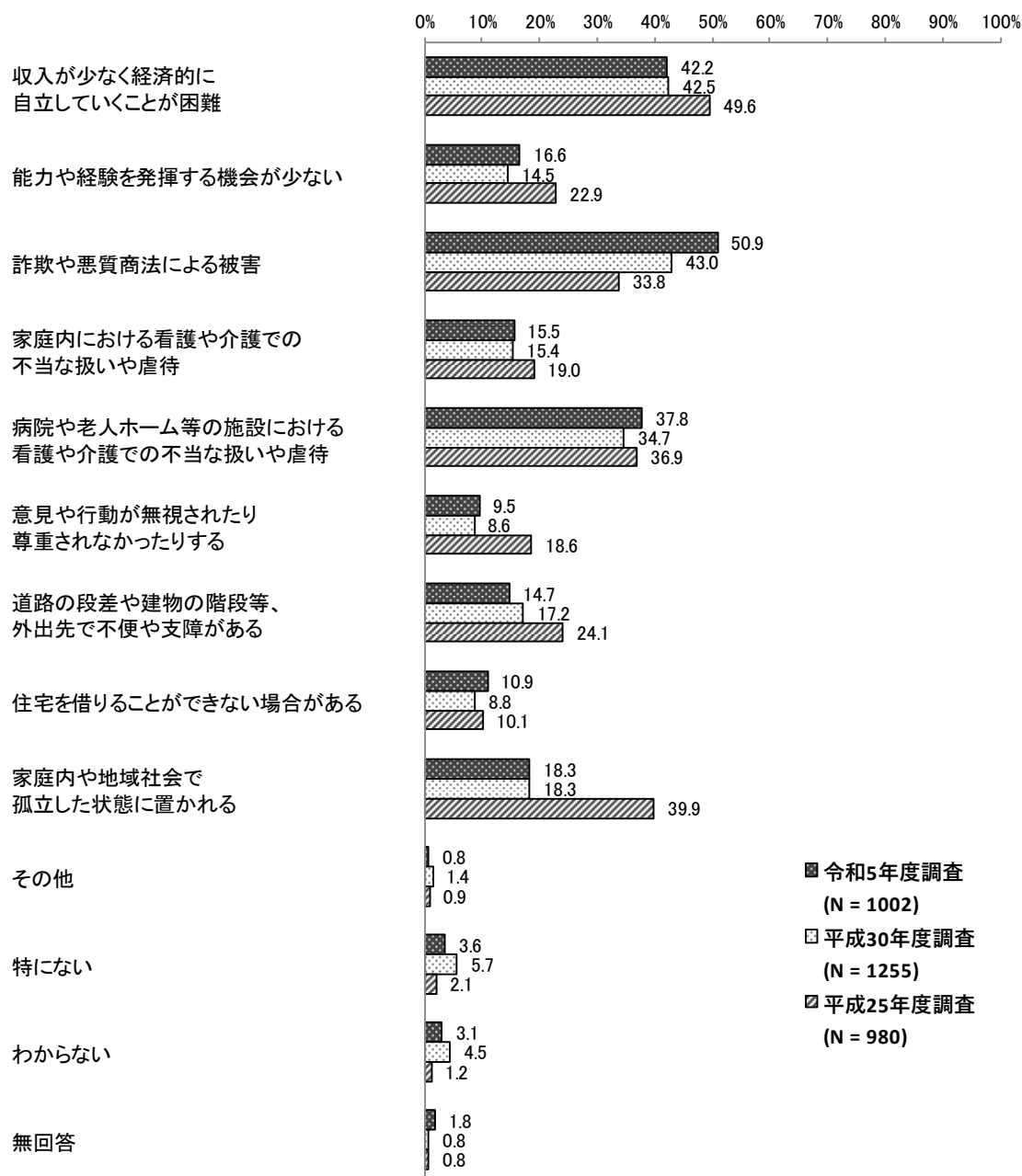
性別で見ると、「ヤングケアラー」は女性（26.1%）の方が男性（15.8%）より10.3ポイント高くなっています。

年代別で見ると、「インターネットを利用した『いじめ』」は、10歳代から50歳代までは、4割以上と高くなっています。

## (4) 高齢者の人権について

問 11 次の事例のうち、あなたが特に問題だと思われる事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



高齢者の人権について特に問題だと思うことは、「詐欺や悪質商法による被害」が50.9%と最も高く、次いで「収入が少なく経済的に自立していくことが困難」が42.2%、「病院や老人ホーム等の施設における看護や介護での不当な扱いや虐待」が37.8%となっています。

過去の調査と比較すると、「詐欺や悪質商法による被害」（50.9%）は平成30年度調査（43.0%）より7.9ポイント高く、年々高くなっています。

※調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。



【性別・年代別】

(単位:%)

		回答数(人)	収入が少なく経済的に自立していくことが困難	能力や経験を発揮する機会が少ない	詐欺や悪質商法による被害	家庭内における看顧や介護での不当な扱いや虐待	病院や老人ホーム等の施設における看顧や介護での不当な扱いや虐待	尊重されなかったり、意見や行動が無視されたり	外出先で不便や支障がある	道路の段差や建物の階段等、	住宅を借りることができない場合がある	孤立した状態に置かれる	家庭内や地域社会で	その他	特にない	わからない	無回答
全体		1002	42.2	16.6	50.9	15.5	37.8	9.5	14.7	10.9	18.3	0.8	3.6	3.1	1.8		
性別	男性	450	39.8	19.1	51.3	15.6	33.6	9.3	11.6	12.0	14.9	0.4	4.0	3.1	2.0		
	女性	482	44.0	13.7	51.7	14.9	41.9	9.8	17.0	10.4	22.8	1.0	2.9	3.1	1.9		
	その他	18	38.9	33.3	38.9	27.8	22.2	11.1	16.7	11.1	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0		
年代	10歳代	54	33.3	18.5	38.9	25.9	27.8	20.4	16.7	0.0	20.4	0.0	0.0	5.6	1.9		
	20歳代	68	32.4	16.2	44.1	19.1	29.4	11.8	7.4	11.8	27.9	0.0	1.5	7.4	1.5		
	30歳代	104	35.6	22.1	56.7	16.3	32.7	13.5	11.5	12.5	25.0	1.0	6.7	1.0	0.0		
	40歳代	150	37.3	16.0	53.3	19.3	36.0	6.0	18.7	15.3	21.3	1.3	3.3	3.3	0.0		
	50歳代	172	51.2	16.3	49.4	13.4	40.7	4.7	15.7	11.0	22.1	0.6	2.9	4.1	0.6		
	60歳代	193	45.1	19.7	53.9	16.6	45.1	10.4	10.9	9.8	15.5	0.5	1.6	1.6	2.6		
	70歳代以上	204	42.6	10.8	52.5	9.3	36.8	10.3	16.7	11.8	10.8	1.0	5.4	2.9	4.9		

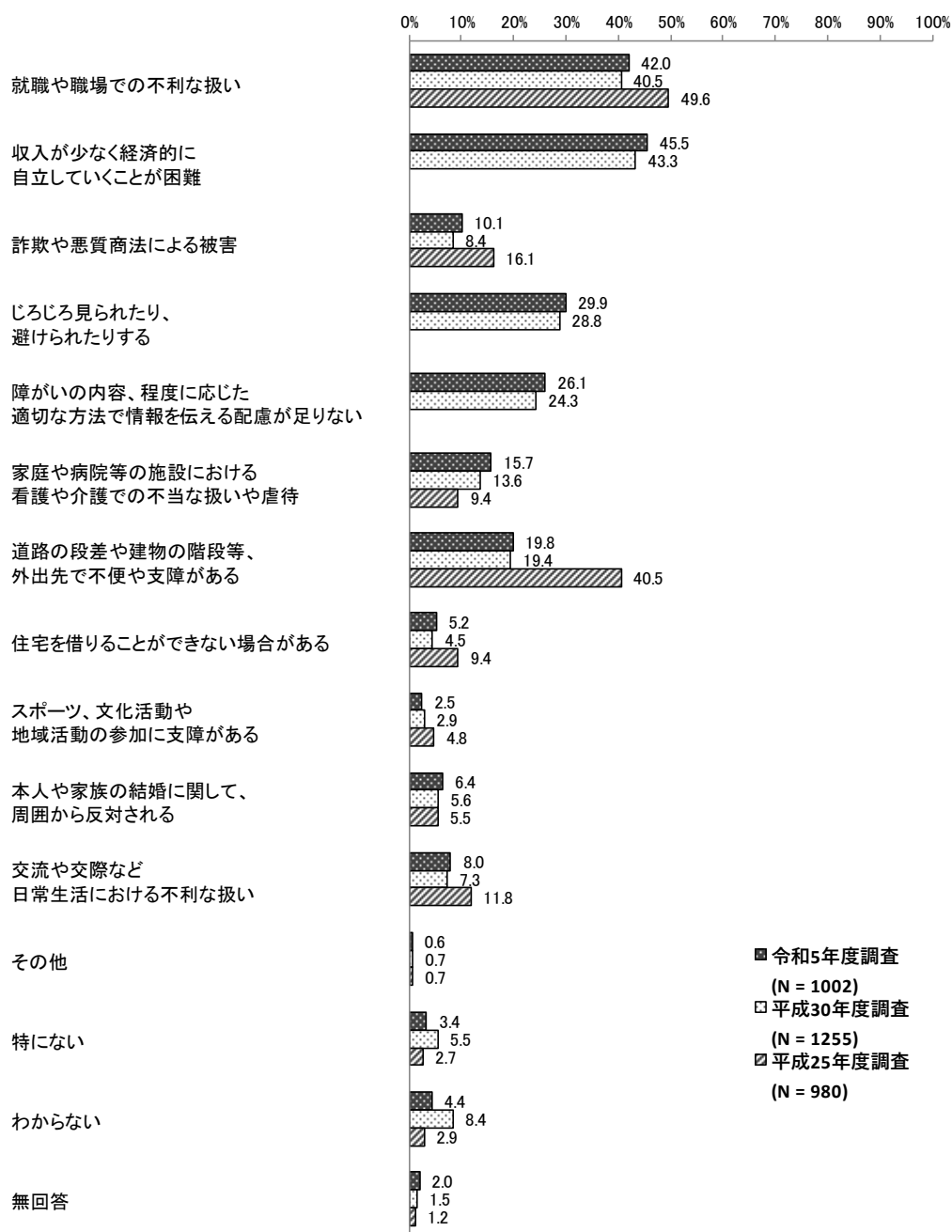
性別で見ると、「能力や経験を発揮する機会が少ない」は男性（19.1%）が女性（13.7%）より5.4ポイント高く、「病院や老人ホーム等の施設における看顧や介護での不当な扱いや虐待」「家庭内や地域社会で孤立した状態に置かれる」「道路の段差や建物の階段等、外出先で不便や支障がある」は女性が男性よりも5ポイント以上高くなっています。

年代別で見ると、「収入が少なく経済的に自立していくことが困難」は50歳代から70歳代以上にかけて4割以上と高くなっています。

## (5) 障がいのある人の人権について

問 12 次の事例のうち、あなたが特に問題だと思われる事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



障がいのある人の人権について特に問題だと思うことは、「収入が少なく経済的に自立していくことが困難」が45.5%と最も高く、次いで「就職や職場での不利な扱い」が42.0%、「じろじろ見られたり、避けられたりする」が29.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな差はみられませんでした。

※調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。また、「収入が少なく経済的に自立していくことが困難」「じろじろ見られたり、避けられたりする」「障がいの内容、程度に応じた適切な方法で情報を伝える配慮が足りない」は平成30年度調査からの選択肢です。

【性別・年代別】

(単位:%)

		回答数(人)	就職や職場での不利な扱い	収入が少なく経済的に自立していくことが困難	詐欺や悪質商法による被害	避けられられたり、じろじろ見られたりする	障がいの内容、程度に応じた適切な方法で情報を伝える配慮が足りない	看護や介護での不当な扱いや虐待	家庭や病院等の施設における	外出先で不便や支障がある	道路の段差や建物の階段等、	住宅を借りることができない場合がある	スポーツ、文化活動や地域活動の参加に支障がある	本人や家族の結婚に関して、周囲から反対される	日常生活における不利な扱い	交流や交際など	その他	特になし	わからない	無回答
全体		1002	42.0	45.5	10.1	29.9	26.1	15.7	19.8	5.2	2.5	6.4	8.0	0.6	3.4	4.4	2.0			
性別	男性	450	42.7	45.8	11.3	30.0	23.3	13.8	16.2	4.9	4.0	6.7	8.9	0.7	4.7	3.3	2.0			
	女性	482	41.5	45.6	9.3	30.1	29.0	16.8	22.0	6.0	1.2	5.4	7.5	0.6	2.1	5.6	1.7			
	その他	18	38.9	61.1	5.6	27.8	22.2	22.2	33.3	5.6	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0			
年代	10歳代	54	50.0	25.9	11.1	44.4	16.7	16.7	13.0	5.6	5.6	9.3	14.8	1.9	0.0	3.7	1.9			
	20歳代	68	42.6	38.2	5.9	47.1	23.5	14.7	5.9	1.5	4.4	11.8	7.4	0.0	5.9	2.9	1.5			
	30歳代	104	47.1	48.1	14.4	31.7	27.9	12.5	19.2	4.8	5.8	10.6	6.7	1.0	1.0	1.0	1.0			
	40歳代	150	41.3	50.7	10.0	32.0	26.0	18.7	20.0	7.3	1.3	3.3	9.3	0.0	2.7	3.3	0.7			
	50歳代	172	40.1	47.7	8.1	22.7	27.9	14.5	21.5	5.8	0.0	5.8	10.5	1.2	3.5	5.2	1.7			
	60歳代	193	45.6	53.4	10.4	29.0	27.5	16.1	23.3	6.7	3.1	3.1	5.2	0.5	2.6	4.7	1.6			
	70歳代以上	204	36.3	41.2	10.8	25.5	27.0	13.7	19.6	4.4	2.5	4.9	7.4	0.5	5.4	6.9	3.4			

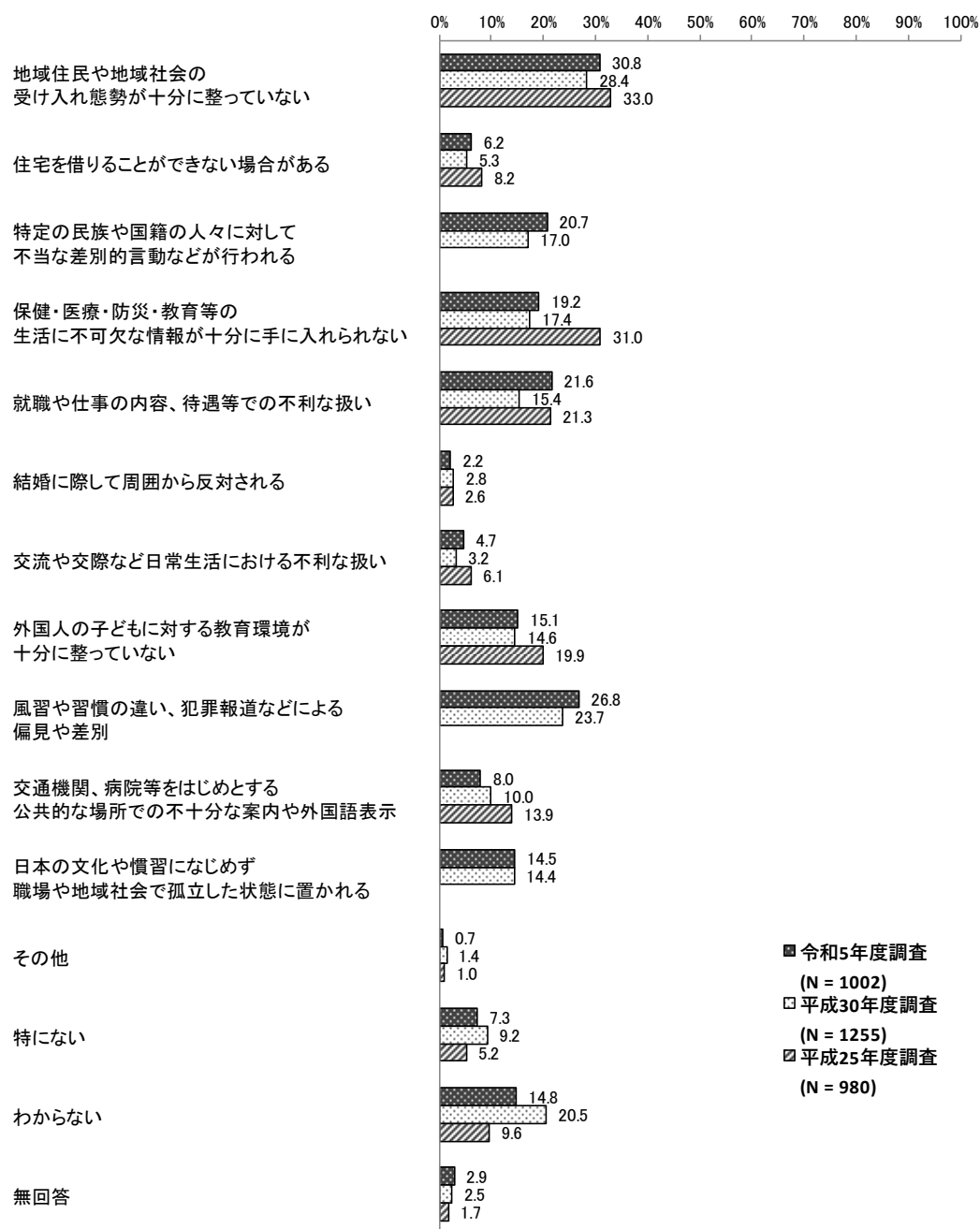
性別で見ると、「障がいの内容、程度に応じた適切な方法で情報を伝える配慮が足りない」は女性(29.0%)が男性(23.3%)よりも5.7ポイント高くなっています。

年代別で見ると、「じろじろ見られたり、避けられたりする」は10歳代、20歳代で4割以上と高くなっています。

## (6) 外国人の人権について

問 13 次の事例のうち、あなたが特に問題だと思われる事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



外国人の人権について特に問題だと思うことは、「地域住民や地域社会の受け入れ態勢が十分に整っていない」が30.8%と最も高く、次いで「風習や習慣の違い、犯罪報道などによる偏見や差別」が26.8%、「就職や仕事の内容、待遇等での不利な扱い」が21.6%となっています。

過去の調査と比較すると、「就職や仕事の内容、待遇等での不利な扱い」（21.6%）は平成30年度調査（15.4%）より6.2ポイント高くなっています。

※調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。また、「特定の民族や国籍の人々に対して不当な差別的言動などが行われる」「風習や習慣の違い、犯罪報道などによる偏見や差別」「日本の文化や慣習になじめず職場や地域社会で孤立した状態に置かれる」は平成30年度調査からの選択肢です。

【性別・年代別】

(単位:%)

		回答数(人)	地域住民や地域社会の受け入れ態勢が十分に整っていない	住宅を借りることができない場合がある	特定の民族や国籍の人々に対して不当な差別的言動などが行われる	保健・医療・防災・教育等の生活に不可欠な情報が十分に手に入れない	就職や仕事の内容、待遇等での不利な扱い	結婚に際して周囲から反対される	交流や交際など日常生活における不利な扱い	外国人の子どもに対する教育環境が十分に整っていない	偏見や差別	風習や習慣の違い、犯罪報道などによる	公共交通機関、病院等をはじめとする公共的な場所での不十分な案内や外国語表示	職場や地域社会で孤立した状態に置かれる	日本の文化や慣習になじめず	その他	特になし	わからない	無回答
全体		1002	30.8	6.2	20.7	19.2	21.6	2.2	4.7	15.1	26.8	8.0	14.5	0.7	7.3	14.8	2.9		
性別	男性	450	33.3	7.1	22.4	15.3	21.3	3.1	5.6	17.8	26.9	8.4	13.8	1.1	9.1	9.8	3.6		
	女性	482	30.5	5.6	18.5	22.6	22.0	1.5	4.1	12.7	26.1	7.9	15.4	0.2	5.2	18.9	2.1		
	その他	18	22.2	0.0	27.8	22.2	16.7	0.0	0.0	16.7	38.9	5.6	11.1	0.0	0.0	27.8	5.6		
年代	10歳代	54	22.2	13.0	25.9	25.9	33.3	9.3	13.0	11.1	31.5	7.4	13.0	0.0	1.9	7.4	0.0		
	20歳代	68	29.4	5.9	26.5	23.5	19.1	1.5	8.8	14.7	23.5	8.8	14.7	0.0	8.8	8.8	0.0		
	30歳代	104	30.8	10.6	18.3	24.0	26.0	0.0	2.9	19.2	32.7	4.8	17.3	1.0	9.6	4.8	1.9		
	40歳代	150	30.0	6.7	24.0	18.0	20.0	4.7	6.7	22.7	29.3	8.0	11.3	0.7	6.0	12.0	2.0		
	50歳代	172	39.0	7.0	23.3	15.7	18.6	0.6	1.7	16.3	26.2	9.3	15.7	1.7	4.1	14.0	1.2		
	60歳代	193	35.8	3.1	17.1	22.3	23.3	2.1	5.2	15.0	27.5	10.9	17.6	0.5	7.8	15.0	2.1		
	70歳代以上	204	27.0	4.4	16.2	14.2	19.1	1.5	2.9	8.3	20.6	6.4	11.8	0.0	8.8	26.0	7.8		

性別で見ると、「外国人の子どもに対する教育環境が十分に整っていない」は男性（17.8%）の方が女性（12.7%）より5.1ポイント高くなっています。「保健・医療・防災・教育等の生活に不可欠な情報が十分に手に入れない」は女性（22.6%）の方が男性（15.3%）より7.3ポイント高くなっています。「特定の民族や国籍の人々に対して不当な差別的言動などが行われる」は男性（22.4%）の方が女性（18.5%）より3.9ポイント高くなっています。

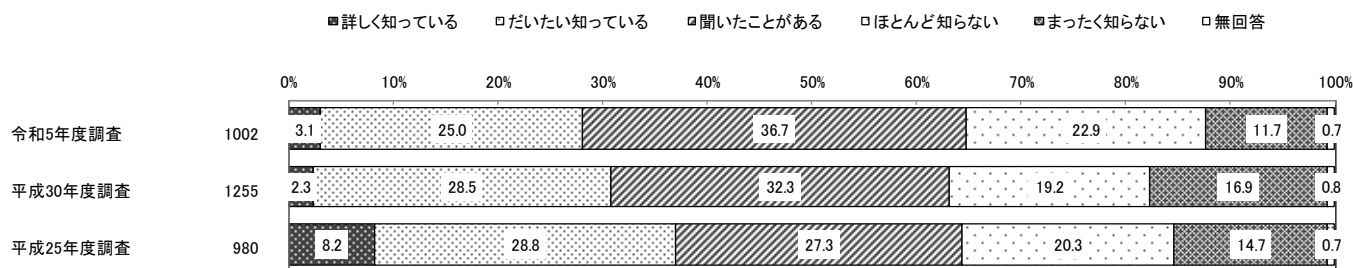
年代別で見ると、「風習や習慣の違い、犯罪報道などによる偏見や差別」は10歳代（31.5%）が高く、70歳代以上（20.6%）が低くなっています。

## (7) 同和問題について

問 14 あなたは部落差別（同和問題）をご存知ですか。  
 （当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。）

～部落差別（同和問題）とは～

同和問題とは、日本社会の歴史的発展の過程で形づくられた身分差別により、国民の一部の人々が長い年月の間、経済的・社会的・文化的に低い状態に置かれることを強いられ、今なお、日常生活の中で様々な差別を受けている日本固有の人権問題です。



同和問題について、「聞いたことがある」が36.7%と最も高く、次いで「だいたい知っている」が25.0%、「ほとんど知らない」が22.9%となっています。

「详细了解」と「だいたい知っている」を合わせた『知っている』は28.1%となりました。「ほとんど知らない」と「まったく知らない」を合わせた『知らない』は34.6%となり、『知らない』が『知っている』を6.5ポイント上回りました。

過去の調査と比較すると、「まったく知らない」（11.7%）は平成30年度調査（16.9%）より5.2ポイント低くなりました。

※調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。

【性別・年代別】

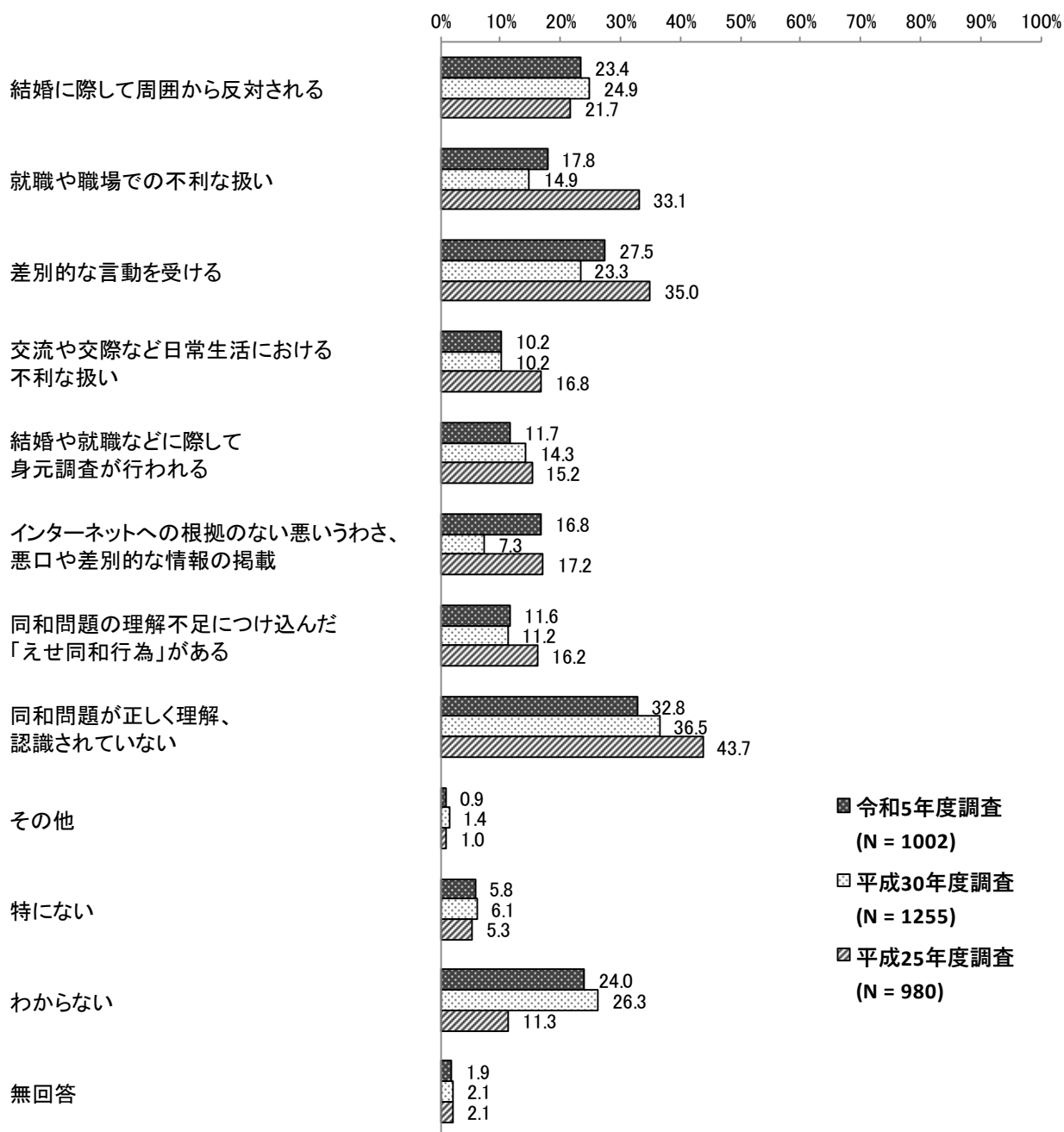
(単位:%)

		回答数 (人)	詳しく 知っている	だいた い知っ ている	聞い たこ とが ある	ほと んど 知ら ない	ま っ た く 知 ら ない	無 回 答
全 体		1002	3.1	25.0	36.7	22.9	11.7	0.7
性 別	男性	450	4.9	30.9	31.6	20.9	10.7	1.1
	女性	482	1.2	19.5	40.9	25.9	12.2	0.2
	その他	18	11.1	27.8	33.3	11.1	16.7	0.0
年 代	10歳代	54	7.4	18.5	31.5	25.9	16.7	0.0
	20歳代	68	0.0	11.8	44.1	23.5	20.6	0.0
	30歳代	104	3.8	21.2	27.9	31.7	14.4	1.0
	40歳代	150	1.3	24.0	33.3	29.3	12.0	0.0
	50歳代	172	2.3	23.8	40.1	20.9	12.8	0.0
	60歳代	193	4.1	32.1	42.0	16.6	3.6	1.6
	70歳代以上	204	3.9	27.9	33.3	22.5	11.3	1.0

性別で見ると、『知っている』は、男性（35.8%）の方が女性（20.7%）より15.1ポイント高くなっています。『知らない』は女性（38.1%）の方が男性（31.6%）より6.5ポイント高くなっています。

年代別で見ると、『知っている』は60歳代（36.2%）、70歳代以上（31.8%）で3割以上と高く、概ね年代が上がるにつれて割合も高まる傾向がみられました。

問 15 同和問題に関することで、次の事例のうち、あなたが特に問題だと思われる事例は何ですか。  
 (当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



同和問題について特に問題だと思うことは、「同和問題が正しく理解、認識されていない」が32.8%と最も高く、次いで「差別的な言動を受ける」が27.5%、「わからない」が24.0%となっています。

過去の調査と比較すると、「インターネットへの根拠のない悪いうわさ、悪口や差別的な情報の掲載」(16.8%)は平成30年度調査(7.3%)から9.5ポイント高くなりました。

※調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。



【性別・年代別】

(単位:%)

		回答数(人)	結婚に際して周囲から反対される	就職や職場での不利な扱い	差別的な言動を受ける	交流や交際など日常生活における不利な扱い	身元調査が行われる	結婚や就職などに際して悪口や差別的な情報の掲載	インターネットへの根拠のない悪い噂、	「えせ同和行為」がある	同和問題の理解不足につけ込んだ	同和問題が正しく理解、認識されていない	その他	特になし	わからない	無回答
全体		1002	23.4	17.8	27.5	10.2	11.7	16.8	11.6	32.8	0.9	5.8	24.0	1.9		
性別	男性	450	24.9	18.9	28.2	11.8	11.6	16.9	12.7	29.8	1.1	7.1	19.8	2.0		
	女性	482	22.4	16.4	28.2	9.3	11.8	17.2	10.4	35.7	0.4	4.4	27.6	1.7		
	その他	18	5.6	33.3	27.8	11.1	11.1	11.1	5.6	27.8	5.6	0.0	33.3	0.0		
年代	10歳代	54	11.1	25.9	53.7	7.4	14.8	20.4	14.8	13.0	0.0	1.9	25.9	0.0		
	20歳代	68	17.6	22.1	29.4	13.2	8.8	26.5	17.6	17.6	2.9	4.4	23.5	0.0		
	30歳代	104	26.9	26.0	38.5	10.6	11.5	25.0	13.5	33.7	1.0	5.8	16.3	0.0		
	40歳代	150	22.7	16.0	36.0	9.3	7.3	20.7	9.3	30.0	0.7	4.0	29.3	0.0		
	50歳代	172	23.8	18.0	25.0	8.7	12.8	14.0	11.0	33.7	1.2	4.1	26.2	1.2		
	60歳代	193	29.5	18.1	24.9	11.4	10.9	13.0	13.0	46.6	0.0	6.7	16.1	2.6		
	70歳代以上	204	20.6	11.3	15.7	12.3	15.2	11.8	7.8	30.9	1.0	8.3	29.4	4.9		

性別で見ると、「同和問題が正しく理解、認識されていない」は女性（35.7%）の方が男性（29.8%）より5.9ポイント高くなっています。「わからない」は女性（27.6%）の方が男性（19.8%）より7.8ポイント高くなっています。

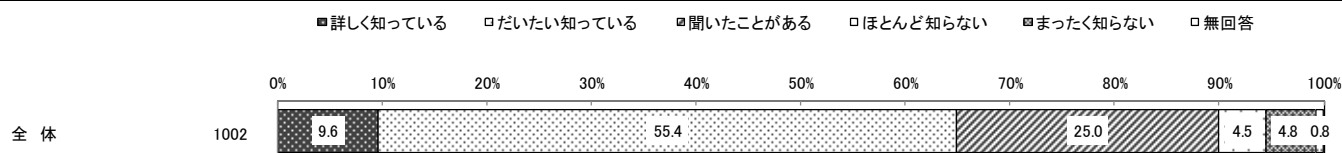
年代別で見ると、「差別的な言動を受ける」は10歳代（53.7%）が高くなっています。「結婚に際して周囲から反対される」は10歳代（11.1%）、20歳代（17.6%）で1割台と低く、30歳代から2割台と高くなっています。「就職や職場での不利な扱い」は、10歳代（25.9%）、20歳代（22.1%）、30歳代（26.0%）が2割台と相対的に高くなっています。

## (8) 性的少数者の人権について

問 16 あなたは「LGBT」という言葉をご存知ですか。

(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)

- L→レズビアン : 自認する性が女性で、好きになる対象が女性の人  
 G→ゲイ : 自認する性が男性で、好きになる対象が男性の人  
 B→バイセクシュアル : 好きになる対象が女性・男性両方の人  
 T→トランスジェンダー : 出生時に割り当てられた性別(戸籍の性)と自認する性などが一致しない人  
 「LGBT」は、これらの頭文字をとったもの



LGBTについて、「だいたい知っている」が55.4%と最も高く、次いで「聞いたことがある」が25.0%、「詳しく知っている」が9.6%となっています。

「詳しく知っている」と「だいたい知っている」を合わせた『知っている』は65.0%となりました。「ほとんど知らない」と「まったく知らない」を合わせた『知らない』は9.3%となり、『知っている』が『知らない』を55.7ポイント上回りました。

### 【性別・年代別】

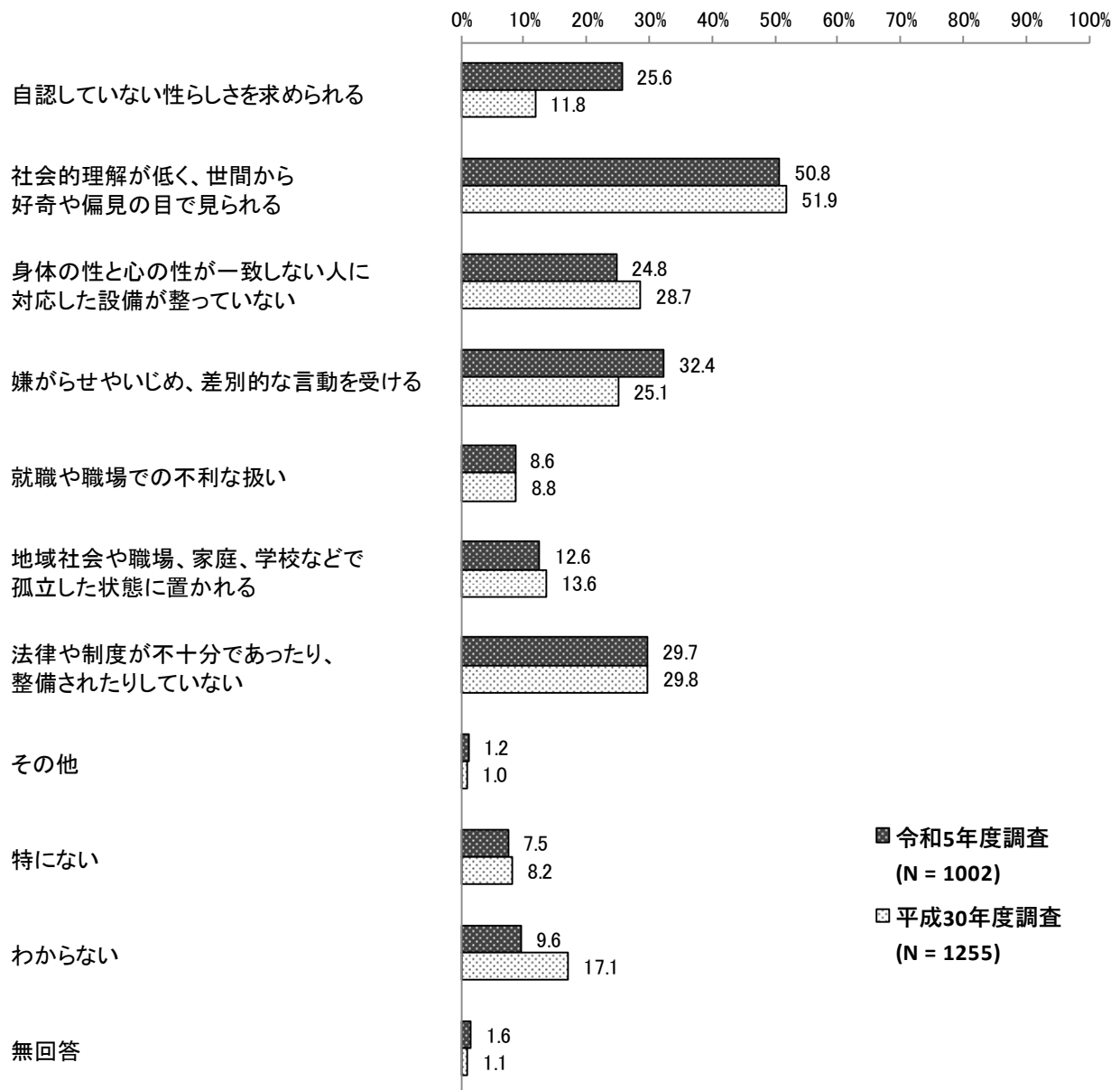
(単位: %)

		回答数(人)	詳しく知っている	だいたい知っている	聞いたことがある	ほとんど知らない	まったく知らない	無回答
全体		1002	9.6	55.4	25.0	4.5	4.8	0.8
性別	男性	450	10.2	55.3	24.4	3.8	5.3	0.9
	女性	482	8.7	55.8	25.9	5.0	3.9	0.6
	その他	18	27.8	44.4	22.2	0.0	5.6	0.0
年代	10歳代	54	25.9	59.3	9.3	0.0	5.6	0.0
	20歳代	68	25.0	55.9	16.2	0.0	1.5	1.5
	30歳代	104	18.3	59.6	17.3	1.9	2.9	0.0
	40歳代	150	10.7	61.3	19.3	4.0	4.0	0.7
	50歳代	172	8.7	56.4	27.9	2.9	2.9	1.2
	60歳代	193	5.7	58.5	29.0	3.6	3.1	0.0
	70歳代以上	204	0.5	43.6	34.8	9.8	9.8	1.5

性別で見ると、『知っている』は男性(65.5%)、女性(64.5%)で大きな差はみられませんでした。

年代別で見ると、『知っている』は年代が上がるにつれて低くなっています。

問 17 性的少数者（問 16 参照）に関する事で、次の事例のうち、あなたが特に問題だと思われる事例は何ですか。  
 （当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内）



性的少数者について特に問題だと思うことは、「社会的理解が低く、世間から好奇や偏見の目で見られる」が50.8%と最も高く、次いで「嫌がらせやいじめ、差別的な言動を受ける」が32.4%、「法律や制度が不十分であったり、整備されたりしていない」が29.7%となっています。

過去の調査と比較すると、「自認していない性らしさを求められる」（25.6%）は平成30年度調査（11.8%）から13.8ポイント、「嫌がらせやいじめ、差別的な言動を受ける」（32.4%）は平成30年度調査（25.1%）から7.3ポイント高くなっています。一方、「わからない」（9.6%）は平成30年度調査（17.1%）から7.5ポイント低くなっています。

【性別・年代別】

(単位:%)

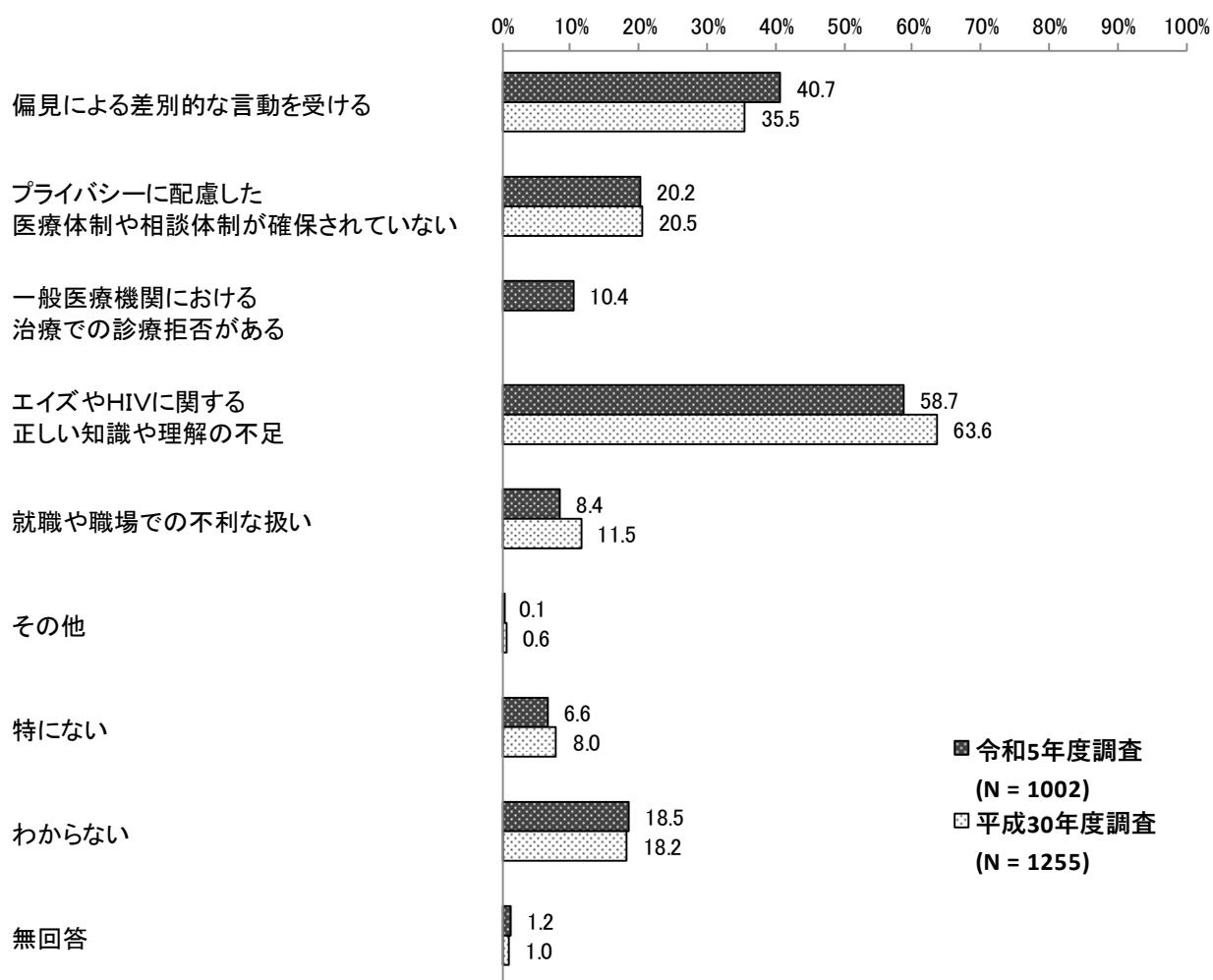
		回答数(人)	自認していない性らしさを求められる	社会的理解が低く、世間から好奇や偏見の目で見られる	身体的性と心の性が一致しない人に対応した設備が整っていない	嫌がらせやいじめ、差別的な言動を受ける	就職や職場での不利な扱い	孤立した状態に置かれる	地域社会や職場、家庭、学校などで整備されたりしていない	法律や制度が不十分であったり、	その他	特にな	わからない	無回答
全体		1002	25.6	50.8	24.8	32.4	8.6	12.6	29.7	1.2	7.5	9.6	1.6	
性別	男性	450	22.9	46.0	20.2	30.9	9.8	14.7	26.7	1.1	10.4	10.2	1.6	
	女性	482	28.4	54.8	29.0	34.0	7.5	10.8	32.0	1.2	4.6	9.5	1.2	
	その他	18	27.8	66.7	27.8	27.8	11.1	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	5.6	
年代	10歳代	54	27.8	40.7	18.5	46.3	16.7	16.7	25.9	0.0	3.7	3.7	0.0	
	20歳代	68	33.8	57.4	20.6	33.8	11.8	10.3	27.9	2.9	11.8	2.9	0.0	
	30歳代	104	28.8	49.0	19.2	46.2	9.6	14.4	31.7	4.8	6.7	3.8	0.0	
	40歳代	150	28.7	50.0	26.0	42.0	8.7	15.3	32.0	2.0	6.0	6.0	0.7	
	50歳代	172	25.0	52.3	28.5	28.5	7.0	11.6	36.0	0.6	5.2	9.3	1.2	
	60歳代	193	28.0	56.0	29.5	29.5	7.8	14.5	30.6	0.0	8.8	7.8	1.0	
	70歳代以上	204	18.1	46.1	22.1	20.1	6.9	9.3	21.1	0.0	8.3	21.6	3.9	

性別でみると、「社会的理解が低く、世間から好奇や偏見の目で見られる」は女性（54.8%）の方が男性（46.0%）より8.8ポイント高くなりました。「身体の性と心の性が一致しない人に対応した設備が整っていない」は女性（29.0%）の方が男性（20.2%）より8.8ポイント高くなりました。「法律や制度が不十分であったり、整備されたりしていない」は女性（32.0%）の方が男性（26.7%）より5.3ポイント高くなりました。「特にな」は男性（10.4%）の方が女性（4.6%）より5.8ポイント高くなりました。

年代別でみると、「嫌がらせやいじめ、差別的な言動を受ける」「就職や職場での不利な扱い」は、概ね年代が下がるにつれて回答割合が高くなりました。

## (9) その他の人権について

問 18 エイズ患者・HIV感染者の人権のうち、あなたが問題だと思われる事例は何ですか。  
(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



エイズ患者・HIV感染者の人権について問題だと思うことは、「エイズやHIVに関する正しい知識や理解の不足」が58.7%と最も高く、次いで「偏見による差別的な言動を受ける」が40.7%、「プライバシーに配慮した医療体制や相談体制が確保されていない」が20.2%となっています。

過去の調査と比較すると、「偏見による差別的な言動を受ける」(40.7%)は平成30年度調査(35.5%)から5.2ポイント高くなりました。

※調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。また、「一般医療機関における治療での診療拒否がある」は令和5年度調査のみの選択肢です。

【性別・年代別】

(単位:%)

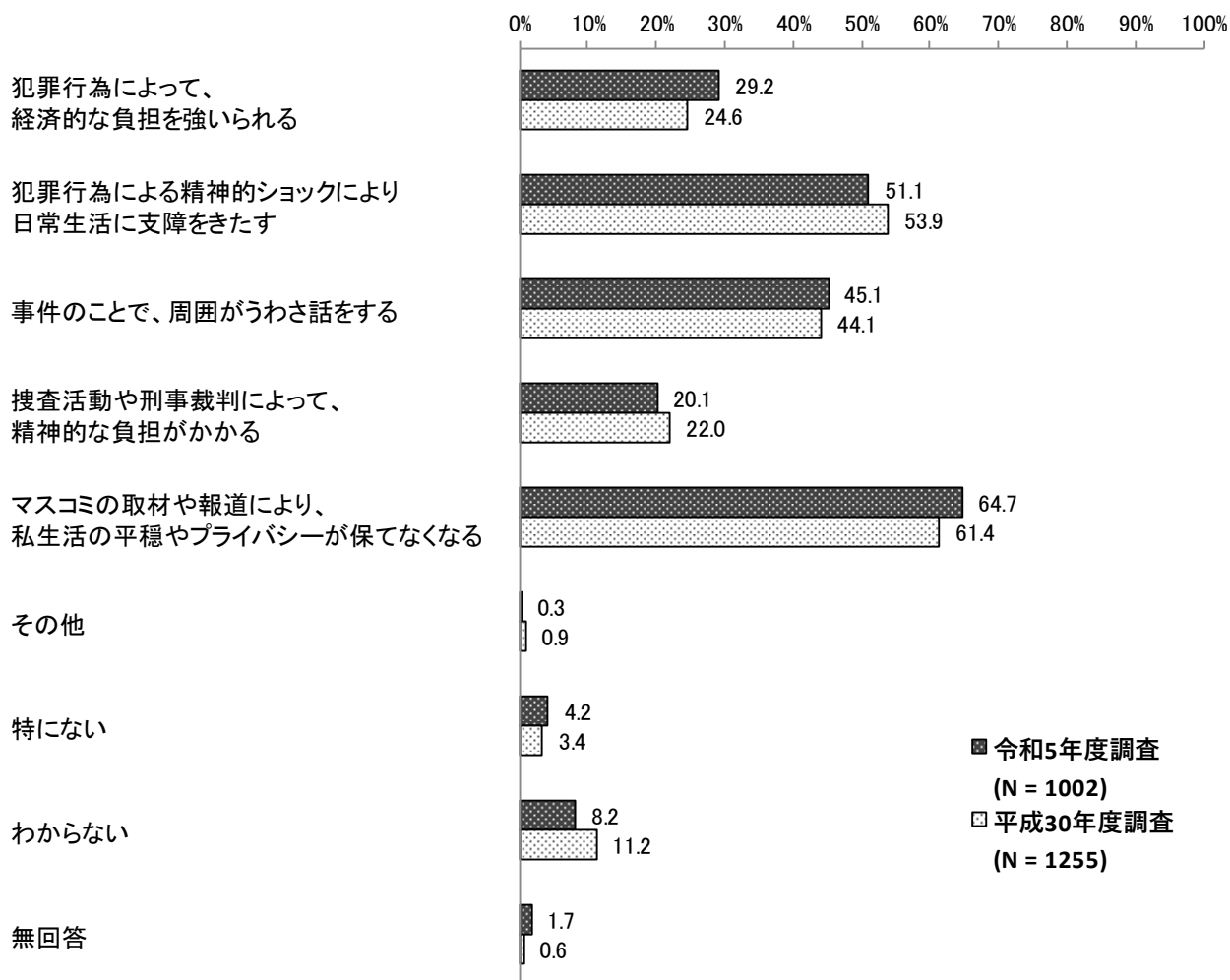
		回答数 (人)	偏見による差別的な言動を受ける	プライバイシーに配慮した医療体制や相談体制が確保されていない	治療での診療拒否がある	一般医療機関における正しい知識や理解の不足	エイズやHIVに関する	就職や職場での不利な扱い	その他	特にない	わからない	無回答
全体		1002	40.7	20.2	10.4	58.7	8.4	0.1	6.6	18.5	1.2	
性別	男性	450	37.6	20.7	9.8	56.4	8.0	0.2	9.3	17.6	1.1	
	女性	482	43.2	18.3	11.2	60.8	8.7	0.0	4.1	19.1	1.2	
	その他	18	55.6	38.9	0.0	72.2	16.7	0.0	0.0	5.6	0.0	
年代	10歳代	54	53.7	24.1	14.8	53.7	11.1	0.0	5.6	9.3	0.0	
	20歳代	68	51.5	19.1	8.8	61.8	14.7	0.0	5.9	10.3	2.9	
	30歳代	104	52.9	22.1	11.5	67.3	10.6	1.0	6.7	12.5	0.0	
	40歳代	150	45.3	19.3	14.0	61.3	9.3	0.0	3.3	13.3	1.3	
	50歳代	172	39.5	19.2	12.8	57.6	7.0	0.0	5.8	19.2	1.7	
	60歳代	193	39.9	19.2	9.8	63.7	7.3	0.0	7.3	16.6	0.0	
	70歳代以上	204	25.0	18.6	4.9	49.5	6.9	0.0	9.3	30.4	2.0	

性別でみると、「偏見による差別的な言動を受ける」は女性（43.2%）の方が男性（37.6%）より5.6ポイント高くなりました。「特にない」は男性（9.3%）の方が女性（4.1%）より5.2ポイント高くなりました。

年代別でみると、「偏見による差別的な言動を受ける」は、概ね年代が下がるにつれて回答割合が高くなる傾向がみられます。

問 19 犯罪被害者等（犯罪被害者とその家族、遺族）の人権のうち、あなたが問題だと思われる事例は何ですか。

（当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内）



犯罪被害者等の人権で問題だと思うことは、「マスコミの取材や報道により、私生活の平穏やプライバシーが保てなくなる」が64.7%と最も高く、次いで「犯罪行為による精神的ショックにより日常生活に支障をきたす」が51.1%、「事件のことで、周囲がうわさ話をする」が45.1%となっています。

過去の調査と比較すると、「犯罪行為によって、経済的な負担を強いられる」（29.2%）は、平成30年度調査（24.6%）より4.6ポイント高くなりました。

【性別・年代別】

(単位:%)

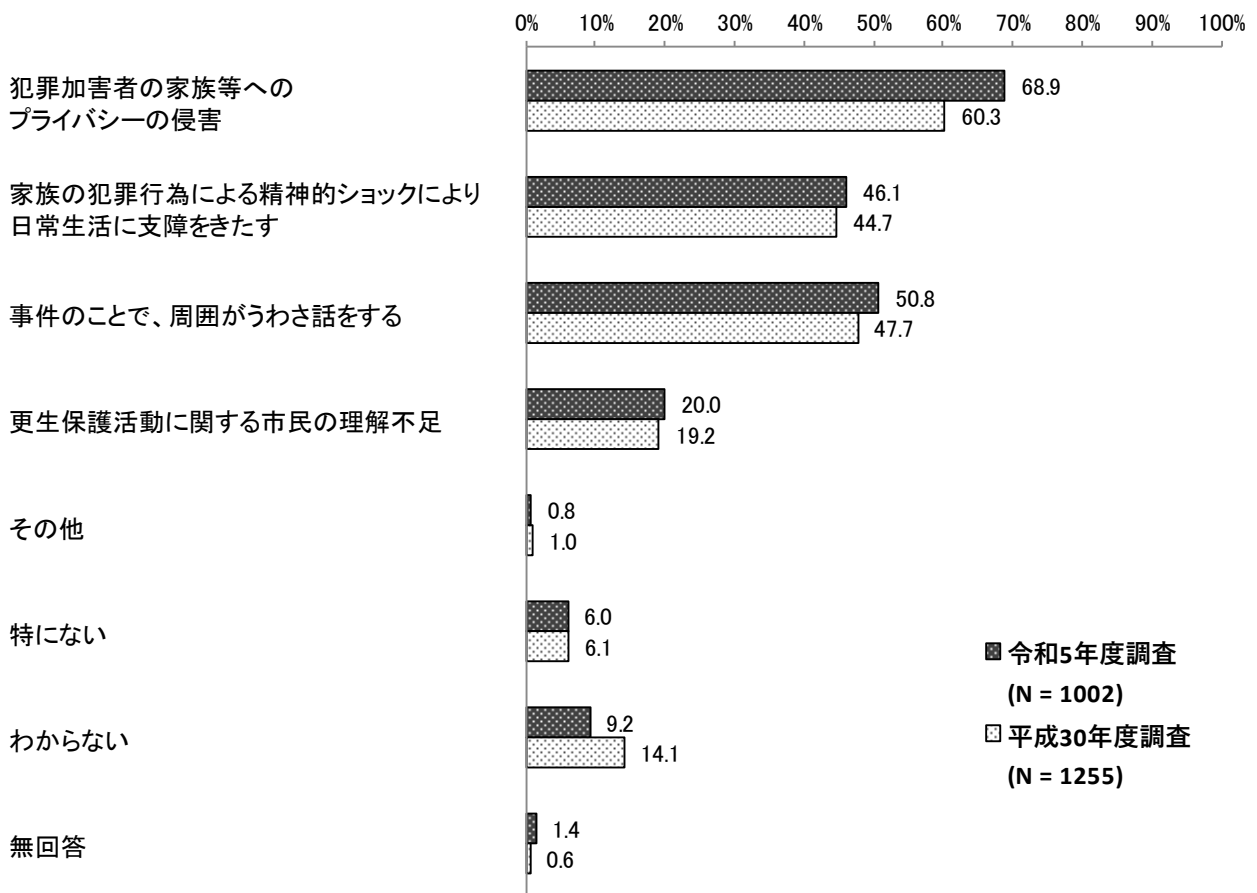
		回答数(人)	経済的な負担を強いられる	犯罪行為によって、日常生活に支障をきたす	犯罪行為による精神的ショックにより	事件のことで、周囲がうわさ話をする	捜査活動や刑事裁判によって、精神的な負担がかかる	私生活の平穏やプライバシーが保てなくなる	マスコミの取材や報道により、	その他	特にない	わからない	無回答
全体		1002	29.2	51.1	45.1	20.1	64.7	0.3	4.2	8.2	1.7		
性別	男性	450	33.6	44.4	42.4	18.9	59.1	0.4	5.3	9.1	2.2		
	女性	482	26.1	58.5	46.7	21.4	68.7	0.2	3.3	7.5	0.8		
	その他	18	27.8	33.3	66.7	5.6	66.7	0.0	0.0	11.1	0.0		
年代	10歳代	54	27.8	44.4	48.1	25.9	59.3	0.0	3.7	3.7	0.0		
	20歳代	68	35.3	51.5	52.9	16.2	63.2	0.0	4.4	2.9	0.0		
	30歳代	104	32.7	55.8	46.2	21.2	72.1	0.0	4.8	4.8	1.0		
	40歳代	150	30.7	61.3	50.7	23.3	62.7	0.7	4.7	4.0	1.3		
	50歳代	172	29.7	51.7	46.5	20.3	69.2	0.0	1.7	8.7	2.3		
	60歳代	193	33.7	54.4	41.5	21.8	67.4	0.5	3.1	7.8	1.0		
	70歳代以上	204	22.5	40.7	38.2	14.7	55.4	0.5	6.9	16.7	2.5		

性別でみると、「犯罪行為によって、経済的な負担を強いられる」は男性（33.6%）の方が女性（26.1%）より7.5ポイント高くなりました。「犯罪行為による精神的ショックにより日常生活に支障をきたす」は女性（58.5%）の方が男性（44.4%）より14.1ポイント高くなりました。「マスコミの取材や報道により、私生活の平穏やプライバシーが保てなくなる」は女性（68.7%）の方が男性（59.1%）より9.6ポイント高くなりました。

年代別でみると、「マスコミの取材や報道により、私生活の平穏やプライバシーが保てなくなる」は30歳代（72.1%）が高くなっています。「犯罪行為による精神的ショックにより日常生活に支障をきたす」は40歳代（61.3%）が高くなっています。



問 20 犯罪加害者の家族等（家族、遺族）の人権のうち、あなたが問題だと思われる事例は何ですか。  
（当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内）



犯罪加害者家族等の人権で問題だと思ふことは、「犯罪加害者の家族等へのプライバシーの侵害」が68.9%と最も高く、次いで「事件のことで、周囲がうわさ話をする」が50.8%、「家族の犯罪行為による精神的ショックにより日常生活に支障をきたす」が46.1%となっています。

過去の調査と比較すると、「犯罪加害者の家族等へのプライバシーの侵害」（68.9%）は、平成30年度調査（60.3%）より8.6ポイント高くなりました。

【性別・年代別】

(単位: %)

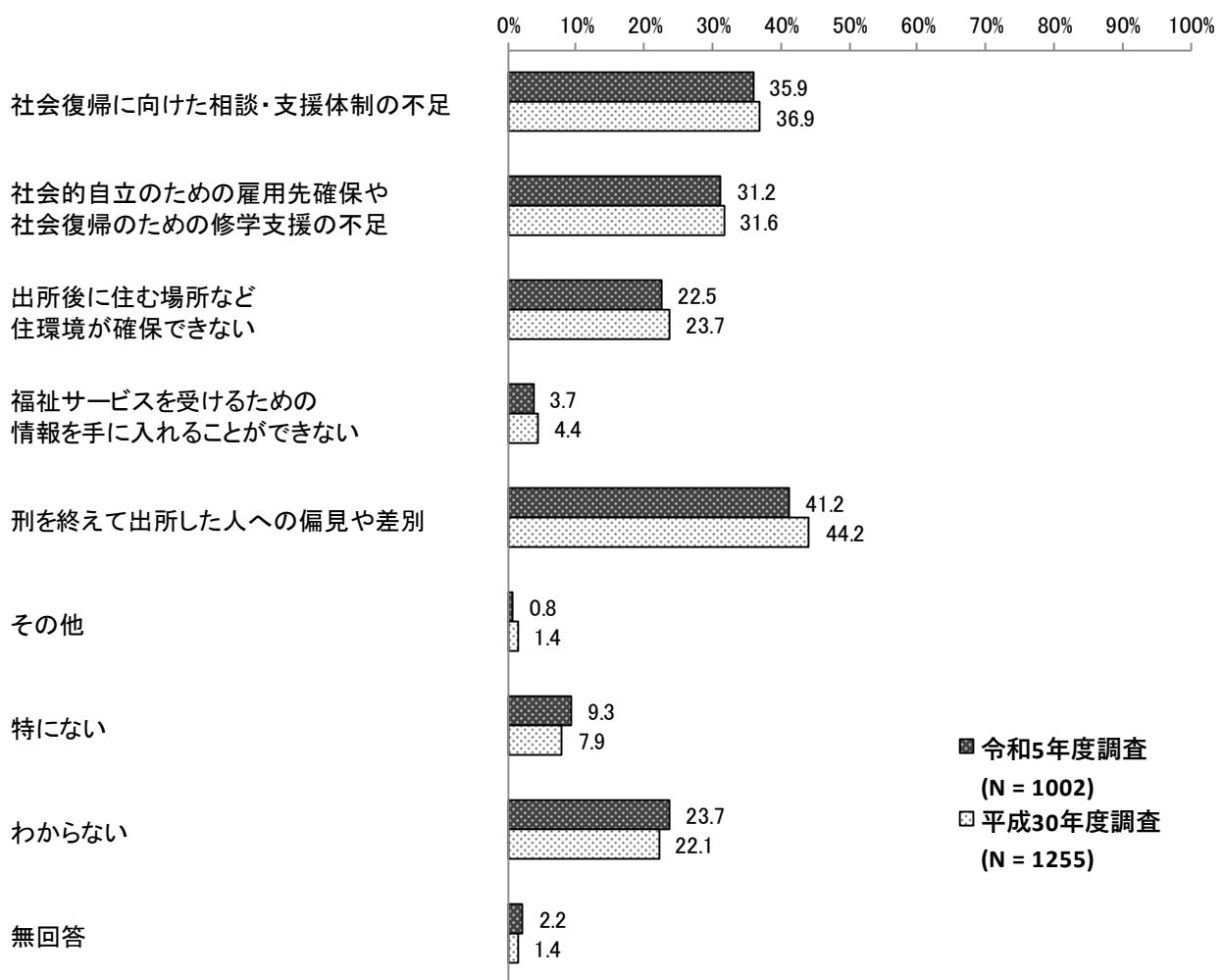
		回答数(人)	犯罪被害者の家族等へのプライバシーの侵害	家族の犯罪行為による精神的ショックにより日常生活に支障をきたす	事件のことで、周囲がうわさ話をする	更生保護活動に関する市民の理解不足	その他	特にない	わからない	無回答
全体		1002	68.9	46.1	50.8	20.0	0.8	6.0	9.2	1.4
性別	男性	450	63.3	39.3	50.9	18.4	1.8	8.4	9.8	1.8
	女性	482	74.5	51.9	51.2	20.1	0.0	3.9	8.3	1.0
	その他	18	66.7	66.7	33.3	27.8	0.0	0.0	11.1	0.0
年代	10歳代	54	72.2	42.6	46.3	18.5	3.7	5.6	3.7	0.0
	20歳代	68	79.4	41.2	58.8	14.7	0.0	4.4	8.8	0.0
	30歳代	104	73.1	48.1	56.7	14.4	2.9	6.7	5.8	1.0
	40歳代	150	78.0	53.3	56.7	14.0	0.0	4.0	3.3	2.0
	50歳代	172	72.7	52.3	51.2	16.3	0.0	6.4	8.7	1.2
	60歳代	193	66.3	49.2	49.2	28.0	1.0	4.1	9.3	0.5
	70歳代以上	204	55.9	34.8	43.1	23.0	0.5	9.3	16.2	2.9

性別で見ると、「家族の犯罪行為による精神的ショックにより日常生活に支障をきたす」は女性(51.9%)の方が男性(39.3%)より12.6ポイント高くなりました。「犯罪被害者の家族等へのプライバシーの侵害」は女性(74.5%)の方が男性(63.3%)より11.2ポイント高くなりました。

年代別で見ると、「犯罪被害者の家族等へのプライバシーの侵害」は、10歳代から50歳代にかけて7割台と高くなっており、「更生保護活動に関する市民の理解不足」は、60歳代(28.0%)、70歳代以上(23.0%)で2割台と高くなっています。

問 21 刑を終えて出所した人の人権のうち、あなたが問題だと思われる事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



刑を終えて出所した人の人権で問題だと思うことは、「刑を終えて出所した人への偏見や差別」が41.2%と最も高く、次いで「社会復帰に向けた相談・支援体制の不足」が35.9%、「社会的自立のための雇用先確保や社会復帰のための修学支援の不足」が31.2%となっています。

過去の調査と比較すると、大きな差はみられませんでした。

【性別・年代別】

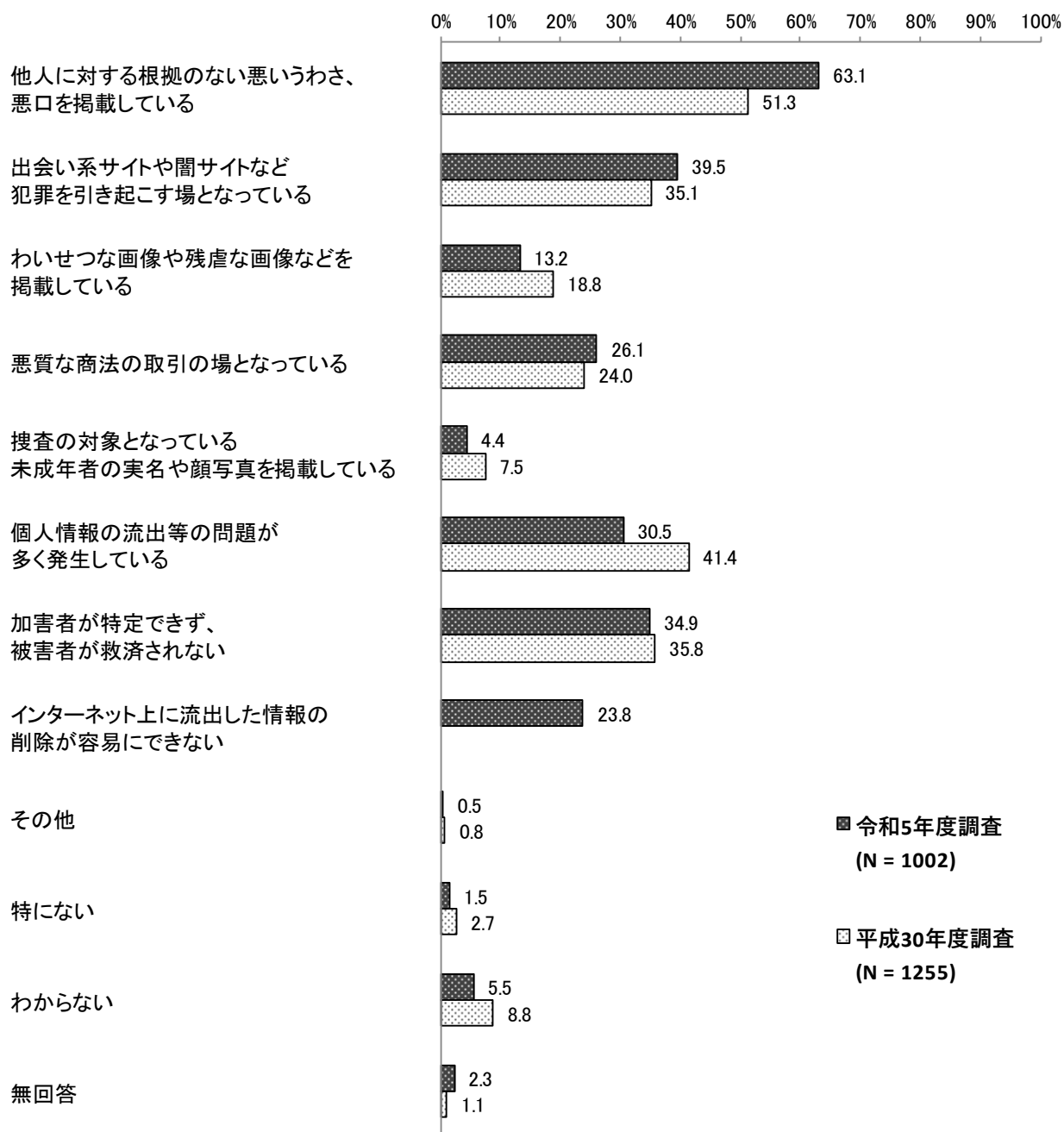
(単位:%)

		回答数 (人)	社会復 帰に向 けた相 談・支 援体制 の不足	社会的 自立の ための 修学支 援の不 足	住所後 に住む 場所な ど	情報手 に入 れるこ とがで きない	福祉サ ービス を受け るため の	刑を終 えて出 所した 人への 偏見や 差別	その他	特にな い	わか らな い	無回 答
全 体		1002	35.9	31.2	22.5	3.7	41.2	0.8	9.3	23.7	2.2	
性別	男性	450	34.7	29.1	23.8	4.0	38.9	1.1	12.9	20.4	3.1	
	女性	482	37.6	32.4	21.4	3.9	43.6	0.4	6.0	25.9	1.0	
	その他	18	33.3	33.3	5.6	0.0	50.0	0.0	0.0	33.3	5.6	
年代	10歳代	54	46.3	33.3	24.1	5.6	44.4	0.0	11.1	5.6	5.6	
	20歳代	68	38.2	30.9	17.6	4.4	41.2	1.5	7.4	23.5	0.0	
	30歳代	104	25.0	24.0	26.9	2.9	44.2	2.9	17.3	19.2	0.0	
	40歳代	150	31.3	29.3	26.7	6.7	35.3	1.3	14.0	21.3	2.0	
	50歳代	172	36.6	36.6	24.4	1.7	39.5	0.6	7.0	25.0	0.6	
	60歳代	193	42.0	31.6	21.8	3.6	44.0	0.0	3.1	27.5	2.1	
	70歳代以上	204	36.3	29.4	16.2	3.9	44.1	0.0	9.3	26.5	3.9	

性別でみると、「刑を終えて出所した人への偏見や差別」は女性（43.6%）の方が男性（38.9%）より4.7ポイント高く、「わからない」は女性（25.9%）の方が男性（20.4%）より5.5ポイント高くなりました。

年代別でみると、大きな差はみられませんでした。

問 22 インターネットによる人権問題のうち、あなたが特に問題だと思われる事例は何ですか。  
 (当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



インターネットによる人権侵害のうち問題だと思うことは、「他人に対する根拠のない悪いうわさ、悪口を掲載している」が63.1%と最も高く、次いで「出会い系サイトや闇サイトなど犯罪を引き起こす場となっている」が39.5%、「加害者が特定できず、被害者が救済されない」が34.9%となっています。

過去の調査と比較すると、「他人に対する根拠のない悪いうわさ、悪口を掲載している」(63.1%)は、平成30年度調査(51.3%)より11.8ポイント高く、「個人情報の流出等の問題が多く発生している」(30.5%)は、平成30年度調査(41.4%)より10.9ポイント低くなりました。

※調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。また、「インターネット上に流出した情報の削除が容易にできない」は令和5年度調査のみの選択肢です。

【性別・年代別】

(単位:%)

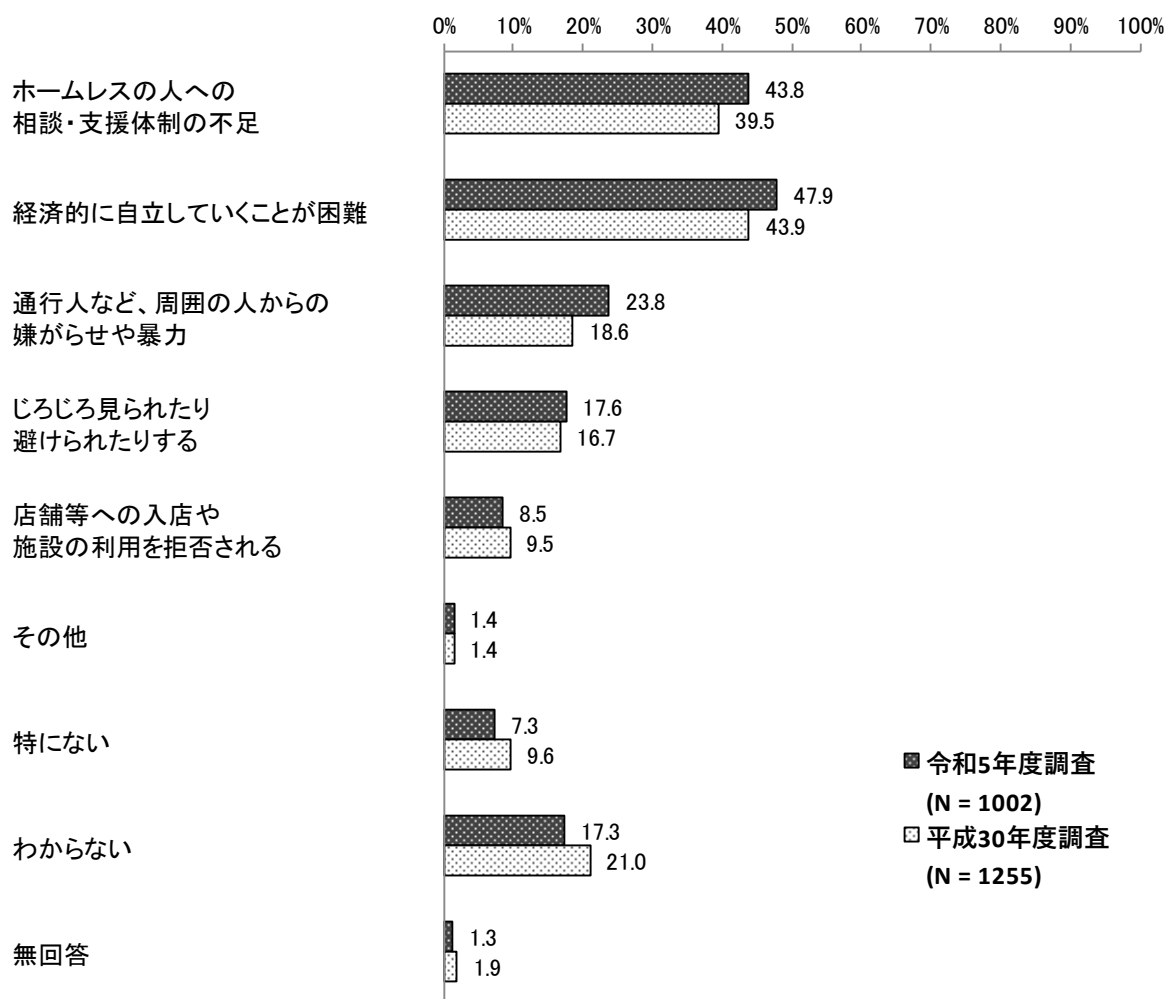
		回答数(人)	悪口を掲載している	他人に対する根拠のない悪いうわさ、	犯罪を引き起こす場となっている	出会い系サイトや闇サイトなど	掲載している画像や残虐な画像などを	わいせつな画像や残虐な画像などを	悪質な商法の取引の場となっている	未成年者の実名や顔写真を掲載している	捜査の対象となっている	多く発生している	個人情報の流出等の問題が	被害者が救済されない	加害者が特定できず、	削除が容易にできない	インターネット上に流出した情報の	その他	特にない	わからない	無回答
全体		1002	63.1	39.5	13.2	26.1	4.4	30.5	34.9	23.8	0.5	1.5	5.5	2.3							
性別	男性	450	61.3	33.8	11.6	30.9	4.7	28.9	37.1	22.4	1.1	1.6	4.9	3.3							
	女性	482	64.5	45.2	13.3	22.2	3.9	32.2	33.4	24.7	0.0	1.5	6.0	1.0							
	その他	18	55.6	33.3	38.9	11.1	11.1	44.4	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0							
年代	10歳代	54	68.5	35.2	18.5	27.8	7.4	31.5	37.0	20.4	0.0	1.9	1.9	0.0							
	20歳代	68	67.6	33.8	8.8	27.9	2.9	38.2	32.4	22.1	1.5	0.0	1.5	1.5							
	30歳代	104	65.4	35.6	16.3	26.0	2.9	40.4	34.6	31.7	1.9	1.0	1.0	1.0							
	40歳代	150	60.7	36.0	18.0	20.7	7.3	35.3	42.0	25.3	0.0	0.7	3.3	2.0							
	50歳代	172	65.1	45.9	11.6	27.9	4.7	30.8	33.1	29.1	0.0	0.6	3.5	1.7							
	60歳代	193	69.9	46.1	10.9	30.1	3.1	25.9	36.8	22.8	0.5	0.0	5.2	2.1							
	70歳代以上	204	51.5	35.3	10.3	24.5	3.9	24.5	31.9	16.7	0.5	4.9	13.2	3.9							

性別でみると、「悪質な商法の取引の場となっている」は男性（30.9%）の方が女性（22.2%）より8.7ポイント高く、「出会い系サイトや闇サイトなど犯罪を引き起こす場となっている」は女性（45.2%）の方が男性（33.8%）より11.4ポイント高くなりました。

年代別でみると、「わからない」は、70歳代以上（13.2%）が高くなっており、年代が上がるにつれて回答割合も高くなる傾向がみられました。

問 23 ホームレスの人の人権のうち、あなたが問題だと思われる事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



ホームレスの人の人権で問題だと思ふことは、「経済的に自立していくことが困難」が47.9%と最も高く、次いで「ホームレスの人への相談・支援体制の不足」が43.8%、「通行人など、周囲の人からの嫌がらせや暴力」が23.8%となっています。

過去の調査と比較すると、「通行人など、周囲の人からの嫌がらせや暴力」(23.8%)は、平成30年度調査(18.6%)より5.2ポイント高くなりました。

【性別・年代別】

(単位:%)

		回答数(人)	ホームレスの人への相談・支援体制の不足	経済的に自立していくことが困難	嫌がらせや暴力	通行人など、周囲の人からの避けられたりする	じろじろ見られたり	施設の利用を拒否される	店舗等への入店や	その他	特にない	わからない	無回答
全体		1002	43.8	47.9	23.8	17.6	8.5	1.4	7.3	17.3	1.3		
性別	男性	450	39.3	45.6	23.1	19.1	8.7	1.6	10.4	16.4	1.3		
	女性	482	47.7	51.7	24.1	16.0	9.1	1.2	3.7	18.0	0.8		
	その他	18	50.0	33.3	27.8	11.1	5.6	0.0	5.6	11.1	0.0		
年代	10歳代	54	40.7	50.0	40.7	31.5	22.2	1.9	7.4	5.6	0.0		
	20歳代	68	45.6	47.1	23.5	27.9	10.3	2.9	10.3	10.3	0.0		
	30歳代	104	32.7	49.0	25.0	24.0	12.5	3.8	9.6	12.5	0.0		
	40歳代	150	36.0	56.0	24.7	12.7	6.7	0.7	9.3	13.3	1.3		
	50歳代	172	45.3	54.1	20.9	13.4	5.8	0.6	3.5	17.4	0.6		
	60歳代	193	53.9	52.8	25.9	13.5	8.3	1.0	5.2	16.6	1.6		
	70歳代以上	204	44.6	33.8	17.6	17.6	7.8	1.0	7.4	28.4	2.0		

性別で見ると、「ホームレスの人への相談・支援体制の不足」は女性（47.7%）の方が男性（39.3%）より8.4ポイント高く、「経済的に自立していくことが困難」は女性（51.7%）の方が男性（45.6%）より6.1ポイント高くなりました。「特にない」は男性（10.4%）の方が女性（3.7%）より6.7ポイント高くなりました。

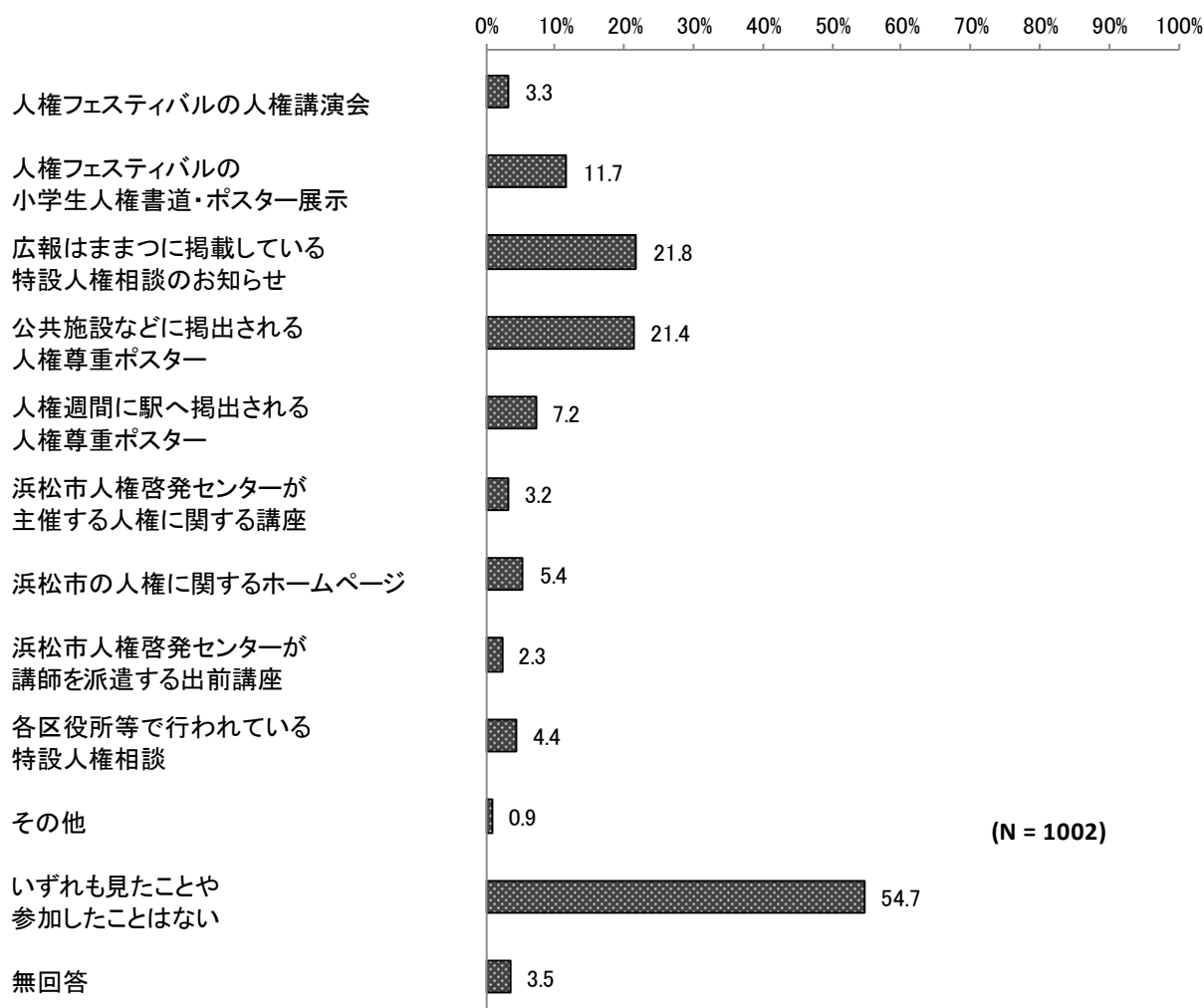
年代別で見ると、「わからない」は70歳代以上（28.4%）が高くなっており、概ね年代が上がるにつれて回答割合も高くなる傾向がみられました。



## (10) 浜松市の進める人権施策について

問 24 人権についての理解を深めていただくことを目的に、浜松市ではさまざまな取り組みを進めています。あなたが見たことや、参加したことがあるものを教えてください。

(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)



浜松市の進める人権施策について、「いずれも見たことや参加したことはない」が54.7%と最も高く、次いで「広報はままつに掲載している特設人権相談のお知らせ」が21.8%、「公共施設などに掲出される人権尊重ポスター」が21.4%となっています。

【性別・年代別】

(単位:%)

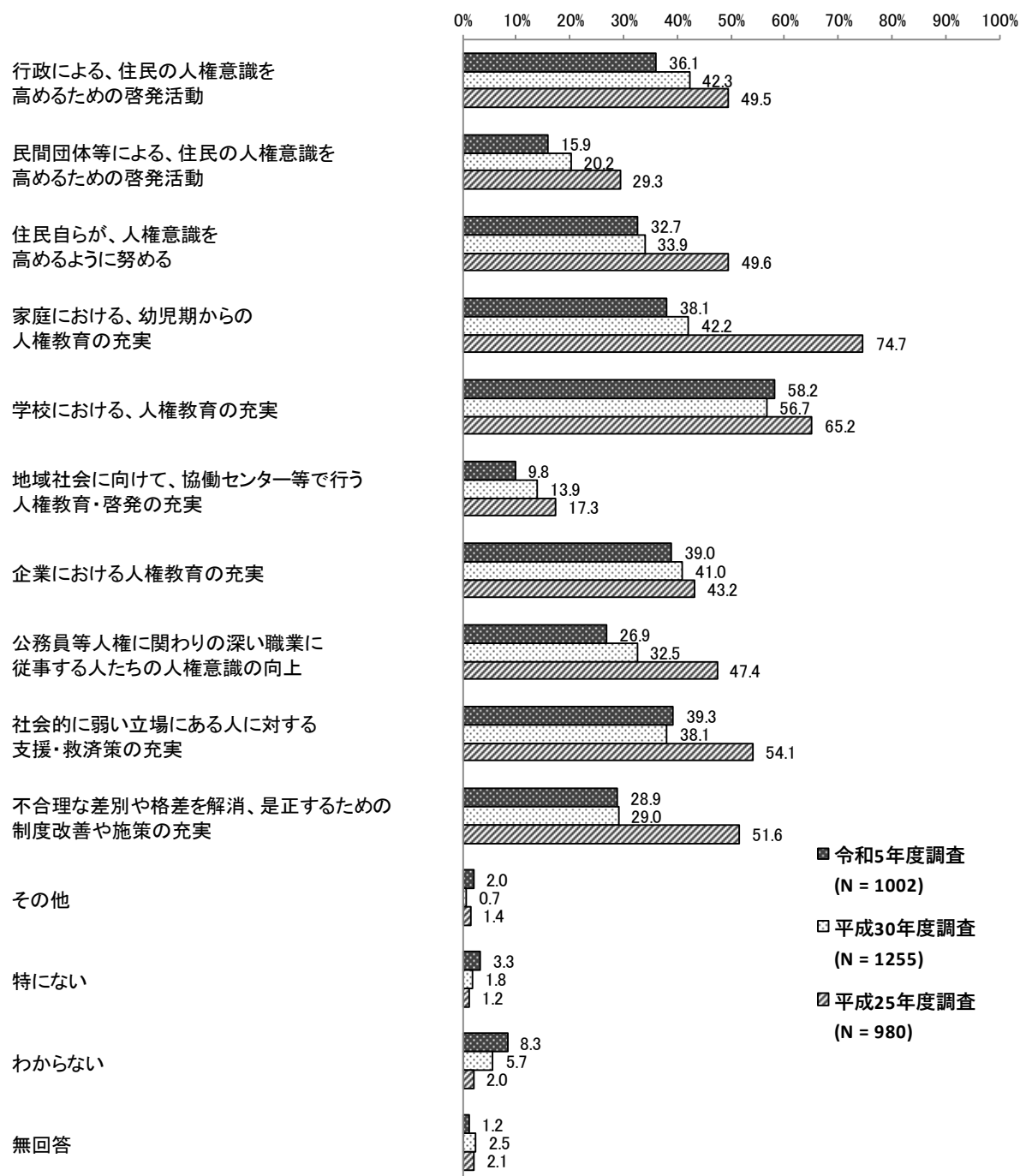
		回答数(人)	人権フェスティバルの人権講演会	小学生人権書道・ポスター展示	人権フェスティバルの	特設人権相談のお知らせ	広報はままつに掲載している	人権尊重ポスター	公共施設などに掲出される	人権尊重ポスター	人権週間に駅へ掲出される	主催する人権に関する講座	浜松市人権啓発センターが	浜松市の人権に関するホームページ	講師を派遣する出前講座	浜松市人権啓発センターが	特設人権相談	各区役所等で行われている	その他	参加したことはない	見つけたことや	無回答
全体		1002	3.3	11.7	21.8	21.4	7.2	3.2	5.4	2.3	4.4	0.9	54.7	3.5								
性別	男性	450	2.7	8.0	19.3	23.3	8.7	3.3	7.3	2.4	3.6	0.9	56.4	3.6								
	女性	482	3.5	15.1	24.3	19.9	5.6	2.5	3.7	1.2	5.0	1.0	52.7	3.1								
	その他	18	5.6	5.6	16.7	16.7	5.6	5.6	5.6	5.6	0.0	0.0	61.1	5.6								
年代	10歳代	54	3.7	7.4	9.3	29.6	1.9	3.7	18.5	1.9	0.0	1.9	51.9	0.0								
	20歳代	68	4.4	4.4	11.8	23.5	8.8	1.5	4.4	2.9	1.5	0.0	69.1	1.5								
	30歳代	104	1.0	6.7	17.3	12.5	3.8	1.0	4.8	0.0	1.9	0.0	65.4	2.9								
	40歳代	150	4.7	16.0	20.7	19.3	10.0	4.7	4.7	1.3	4.7	1.3	47.3	1.3								
	50歳代	172	2.9	16.3	18.6	17.4	7.0	2.3	5.8	1.7	4.7	1.7	58.7	1.7								
	60歳代	193	3.6	15.0	29.0	28.5	8.8	2.6	5.2	2.1	4.1	0.5	46.6	5.2								
	70歳代以上	204	2.5	7.4	27.9	22.1	5.9	3.9	3.4	2.5	6.9	1.0	54.4	5.9								

性別でみると、「人権フェスティバルの小学生人権書道・ポスター展示」は女性（15.1%）の方が男性（8.0%）より7.1ポイント高く、「広報はままつに掲載している特設人権相談のお知らせ」は女性（24.3%）の方が男性（19.3%）より5.0ポイント高くなりました。

年代別でみると、「広報はままつに掲載している特設人権相談のお知らせ」は、概ね年代が上がるにつれて回答割合も高くなる傾向がみられました。

## (11) 人権に関する取り組みについて

問 25 人権が尊重される社会を実現するために、あなたが必要だと思われる取り組みは何ですか。  
(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)



人権に関する取り組みについては、「学校における、人権教育の充実」が58.2%と最も高く、次いで「社会的に弱い立場にある人に対する支援・救済策の充実」が39.3%、「企業における人権教育の充実」が39.0%となっています。

過去の調査と比較すると、「行政による、住民の人権意識を高めるための啓発活動」(36.1%)は平成30年度調査(42.3%)より6.2ポイント低く、「学校における、人権教育の充実」(58.2%)は平成30年度調査(56.7%)より1.5ポイント高くなりました。

【性別・年代別】

(単位:%)

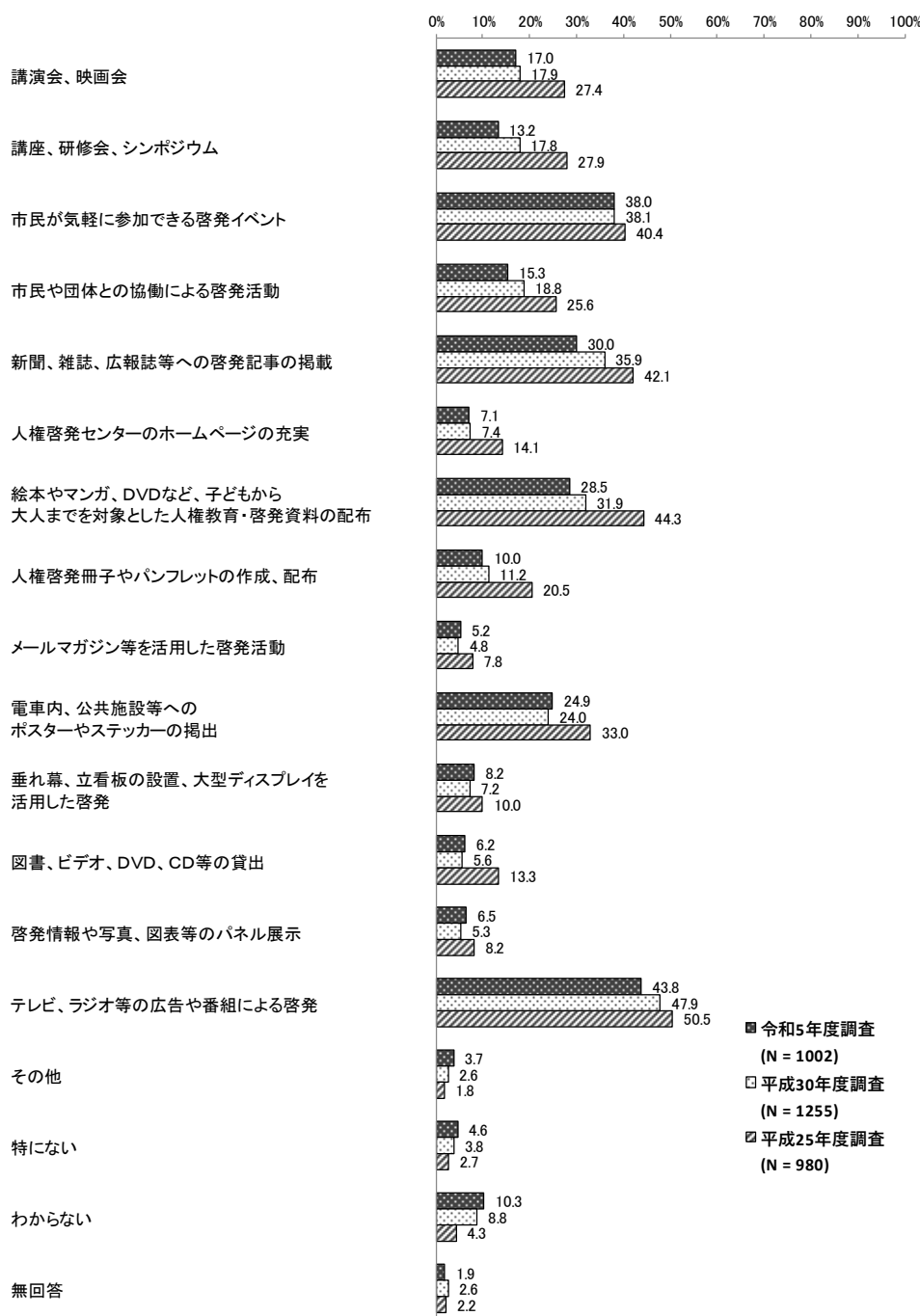
		回答数(人)	行政による、住民の人権意識を高めるための啓発活動	民間団体等による、住民の人権意識を高めるための啓発活動	住民自らが、人権意識を高めるように努める	家庭における、幼児期からの人権教育の充実	学校における、人権教育の充実	地域社会に向けて、協働センター等で行う人権教育・啓発の充実	企業における人権教育の充実	従事する人たちの人権意識の深い職業に	公務員等の人権に関わりの深い職業に	社会的に弱い立場にある人に対する支援・救済策の充実	制度改善や施策の充実	不合理な差別や格差を解消、是正するための	その他	特になし	わからない	無回答
全体		1002	36.1	15.9	32.7	38.1	58.2	9.8	39.0	26.9	39.3	28.9	2.0	3.3	8.3	1.2		
性別	男性	450	37.1	16.2	31.8	34.0	56.0	11.1	36.7	25.8	34.7	29.3	3.1	4.7	6.9	1.1		
	女性	482	36.3	15.4	34.2	41.7	60.2	9.8	41.9	28.4	44.6	29.5	1.0	1.7	9.5	1.0		
	その他	18	16.7	5.6	27.8	38.9	50.0	0.0	22.2	16.7	38.9	16.7	5.6	0.0	16.7	0.0		
年代	10歳代	54	24.1	11.1	29.6	46.3	55.6	9.3	40.7	16.7	40.7	38.9	1.9	1.9	9.3	0.0		
	20歳代	68	38.2	20.6	25.0	30.9	57.4	17.6	39.7	29.4	36.8	29.4	1.5	7.4	7.4	0.0		
	30歳代	104	28.8	10.6	25.0	43.3	71.2	6.7	49.0	19.2	37.5	24.0	4.8	2.9	5.8	0.0		
	40歳代	150	28.7	10.7	31.3	42.0	62.7	6.0	36.0	20.7	36.0	27.3	2.7	1.3	5.3	0.7		
	50歳代	172	34.3	19.2	29.1	39.0	53.5	9.3	40.7	25.6	39.5	27.3	2.9	1.7	12.2	1.2		
	60歳代	193	47.2	19.7	42.0	43.0	63.2	10.9	45.6	42.0	40.9	31.6	0.5	2.6	6.7	1.0		
	70歳代以上	204	40.7	14.2	37.3	26.5	47.1	13.2	28.9	25.0	43.6	30.4	1.5	4.9	10.8	2.5		

性別で見ると、「社会的に弱い立場にある人に対する支援・救済策の充実」は女性（44.6%）の方が男性（34.7%）より9.9ポイント高く、「家庭における、幼児期からの人権教育の充実」は女性（41.7%）の方が男性（34.0%）より7.7ポイント高く、「企業における人権教育の充実」は女性（41.9%）の方が男性（36.7%）より5.2ポイント高くなりました。

年代別で見ると、「行政による、住民の人権意識を高めるための啓発活動」は60歳代（47.2%）、70歳代以上（40.7%）で4割台と高くなっています。

## (12) 効果的な啓発活動について

問 26 人権尊重の理解を深めるために、あなたが特に効果的だと思われる啓発活動は何ですか。  
(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)



効果的な啓発活動については、「テレビ、ラジオ等の広告や番組による啓発」が43.8%と最も高く、次いで「市民が気軽に参加できる啓発イベント」が38.0%、「新聞、雑誌、広報誌等への啓発記事の掲載」が30.0%となっています。

過去の調査と比較すると、「新聞、雑誌、広報誌等への啓発記事の掲載」（30.0%）は平成30年度調査（35.9%）より5.9ポイント低く、年々低くなっています。

※調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。

【性別・年代別】

(単位:%)

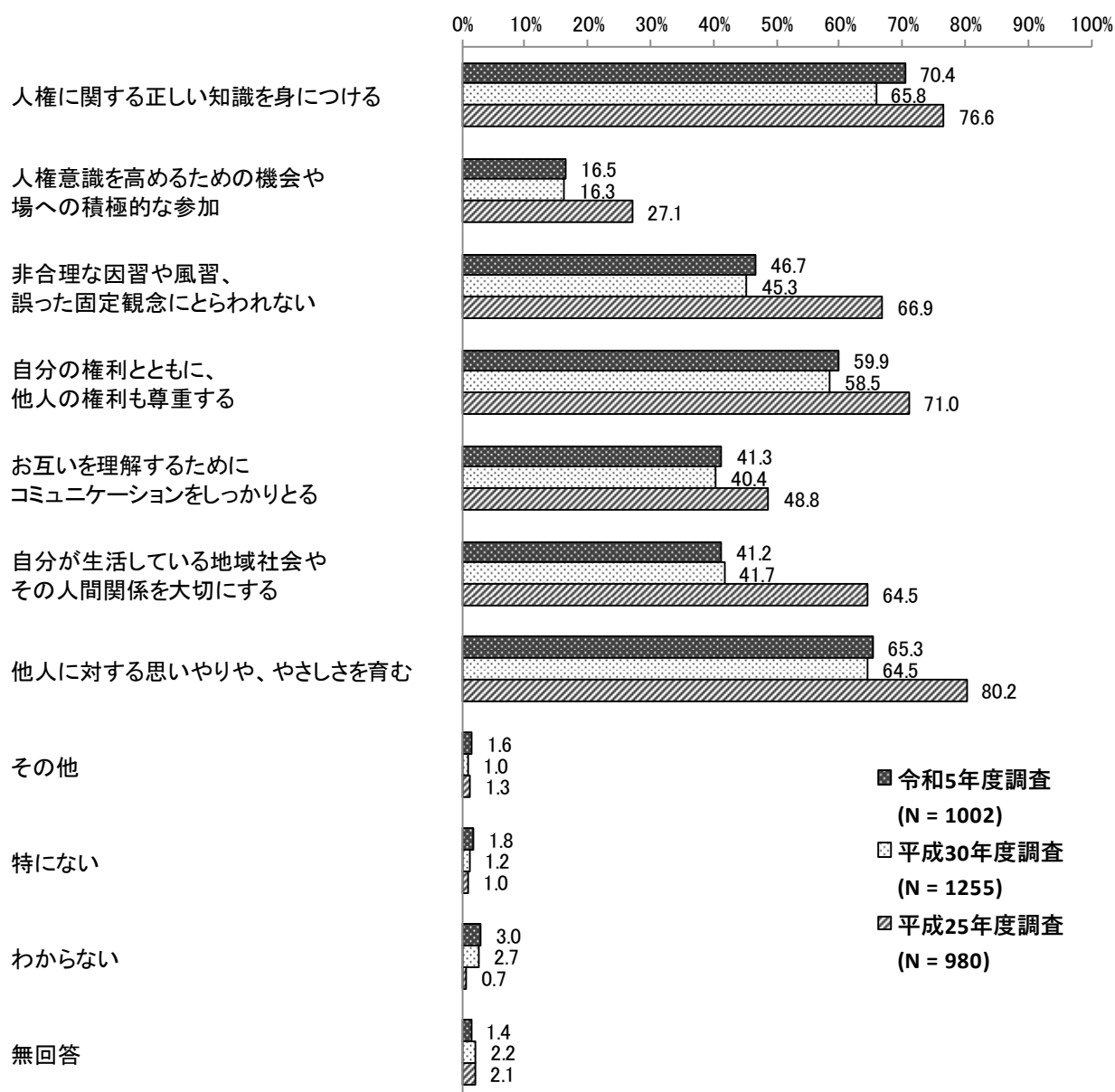
	回答数(人)	講演会、映画会	講座、研修会、シンポジウム	市民が気軽に参加できる啓発イベント	市民や団体との協働による啓発活動	新聞、雑誌、広報誌等への啓発記事の掲載	人権啓発センターのホームページの充実	絵本やマンガ、DVDなど、子どもから大人までを対象とした人権教育・啓発資料の配布	人権啓発冊子やパンフレットの作成、配布	メールマガジン等を活用した啓発活動	ポスターやステッカーの掲出	電車内、公共施設等への活用した啓発	垂れ幕、立看板の設置、大型ディスプレイを	図書、ビデオ、DVD、CD等の貸出	啓発情報や写真、図表等のパネル展示	テレビ、ラジオ等の広告や番組による啓発	その他	特になし	わからない	無回答
全体	1002	17.0	13.2	38.0	15.3	30.0	7.1	28.5	10.0	5.2	24.9	8.2	6.2	6.5	43.8	3.7	4.6	10.3	1.9	
性別	男性	450	18.0	17.6	32.2	16.4	29.1	7.6	21.6	8.2	5.3	25.3	9.6	5.8	8.0	45.1	4.4	5.3	9.8	1.3
	女性	482	16.4	10.2	44.8	16.0	32.2	7.1	35.5	11.4	5.2	25.3	7.5	7.5	5.8	44.0	2.9	3.5	10.6	1.9
	その他	18	11.1	0.0	22.2	0.0	11.1	0.0	33.3	11.1	5.6	22.2	0.0	0.0	5.6	22.2	0.0	0.0	22.2	0.0
年代	10歳代	54	22.2	7.4	29.6	14.8	29.6	13.0	33.3	14.8	18.5	35.2	22.2	18.5	13.0	50.0	3.7	1.9	3.7	0.0
	20歳代	68	8.8	5.9	25.0	13.2	27.9	10.3	41.2	11.8	8.8	36.8	16.2	8.8	11.8	42.6	5.9	4.4	10.3	0.0
	30歳代	104	14.4	17.3	28.8	9.6	16.3	8.7	32.7	8.7	1.9	29.8	10.6	1.9	9.6	38.5	7.7	6.7	3.8	1.9
	40歳代	150	16.0	11.3	35.3	12.0	22.7	6.0	31.3	4.0	2.0	29.3	6.7	9.3	5.3	50.0	5.3	3.3	12.7	0.7
	50歳代	172	18.0	15.1	34.3	18.0	30.2	7.6	24.4	8.1	6.4	24.4	10.5	6.4	5.2	44.2	4.1	3.5	14.5	1.7
	60歳代	193	17.6	15.5	43.5	21.2	36.8	6.7	28.0	13.0	5.7	22.8	4.7	5.2	5.7	45.6	1.0	3.6	9.3	4.1
	70歳代以上	204	18.6	14.2	52.0	16.7	38.2	4.9	24.0	11.8	3.4	16.7	3.9	4.4	5.9	40.7	1.5	5.9	11.3	0.5

性別でみると、「絵本やマンガ、DVDなど、子どもから大人までを対象とした人権教育・啓発資料の配布」は女性（35.5%）の方が男性（21.6%）より13.9ポイント高く、「市民が気軽に参加できる啓発イベント」は女性（44.8%）の方が男性（32.2%）より12.6ポイント高くなりました。

年代別でみると、「市民が気軽に参加できる啓発イベント」は70歳代以上（52.0%）が高くなっており、年代が上がるにつれて概ね回答割合が高くなっています。

## (13) 市民一人ひとりが心がけることについて

問 27 お互いの人権が尊重されるために、市民一人ひとりがすべきことはどれだと思われますか。  
(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)



市民一人ひとりが心がけることについては、「人権に関する正しい知識を身につける」が70.4%と最も高く、次いで「他人に対する思いやりや、やさしさを育む」が65.3%、「自分の権利とともに、他人の権利も尊重する」が59.9%となっています。

過去の調査と比較すると、「人権に関する正しい知識を身につける」(70.4%)は平成30年度調査(65.8%)より4.6ポイント高くなっています。

※調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。

【性別・年代別】

(単位:%)

		回答数(人)	人権に関する正しい知識を身につける	人権意識を高めるための機会や場への積極的な参加	誤った固定観念にとらわれない	非合理的な因習や風習、	自分の権利とともに、他人の権利も尊重する	お互いを理解するためにコミュニケーションをしっかりとる	自分が生活している地域社会やその人間関係を大切にする	他人に対する思いやりや、やさしさを育む	その他	特にない	わからない	無回答
全体		1002	70.4	16.5	46.7	59.9	41.3	41.2	65.3	1.6	1.8	3.0	1.4	
性別	男性	450	67.3	18.7	43.6	56.7	40.7	40.4	58.7	2.0	2.9	3.3	0.9	
	女性	482	74.3	14.5	50.2	63.3	41.9	43.6	71.6	1.2	0.8	2.5	1.5	
	その他	18	50.0	5.6	33.3	44.4	27.8	22.2	72.2	0.0	0.0	11.1	0.0	
年代	10歳代	54	77.8	16.7	46.3	63.0	46.3	25.9	50.0	1.9	0.0	3.7	0.0	
	20歳代	68	67.6	16.2	36.8	50.0	50.0	23.5	54.4	0.0	4.4	4.4	0.0	
	30歳代	104	72.1	18.3	53.8	59.6	50.0	39.4	62.5	1.9	2.9	1.0	1.9	
	40歳代	150	74.0	14.0	41.3	56.7	40.0	35.3	69.3	1.3	1.3	1.3	0.0	
	50歳代	172	70.3	11.6	48.8	61.0	39.5	36.0	67.4	2.3	1.2	5.2	0.0	
	60歳代	193	75.6	19.7	50.3	64.8	37.3	49.2	69.9	1.6	1.0	2.1	3.6	
	70歳代以上	204	61.8	18.1	45.6	59.8	38.2	54.9	66.2	1.5	2.5	3.9	1.0	

性別で見ると、「他人に対する思いやりや、やさしさを育む」は、女性（71.6%）の方が男性（58.7%）より12.9ポイント高くなっています。「人権に関する正しい知識を身につける」「非合理的な因習や風習、誤った固定観念にとらわれない」「自分の権利とともに、他人の権利も尊重する」は女性の方が男性より回答割合が6ポイント以上高くなっています。

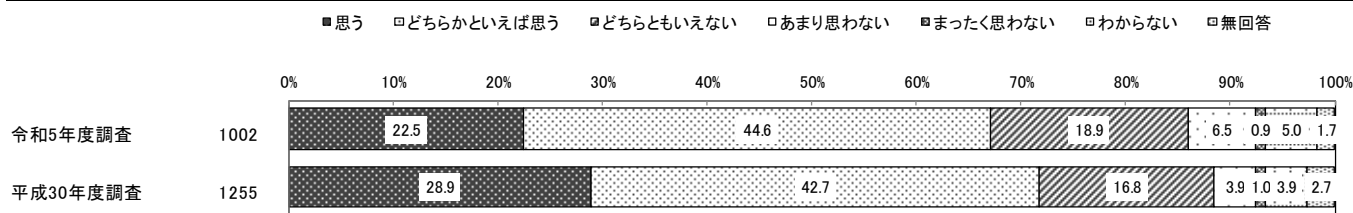
年代別で見ると、「自分が生活している地域社会やその人間関係を大切にする」は60歳代（49.2%）、70歳代以上（54.9%）で高くなっており、年代が上がるにつれて概ね回答割合が高くなっています。



## (14) 人権について

問 28 あなたは、さまざまな人権について知りたい、理解したいと思われませんか。

(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)



さまざまな人権について知りたい、理解したいかについて、「どちらかといえば思う」が44.6%と最も高く、次いで「思う」が22.5%、「どちらともいえない」が18.9%となっています。

「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『思う』は67.1%となり、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた『思わない』（7.4%）を59.7ポイント上回りました。

過去の調査と比較すると、『思う』（67.1%）は、平成30年度調査（71.6%）より4.5ポイント低くなっています。

### 【性別・年代別】

(単位:%)

	回答数(人)	思う	どちらかといえば思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	わからない	無回答	
全体	1002	22.5	44.6	18.9	6.5	0.9	5.0	1.7	
性別	男性	450	19.1	44.0	19.3	8.9	1.6	5.3	1.8
	女性	482	24.5	46.1	18.9	4.4	0.4	4.6	1.2
	その他	18	16.7	50.0	22.2	5.6	0.0	5.6	0.0
年代	10歳代	54	37.0	46.3	14.8	0.0	0.0	1.9	0.0
	20歳代	68	27.9	55.9	5.9	7.4	0.0	2.9	0.0
	30歳代	104	20.2	45.2	20.2	8.7	0.0	3.8	1.9
	40歳代	150	21.3	48.0	17.3	8.0	1.3	3.3	0.7
	50歳代	172	19.2	45.3	19.2	6.4	1.7	6.4	1.7
	60歳代	193	20.7	44.0	21.8	4.1	1.0	5.2	3.1
	70歳代以上	204	20.1	40.7	22.1	8.3	1.0	6.9	1.0

性別で見ると、『思う』は、女性（70.6%）の方が男性（63.1%）より7.5ポイント高くなりました。

年代別で見ると、『思う』は10歳代（83.3%）、20歳代（83.8%）で高くなっており、年代が下がるにつれて概ね回答割合が高くなっています。

問 29 日ごろ、「人権」について、あなたがお考えになっていることや、お気づきになったこと、また、ご意見やご提案等がございましたら、ご記入ください。

「人権」について考えていることや気づいたこと、意見・提案について245件の回答をいただきました。その一部を掲載します。

ご意見ご提案など
人権についてはあまり深く考えたことが無かったので、これから知っていかれたらと思います。(男性 20 歳代)
生死に関わるような問題に積極的に取り組む姿を普通に見られる様になることが何よりも市民の意識向上につながることとなります。啓発活動よりも仕組みを変える事を優先すべきであり、まずは課題として役所の中で理解を深める事をお願いしたいです。(男性 50 歳代)
相手の事を考えて行動する。思いやり。(男性 70 歳代以上)
人権というわかりづらいので、子供にはこうしよう高齢者にはこうしようなど具体的にやった方がよいことを啓発していくことを続けていくことが大事だと思います。幼稚園や小学校から教えていくべきだと思います。(男性 40 歳代)
先日、外国人の住居探しの手伝いをしました。不動産屋さんから「外国人の人は・・・」という言い方をされ、ショックを受けました。真剣に探してくれなくて悲しくなりました。(女性 40 歳代)
主人の姉が(同和問題) 部落の人と結婚をされていて(主人の母は大反対したそうですが)、私も父と母から結婚を反対されたことがあります。(結婚できたが) 実際、義兄はとても優しくて家族思いの人です。私の父は違った考えを持っていると思います。父は、祖父から部落の人の変なうわさを教わり信じたようです。私の息子は自分が選んだ相手と結婚してほしいです。若い人たちは正しい教育をしてもらいたいです。(女性 30 歳代)
文化のちがいは埋められないので、お互いの距離感を保つのが大切だと思います。(国籍、年齢、性別を問わず) (男性 50 歳代)
人間が生活していく上で、それぞれの違った考え方が生まれる事は当然の事と思うが、心の底に育むべきものは大切にしてもらいたい。しかしながら、人権問題に託けて過度な優遇措置や、パフォーマンスには正直賛同できない。バランスが必要であると思います。(男性 50 歳代)
インターネットの発達と共に真偽不明の情報が巷に流れることにより、それに振り回される危険が誰の上にも襲いかかる。どうしたらそれを防げるのか……(女性 70 歳代以上)
家庭での教育が大切だと思います。家庭で話し合える様な情報を、もっとふやしてほしい。(男性 60 歳代)
我家の子供が高校生の時、クラスでいじめにあい不登校になりかけました。担任の教師の気くばりもあり、なんとか卒業できましたが本人はとても、つらそうでした。日本では、いじめられる子供が自分で我慢するか、学校をやめるか、命を落とす子もいます。海外の学校では、いじめをしている子を指導して、悪いことをしていると自覚させると聞いたことがあります。いじめは悪だと教育していくシステムが出来たら、少しでも、命を救えるのではないのでしょうか。(女性 60 歳代)
集団の中(学校、親の集まり、会社)では、声を出せる者、声の大きい者の意見に、声を出せない者、声が少ない者が同調するしかなく、肩身がせまい思いをしているのを見るとかなしくなる。(男性 40 歳代)
男性への人権的ハイリョという項目がないのはなぜでしょうか。その考え自体が、人権を軽視していることなのではないでしょうか。(男性 20 歳代)

<p>小さな町内会ですので人のうわさや出来事は直ぐに耳に入って来ます。誹謗、中傷的なことを発しないように、いつ自分の身に降りかかってくるかも知れないということを考えて、常に人の気持ちになって接してあげるように心掛けています。(男性 70 歳代以上)</p>
<p>この意識調査をしていただきありがたい。五体満足な自分になにができるか残り少ない人生で考えるきっかけとなりました。ありがとうございます。効果的啓発イベント、学校教育をして下さい。(男性 70 歳代以上)</p>
<p>小さい子供達がよく亡くなっていく事件が多くそのたびに悲しい世の中になったなあいつも思っています。子供の虐待が多く感じられ、つらいです。家庭内、保育園、どうしてこんなにかわいい子供達を大事に出来ないのか？ ひとりひとりが人間を大切にする気持ちがうすらいでいるのかしら……(女性 60 歳代)</p>
<p>昨今の様に、「時代は変わった」の一言で色々な事が消され、曲がり、変化し、海外では、簡単に命が奪われ、殺伐とした世の中で、『人権』について語れる日本は、なんと幸せな国だと思うと同時にこれでいいのかなーと、考えさせられます。かしこ。(男性 70 歳代以上)</p>
<p>多数の人が観ているテレビを使って啓発をどの番組 (チャンネル) でも流すといいと思います(女性 70 歳代以上)</p>
<p>自分自身、子供の為に小学生の頃より、自閉症について、いろいろなところへ出ておしえてもらい、今現在、市より補助年金をもらえるようになっている。中々いただけていない人が大勢いるようなでもっと市役所にかいてあるが親のとりにくみしだいになっているのもっと自閉症について研究している人達がいることをお知らせしてとりくんでいってほしい。(女性 70 歳代以上)</p>
<p>「人権」というと何だかぎょうぎょうしく感じられますが、お互いを尊重する、とか相手を思いやる気持ちが、基本かと思います。「人権」って権利ばかりを振りかざしているモンスターペアレントや、クレーマーみたい。(女性 50 歳代)</p>
<p>最近なんでもかんでも「人権」という言葉を出せば良く聞こえる風潮になっている気がします。それを利用してやりたくない仕事をしないとかあると思います。差別と区別はちがうと思うので子供にうまく伝えていけたらと思います。人権問題は何が正しいのかわからなくなってきていることが問題だと思います。(女性 40 歳代)</p>
<p>親から子供への虐待ですが、その親も子供の頃親から虐待を受けていた、という事があります。それではいつまでも虐待はなくなりません。自分が受けたつらく嫌な事は、人にはしない、という風に、反面教師としていく、その様な世の中になってほしいと思います。(女性 70 歳代以上)</p>
<p>人権は重要だと思いますが、自分以外の人権は考えてはいませんでした。啓発活動 (市民、NPO) には参加したいですね！(男性 70 歳代以上)</p>
<p>若いの方が人権に対する意識が高い様に思います。60代以上の方が、固定観念で、発信している場合が多いと感じます。(男性 70 歳代以上)</p>
<p>建設現場などで外国人労働者が、不当なあつかいをうけている様な事があるようなので、監視できるような機関があればよいと思う。軽い発達障がい (3件以上覚えられない) などに対する、見た目ではなかなかわからない障がいへの理解ができる環境ができればよいと思う。(男性 50 歳代)</p>
<p>今回の意識調査を通して、「人権について」ひとごとと思ってはいけない、みんなで関心を持たないといけないと思いました。でも、どうしたらいいかわかりません。(女性 60 歳代)</p>
<p>時代に沿った考え方ができる人はいいけれど昔のままの考えでいるとなかなか理解するのが難しいと思う。子供の時にきちんと家庭・学校などで教育できれば良いと思う。(女性 60 歳代)</p>

<p>人権についてかたく考えるのではなく、他人にやさしく、他人のお手伝いが無理なくできる人が増えるといいね。私達が小学校で習った『道徳』を子供達にも学んで欲しいですね。子供達が外で遊べる社会になるといいですね。(女性 60 歳代)</p>
<p>特に今回制定されたLGBT法案などの問題、性的少数者の人権を尊重するあまり、女性の人権がないがしろにされ、これを悪用して女性の人権侵害がすでにおきている。日本がある方向に変えられ、おかしい日本になっていっている。日本は元来、人権が世界的に特に中国、朝鮮、ロシア、韓国などに比べて守られているのにこの特定の人達ばかり守る様な人権の国になっている。この方がおかしい。日本をこれ以上ゆがめないでほしい。外国人も日本にいる限りは、日本の法律を日本人と同じ様に守り、暮らしてこそ外国人の人権が存在すると思う。義務を守ってこそその人権ではないか?(男性 60 歳代)</p>
<p>自分自身を大事にするとともに、他人の事も大切にしていってほしい。子供の時から様々な人と知りあえる機会が増えると良いのでは?(女性 50 歳代)</p>
<p>バスを利用している際、最近はポルトガル語のアナウンスを聞きます。英中以外の言語を初めてバス車内で聞いたので驚きましたが、外国人の人々も過ごしやすそう、トラブルも減って非常に良いと思いました。ブラジル人が非常に多く住んでいる浜松市ならではだなど感じました。(女性 20 歳代)</p>
<p>障がいをもった人(認定されている人)は、まだ少しは支援があるが、すべての障がいのある人達が、働くことができる場所をその人のできる範囲で仕事をして、社会に参加し、充実した生活を送れるような丁寧なサービスが必要です。困っている人が支援を受けられる仕組みをしっかりと作ってほしいです。仕事をしたくても、できない現実があります。(女性 50 歳代)</p>
<p>子供のころからの、人権についての学びが、必要なのではないのでしょうか。(女性 50 歳代)</p>
<p>家庭内(夫と妻)の人権がとかく失われがち。社会に対して進んでいても、家庭に入ると夫が優位になっている。(女性 70 歳代以上)</p>
<p>大人に対しては思わないが学校教育で道徳的な事、倫理的な事の授業が多くなれば良いと思う。(男性 40 歳代)</p>
<p>そもそも人権について日ごろかんがえたりしたことがない。自分や、身近な人で侵害されたというような話を聞くことないです。逆に、浜松市内では人権侵害の問題が多数有るのですか?(男性 50 歳代)</p>
<p>まず自分を大切にすること。自殺者数が多すぎる時代だと思っています。(女性 60 歳代)</p>
<p>子供の教育やモラルの指導が地域として教師として出来にくくなっている事は未来においての大変な問題だと感じます。悪い事をして相手に対して謝れない注意も出来なくなっている世間が悲しく思う時も多いです。ネット上の中傷も、何か、制限できるものが出来ると良いと思います。(女性 50 歳代)</p>
<p>自分を大切に思うと同じぐらい他人のことを知り、大切に思う様努力する。(女性 70 歳代以上)</p>
<p>人権・差別・偏見などは、あってはいけないことだと思います。社会の皆様が、手をたずさえて、声をかけ合い、誰もが、うちとけてゆける様に、お互いがくらししていけます様に、願うばかりです。(女性 60 歳代)</p>

### Ⅲ. 付録 調査票

## 人権に関する意識調査のお願い

市政の推進につきまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。  
近年、ますます複雑化、多様化する人権問題に取り組むために、市民の皆さまが人権についてどのように考えておられるかを、把握していくことが重要となります。  
この調査は、今後浜松市が人権施策を推進していく基礎資料として活用するために、人権に関する意識について、市民の皆さまのお考えを伺うものです。  
お忙しいところお手数ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

令和5年11月10日

浜 松 市

#### 【ご記入についてのお願い】

- 1 封書のあて名のご本人が、ご回答いただきますようお願いいたします。
- 2 ご回答は、設問ごとに該当する番号を選んで○で囲んでください。  
また「その他」を選んだ方は、その具体的な内容をご記入ください。
- 3 調査は無記名でご回答いただき、結果は統計的に処理しますので、回答から個人が特定されることはありません。またこの調査の結果は、調査目的以外に使用することはありません。
- 4 12月10日（日）までに、インターネットでご回答いただくか、ご記入いただいた調査票を同封の封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。（封筒に差出人名を記載しないでください。）
- 5 インターネットでのご回答方法については、裏面をご覧ください。
- 6 ご不明な点は、**浜松市人権啓発センター**へお問い合わせください。



浜松市健康福祉部 福祉総務課  
人権啓発センター  
電話：(053)457-2031  
FAX：(053)450-7702

## 【インターネットでのご回答方法】

- 1 下記 URL または二次元バーコードで専用 WEB サイトにアクセスしてください。

本調査専用 WEB サイト	https:// ~
---------------	------------

QR コード\*

- 2 下記 ID とパスワードを入力してログインしてください。

ID	0000	パスワード	xxxxxx
----	------	-------	--------

- 3 各設問文に従ってご回答ください。サイト上部の「あとで続きをする」をクリックすると回答内容を一時保存でき、画面を閉じた場合は再ログインすると回答を再開できます。  
「回答を破棄して終了」をクリックすると、回答途中であっても入力内容を全て破棄して終了します。
- 4 最後の設問まで回答すると回答確認画面が表示されます。「送信する」をクリックして完了です。

※「ID」と「パスワード」は、第三者によるログインを避けるため、個人を特定するものではありません。

※インターネット回答の場合は、12月10日(日)の23時59分までに入力を完了してください。

※インターネットで回答された場合は、調査票(紙)での回答は必要ありません。

※入力の途中で一定時間(2時間程度)操作をしないと、通信が遮断され、入力した内容が失われます。

## はじめに



あなたは「**人権**」という言葉からどんな印象を受けますか？

人権は、「**誰もが幸せに生きていく権利**」「**自分が自分らしく生きる権利**」で、身近で大切なものです。そして「**お互いの個性を尊重**」し「**違いを認め合う**」ことによって、守られるものだと考えられます。

しかしながら、虐待により子どもの生命が脅かされる、立場の異なる人からのハラスメントや学校でのいじめ問題など、「**幸せに生きていく権利**」を奪われたという報道が繰り返されています。

また、高齢だから、障がいがあるから、同和地区出身だから、外国人だからということで差別を受けて、「**自分らしく生きる権利**」を奪われることもあります。

このアンケートは、浜松市が、これらの人権問題の解消に向けた取り組みを進めるために、市民の皆様の人権に関するお考えを聞かせていただくものです。

# 人権に関する意識調査票

## 【1 人権意識について】

問1 あなたは人権を尊重することは重要だと思われませんか。  
(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)

- 1 非常に重要
- 2 どちらかといえば重要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり重要ではない
- 5 重要ではない
- 6 わからない

問2 あなたは、自分以外の人の人権を尊重することができていると思われませんか。  
(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)

- 1 できている
- 2 ややできている
- 3 どちらともいえない
- 4 あまりできていない
- 5 できていない
- 6 わからない

問3 浜松市では、「人権尊重の意識」が生活の中に定着していると思われませんか。  
(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)

- 1 思う
- 2 どちらかといえば思う
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり思わない
- 5 まったく思わない
- 6 わからない

問4 あなたは、この5年ほどの間に、自分の人権が侵害されたと思われたことはありますか。

- 1 ある
- 2 ない
- 3 わからない

問5 問4で「1 ある」と回答した方にお聞きます。それは、どのような内容ですか。  
(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)

- 1 あらぬうわさや悪口、インターネット情報等で名誉や信用を傷つけられた、または侮辱された
- 2 職場や学校において、仲間はずれや嫌がらせ等不当な扱いを受けた
- 3 プライバシーの侵害（他人に知られたくない個人的なことを知られること）
- 4 セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）や、ストーカー被害（特定の人にしつこくつきまとわれること）を受けた
- 5 ドメスティック・バイオレンス（配偶者やパートナーからの暴力）を受けた
- 6 人種・信条・性別・性的指向・社会的身分等を理由に不当な扱いを受けた
- 7 役所や医療機関、社会福祉施設等で不当な扱いを受けた
- 8 児童虐待
- 9 悪臭・騒音等の公害
- 10 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
- 11 答えたくない



問6 問4で「1 ある」と回答した方にお聞きします。  
 あなたは自分の人権が侵害されたと思われたときどうしましたか。  
 (当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)

- |    |                  |  |
|----|------------------|--|
| 1  | 家族や友人等身近な人に相談した  |  |
| 2  | 学校に相談した          |  |
| 3  | 職場に相談した          |  |
| 4  | 警察に相談した          |  |
| 5  | 県・市町村役場に相談した     |  |
| 6  | 法務局・人権擁護委員に相談した  |  |
| 7  | 弁護士に相談した         |  |
| 8  | 民間の団体に相談した       |  |
| 9  | 自分で解決した          |  |
| 10 | 相手に抗議した          |  |
| 11 | 何もしなかった、我慢した     |  |
| 12 | 忘れた、わからない        |  |
| 13 | その他(具体的に: _____) |  |
| 14 | 答えたくない           |  |

問7 人権に関する相談窓口として、次のものがあります。  
 あなたが知っている相談窓口の番号すべてに、○をつけてください。

- |    |                 |                               |               |
|----|-----------------|-------------------------------|---------------|
| 1  | 法務局             | (親子、夫婦、差別、いじめなど様々な人権に関する相談)   |               |
| 2  | 労働基準監督署         | (職場でのハラスメントに関する相談)            |               |
| 3  | 児童相談所           | (児童虐待など子どもに関する専門的な相談)         |               |
| 4  | 地域包括支援センター      | (高齢者に関する総合相談)                 |               |
| 5  | 障害者相談支援センター     | (障がいのある人やそのご家族からの相談)          |               |
| 6  | DV相談専用ダイヤル      | (配偶者やパートナー等からの暴力)             | ☎053-412-0360 |
| 7  | 浜松市いじめ子どもホットライン | (幼稚園児、小中学生とその保護者からのいじめに関する相談) | ☎053-451-0022 |
| 8  | 児童相談所共通ダイヤル     | (児童虐待などに関する相談)                | ☎189          |
| 9  | みんなの人権110番      | (様々な人権に関する相談)                 | ☎0570-003-110 |
| 10 | こどもの人権110番      | (いじめなど学校や家、友達のことに関する相談)       | ☎0120-007-110 |
| 11 | 女性の人権ホットライン     | (女性をめぐる様々な人権に関する相談)           | ☎0570-070-810 |
| 12 | 外国語人権相談ダイヤル     | (10か国語の多言語に対応する人権相談)          | ☎0570-090-911 |
| 13 | ふじのくにLGBT電話相談   | (性のあり方の悩みや困りごとに関する相談)         | ☎0120-279-585 |

※「浜松市の相談機関一覧表」は、ホームページで見ることができます。

【URL】 [https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/documents/12895/r5\\_soudankikanichiran.pdf](https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/documents/12895/r5_soudankikanichiran.pdf)

問8 次の人権問題のうち、あなたが関心のある人権問題はどれですか。  
(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)

- 1 女性の人権
- 2 子どもの人権
- 3 高齢者の人権
- 4 障がいのある人の人権
- 5 部落差別（同和問題）
- 6 アイヌの人々の人権
- 7 外国人の人権
- 8 HIV感染者、ハンセン病患者、新型コロナウイルス感染症等をめぐる人権問題
- 9 刑を終えて出所した人の人権
- 10 犯罪被害者等の人権
- 11 インターネットによる人権侵害
- 12 北朝鮮による拉致被害者をめぐる問題
- 13 貧困問題（生活困窮やホームレスの人など）をめぐる人権問題
- 14 性的少数者（性同一性障がいや性的指向など）をめぐる人権問題
- 15 災害に伴う人権問題（避難生活への配慮、避難者に対するいじめなど）
- 16 ハラスメント
- 17 人身取引（トラフィッキング）
- 18 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
- 19 人権問題に関心がない
- 20 わからない

## 【2 女性の人権について】

問9 次の事例のうち、あなたが特に問題だと思われる事例は何ですか。  
(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)

- 1 性別による役割分担意識（男は仕事、女は家庭等）の存在
- 2 性別による職種の限定や、待遇差がある（仕事の内容、昇給や昇進における男女差など）
- 3 ドメスティック・バイオレンス（配偶者や恋人等による暴力）
- 4 セクシュアル・ハラスメント（性的な行動や言動による嫌がらせ）
- 5 マタニティ・ハラスメント（妊娠・出産等を理由とする不利な扱い）
- 6 女性に対するストーカーや痴漢行為
- 7 テレビ・ビデオ・DVD・雑誌・インターネット等で女性を性的対象として扱う情報があふれている
- 8 女性であるがために、意見や発言が無視される
- 9 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
- 10 特にない
- 11 わからない

### 【3 子どもの人権について】

問 10 次の事例のうち、あなたが特に問題だと思われる事例は何ですか。  
(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)

- 1 大人による子どもへの「虐待」
- 2 子ども間での「いじめ」
- 3 インターネット（パソコンや携帯電話）を利用した「いじめ」
- 4 指導的な立場にある人からの体罰や暴言
- 5 暴力や犯罪、性に関わる問題（児童ポルノ）等、子どもに有害な情報があふれている
- 6 子どもが、親の経済的理由で十分な食事や教育を受けることができない
- 7 子どもに対して、一人の人間としての人格や価値観が尊重されない場合がある
- 8 家族にケアを要する人がいる場合に、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを担わなければならない（ヤングケアラー）
- 9 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
- 10 特になし
- 11 わからない

### 【4 高齢者の人権について】

問 11 次の事例のうち、あなたが特に問題だと思われる事例は何ですか。  
(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)

- 1 収入が少なく経済的に自立していくことが困難
- 2 能力や経験を発揮する機会が少ない
- 3 詐欺や悪質商法による被害
- 4 家庭内における看護や介護での不当な扱いや虐待
- 5 病院や老人ホーム等の施設における看護や介護での不当な扱いや虐待
- 6 意見や行動が無視されたり尊重されなかったりする
- 7 道路の段差や建物の階段等、外出先で不便や支障がある
- 8 住宅を借りることができない場合がある
- 9 家庭内や地域社会で孤立した状態に置かれる
- 10 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
- 11 特になし
- 12 わからない

**5 【障がいのある人の人権について】**

問 12 次の事例のうち、あなたが特に問題だと思われる事例は何ですか。  
(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)

- 1 就職や職場での不利な扱い
- 2 収入が少なく経済的に自立していくことが困難
- 3 詐欺や悪質商法による被害
- 4 じろじろ見られたり、避けられたりする
- 5 障がいの内容、程度に応じた適切な方法で情報を伝える配慮が足りない
- 6 家庭や病院等の施設における看護や介護での不当な扱いや虐待
- 7 道路の段差や建物の階段等、外出先で不便や支障がある
- 8 住宅を借りることができない場合がある
- 9 スポーツ、文化活動や地域活動の参加に支障がある
- 10 本人や家族の結婚に関して、周囲から反対される
- 11 交流や交際など日常生活における不利な扱い
- 12 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
- 13 特にない
- 14 わからない

**【6 外国人の人権について】**

問 13 次の事例のうち、あなたが特に問題だと思われる事例は何ですか。  
(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)

- 1 地域住民や地域社会の受け入れ態勢が十分に整っていない
- 2 住宅を借りることができない場合がある
- 3 特定の民族や国籍の人々に対して不当な差別的言動（ヘイトスピーチ）などが行われる
- 4 保健・医療・防災・教育等の生活に不可欠な情報が十分に手に入れない
- 5 就職や仕事の内容、待遇等での不利な扱い
- 6 結婚に際して周囲から反対される
- 7 交流や交際など日常生活における不利な扱い
- 8 外国人の子どもに対する教育環境が十分に整っていない
- 9 風習や習慣の違い、犯罪報道などによる偏見や差別
- 10 交通機関、病院等をはじめとする公共的な場所での不十分な案内や外国語表示
- 11 日本の文化や慣習になじみず職場や地域社会で孤立した状態に置かれる
- 12 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
- 13 特にない
- 14 わからない

【7 同和問題について】

問 14 あなたは部落差別（同和問題）をご存知ですか。  
（当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。）

- 1 詳しく知っている
- 2 だいたい知っている
- 3 聞いたことがある
- 4 ほとんど知らない
- 5 まったく知らない

～部落差別（同和問題）とは～

同和問題とは、日本社会の歴史的発展の過程で形づくられた身分差別により、国民の一部の人々が長い年月の間、経済的・社会的・文化的に低い状態に置かれることを強いられ、今なお、日常生活の中で様々な差別を受けている日本固有の人権問題です。

問 15 同和問題に関する事で、次の事例のうち、あなたが特に問題だと思われる事例は何ですか。  
（当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内）

- 1 結婚に際して周囲から反対される
- 2 就職や職場での不利な扱い
- 3 差別的な言動を受ける
- 4 交流や交際など日常生活における不利な扱い
- 5 結婚や就職などに際して身元調査（問い合わせ等）が行われる
- 6 インターネットへの根拠のない悪い噂、悪口や差別的な情報の掲載
- 7 同和問題の理解不足（同和は怖いという誤った思い込み等）につけ込んだ「えせ同和行為」（高額図書を売りつける等）がある
- 8 同和問題が正しく理解、認識されていない
- 9 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
- 10 特にない
- 11 わからない

【8 性的少数者の人権について】

問 16 あなたは「LGBT」という言葉をご存知ですか。  
(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)

- 1 詳しく知っている
- 2 だいたい知っている
- 3 聞いたことがある
- 4 ほとんど知らない
- 5 まったく知らない

L→レズビアン : 自認する性が女性で、好きになる対象が女性の人

G→ゲイ : 自認する性が男性で、好きになる対象が男性の人

B→バイセクシュアル : 好きになる対象が女性・男性両方の人

T→トランスジェンダー : 出生時に割り当てられた性別(戸籍の性)と自認する性などが一致しない人

「LGBT」は、これらの頭文字をとったもの

問 17 性的少数者(問16参照)に関する事で、次の事例のうち、あなたが特に問題だと思われる事例は何ですか。  
(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)

- 1 出生時に割り当てられた性別(戸籍の性)と自認する性などが一致しない人が、自認していない性らしさ(例えば男性らしさ、女性らしさ)を求められる
- 2 社会的理解が低く、世間から好奇や偏見の目で見られる
- 3 出生時に割り当てられた性別(戸籍の性)と自認する性などが一致しない人に対応した設備(トイレ、更衣室等)が整っていない等、運用や配慮が十分にされていない
- 4 嫌がらせやいじめ、差別的な言動を受ける
- 5 就職や職場での不利な扱い
- 6 地域社会や職場、家庭、学校などで孤立した状態に置かれる
- 7 法律や制度が不十分であったり、整備されたりしていない
- 8 その他(具体的に: \_\_\_\_\_ )
- 9 特にない
- 10 わからない

**【9 その他の人権について】**

問 18 エイズ患者・H I V感染者の人権のうち、あなたが問題だと思われる事例は何ですか。  
(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)

- 1 偏見による差別的な言動を受ける
- 2 プライバシーに配慮した医療体制や相談体制が確保されていない
- 3 一般医療機関における治療（歯科や人工透析等）での診療拒否がある
- 4 エイズやH I Vに関する正しい知識や理解の不足
- 5 就職や職場での不利な扱い
- 6 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
- 7 特にない
- 8 わからない

問 19 犯罪被害者等（犯罪被害者とその家族、遺族）の人権のうち、あなたが問題だと思われる事例は何ですか。  
(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)

- 1 犯罪行為によって、経済的な負担を強いられる
- 2 犯罪行為による精神的ショックにより日常生活に支障をきたす
- 3 事件のことで、周囲がうわさ話をする
- 4 捜査活動や刑事裁判によって、精神的な負担がかかる
- 5 マスコミの取材や報道により、私生活の平穏やプライバシーが保てなくなる
- 6 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
- 7 特にない
- 8 わからない

問 20 犯罪加害者の家族等（家族、遺族）の人権のうち、あなたが問題だと思われる事例は何ですか。  
(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)

- 1 犯罪加害者の家族等へのプライバシーの侵害
- 2 家族の犯罪行為による精神的ショックにより日常生活に支障をきたす
- 3 事件のことで、周囲がうわさ話をする
- 4 更生保護活動に関する市民の理解不足  
(※更生保護活動=罪を犯した人の更生を支援する活動)
- 5 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
- 6 特にない
- 7 わからない

問 21 刑を終えて出所した人の人権のうち、あなたが問題だと思われる事例は何ですか。  
(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)

- 1 社会復帰に向けた相談・支援体制の不足
- 2 社会的自立のための雇用先確保や社会復帰のための修学支援の不足
- 3 出所後に住む場所など住環境が確保できない
- 4 福祉サービスを受けるための情報を手に入れることができない
- 5 刑を終えて出所した人への偏見や差別
- 6 その他（具体的に： )
- 7 特にない
- 8 わからない

問 22 インターネットによる人権問題のうち、あなたが特に問題だと思われる事例は何ですか。  
(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)

- 1 他人に対する根拠のない悪いうわさ、悪口を掲載している
- 2 出会い系サイトや闇サイトなど犯罪を引き起こす場となっている
- 3 わいせつな画像や残虐な画像などを掲載している
- 4 悪質な商法の取引の場となっている
- 5 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載している
- 6 個人情報の流出等の問題が多く発生している
- 7 加害者が特定できず、被害者が救済されない
- 8 インターネット上に流出した情報の削除が容易にできない
- 9 その他（具体的に： )
- 10 特にない
- 11 わからない

問 23 ホームレスの人の人権のうち、あなたが問題だと思われる事例は何ですか。  
(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)

- 1 ホームレスの人への相談・支援体制の不足
- 2 経済的に自立していくことが困難
- 3 通行人など、周囲の人からの嫌がらせや暴力
- 4 じろじろ見られたり避けられたりする
- 5 店舗等への入店や施設の利用を拒否される
- 6 その他（具体的に： )
- 7 特にない
- 8 わからない



**【10 浜松市の進める人権施策について】**

問 24 人権についての理解を深めていただくことを目的に、浜松市ではさまざまな取り組みを進めています。あなたが見たことや、参加したことがあるものを教えてください。  
(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)

- 1 人権フェスティバルの人権講演会
- 2 人権フェスティバルの小学生人権書道・ポスター展示
- 3 広報はままつに掲載している特設人権相談のお知らせ
- 4 公共施設などに掲出される人権尊重ポスター
- 5 人権週間（12月4日～10日）に遠鉄電車の各駅へ掲出される人権尊重ポスター
- 6 浜松市人権啓発センターが主催する人権に関する講座
- 7 浜松市の人権に関するホームページ
- 8 浜松市人権啓発センターが講師を派遣する出前講座
- 9 各区役所等で行われている特設人権相談
- 10 その他（ )
- 11 いずれも見なかったことや参加したことはない

**【11 人権に関する取り組みについて】**

問 25 人権が尊重される社会を実現するために、あなたが必要だと思われる取り組みは何ですか。  
(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)

- 1 行政による、住民の人権意識を高めるための啓発活動
- 2 民間団体等（NPO、団体、企業等）による、住民の人権意識を高めるための啓発活動
- 3 住民自らが、人権意識を高めるように努める
- 4 家庭における、幼児期からの人権教育の充実
- 5 学校における、人権教育の充実
- 6 地域社会に向けて、協働センター等で行う人権教育・啓発の充実
- 7 企業における人権教育の充実（パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等）
- 8 公務員等人権に関わりの深い職業（公務員、教員、医療関係者、福祉関係職員等）に従事する人たちの人権意識の向上
- 9 社会的に弱い立場にある人に対する支援・救済策の充実
- 10 不合理な差別や格差を解消、是正するための制度改善や施策の充実
- 11 その他（具体的に： )
- 12 特にない
- 13 わからない

**【12 効果的な啓発活動について】**

問 26 人権尊重の理解を深めるために、あなたが特に効果的だと思われる啓発活動は何ですか。  
(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)

- 1 講演会、映画会
- 2 講座、研修会、シンポジウム
- 3 市民が気軽に参加できる啓発イベント
- 4 市民や団体との協働による啓発活動
- 5 新聞、雑誌、広報誌等への啓発記事の掲載
- 6 人権啓発センターのホームページの充実
- 7 絵本やマンガ、DVDなど、子どもから大人までを対象とした人権教育・啓発資料の配布
- 8 人権啓発冊子やパンフレットの作成、配布
- 9 メールマガジン等を活用した啓発活動
- 10 電車内、公共施設等へのポスターやステッカーの掲出
- 11 垂れ幕、立看板の設置、大型ディスプレイを活用した啓発
- 12 図書、ビデオ、DVD、CD等の貸出
- 13 啓発情報や写真、図表等のパネル展示
- 14 テレビ、ラジオ等の広告や番組による啓発
- 15 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
- 16 特にない
- 17 わからない

**【13 市民一人ひとりが心がけることについて】**

問 27 お互いの人権が尊重されるために、市民一人ひとりがすべきことはどれだと思われますか。  
(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)

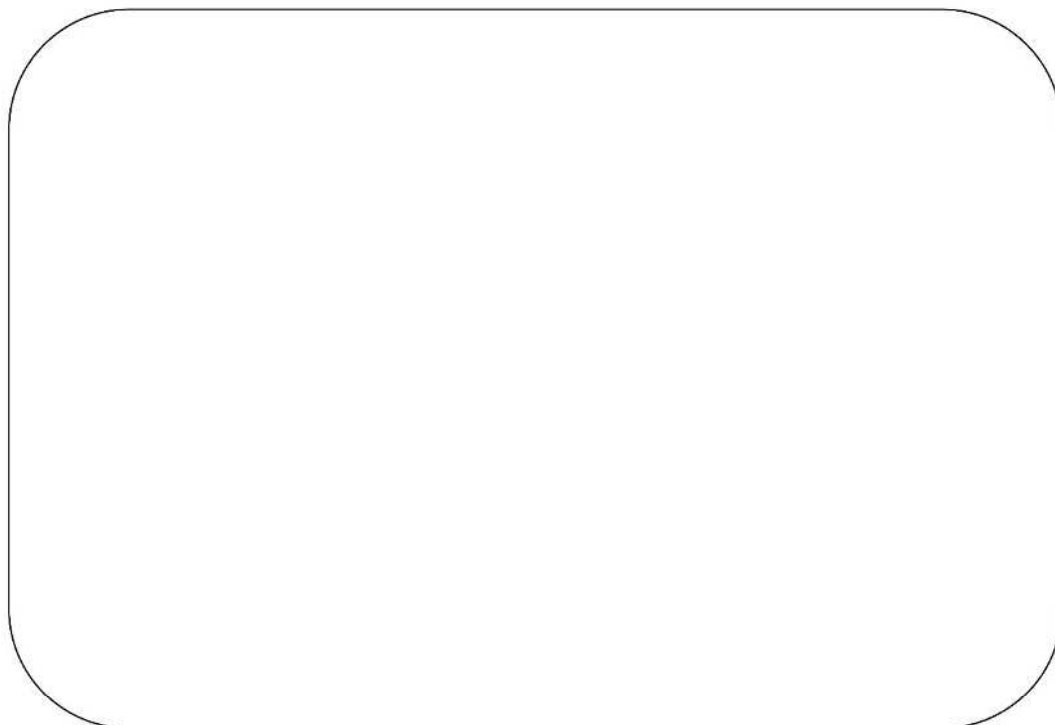
- 1 人権に関する正しい知識を身につける
- 2 人権意識を高めるための機会や場への積極的な参加
- 3 非合理的な因習や風習、誤った固定観念にとらわれない
- 4 自分の権利とともに、他人の権利も尊重する
- 5 お互いを理解するためにコミュニケーションをしっかりとる
- 6 自分が生活している地域社会やその人間関係を大切にす
- 7 他人に対する思いやりや、やさしさを育む
- 8 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
- 9 特にない
- 10 わからない

**【14 人権について】**

問 28 あなたは、さまざまな人権について知りたい、理解したいと思われますか。  
(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)

- 1 思う
- 2 どちらかといえば思う
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり思わない
- 5 まったく思わない
- 6 わからない

問 29 日ごろ、「人権」について、あなたがお考えになっていることや、お気づきになったこと、また、ご意見やご提案等がございましたら、ご記入ください。



**【15 最後にあなたのことについてお伺いします】**

(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)

(ア) あなたの性別を記入してください。

1 : 男性                                      2 : 女性                                      3 : その他、回答したくない

(イ) あなたの年代を記入してください。

1 : 10 歳代                                      2 : 20 歳代                                      3 : 30 歳代                                      4 : 40 歳代  
5 : 50 歳代                                      6 : 60 歳代                                      7 : 70 歳代以上

(ウ) あなたのお住まいの地域を記入してください。

1 : 中区    2 : 東区    3 : 西区    4 : 南区    5 : 北区    6 : 浜北区    7 : 天竜区

(エ) あなたの国籍を記入してください。

1 : 日本    2 : ブラジル    3 : 中国    4 : フィリピン    5 : その他 (                                      )

ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

お手数ですが、回答用紙に回答漏れや記入誤り等がないか、もう一度お確かめください。



出世大名    出世法師  
家康くん    直虎ちゃん

※12月10日(日)までにご投函ください。

令和 5 年度 人権に関する意識調査報告書

---

令和 6 年 3 月発行

浜松市健康福祉部 福祉総務課 人権啓発センター

〒430-0916 浜松市中央区早馬町 2 番地の 1

電話 (053)457-2031 Fax (053)450-7702

e-mail [jinken@city.hamamatsu.shizuoka.jp](mailto:jinken@city.hamamatsu.shizuoka.jp)

URL <https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>

---